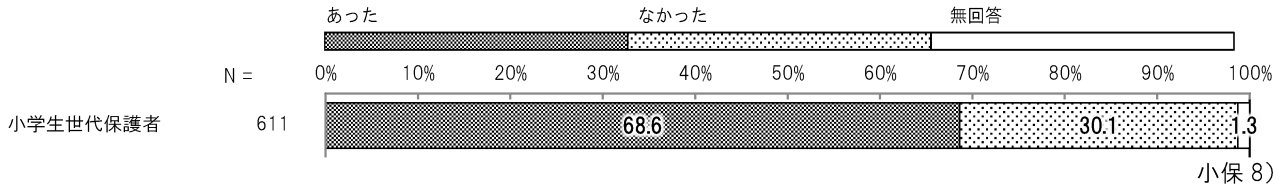
7 子どもの病気の際の対応や一時預かり等の状況

7-1 病気の際の対応と病児・病後児施設の利用状況

7－1－1）この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、学童クラブなどの事業が利用できなかったりしたことはありますか。

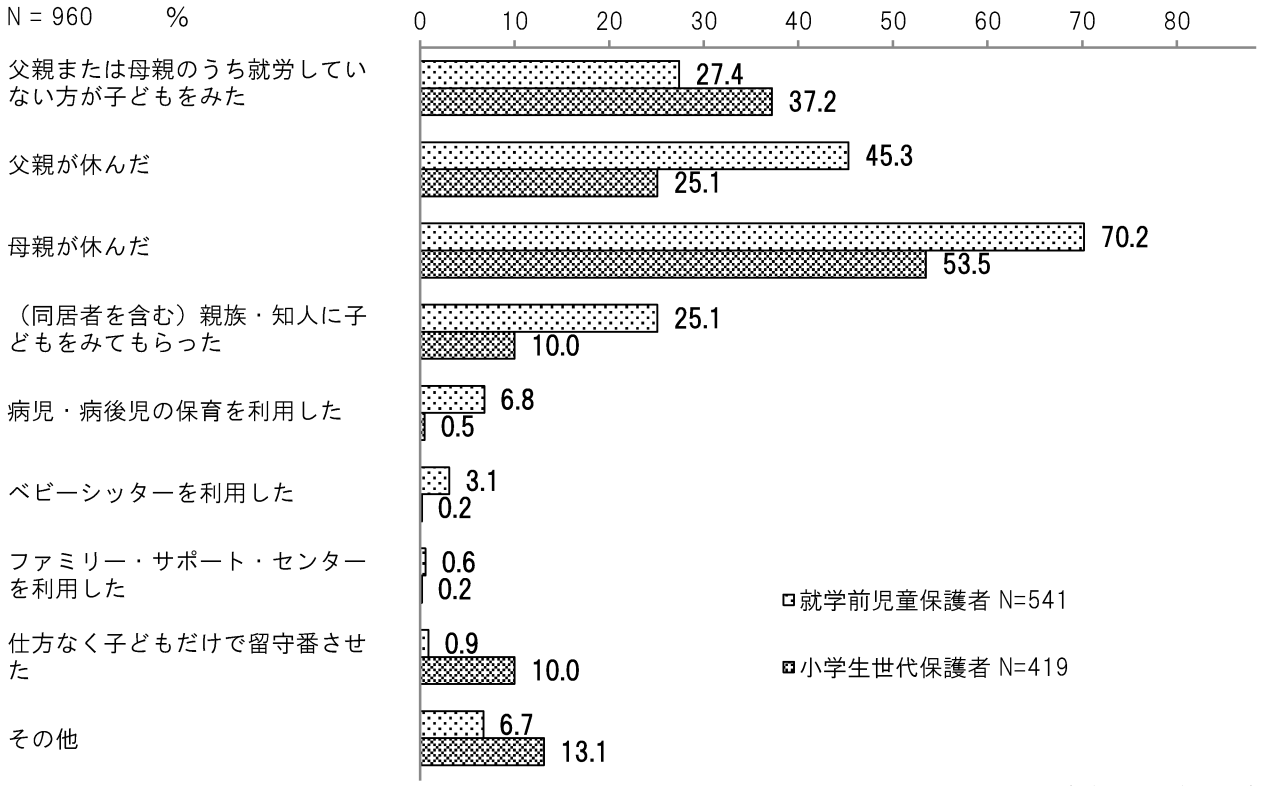
・ 小学生世代保護者は「あった」が 68.6%でした。



小保 8）

7－1－2）幼稚園や保育所を利用している就学前児童、あるいはこの１年間に病気やけがで学校を休んだり、学童クラブなどの事業が利用できなかった小学生について、病気やけがで学校を休んだり、普段利用している教育・保育や学童クラブが利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法は何ですか。（複数回答）

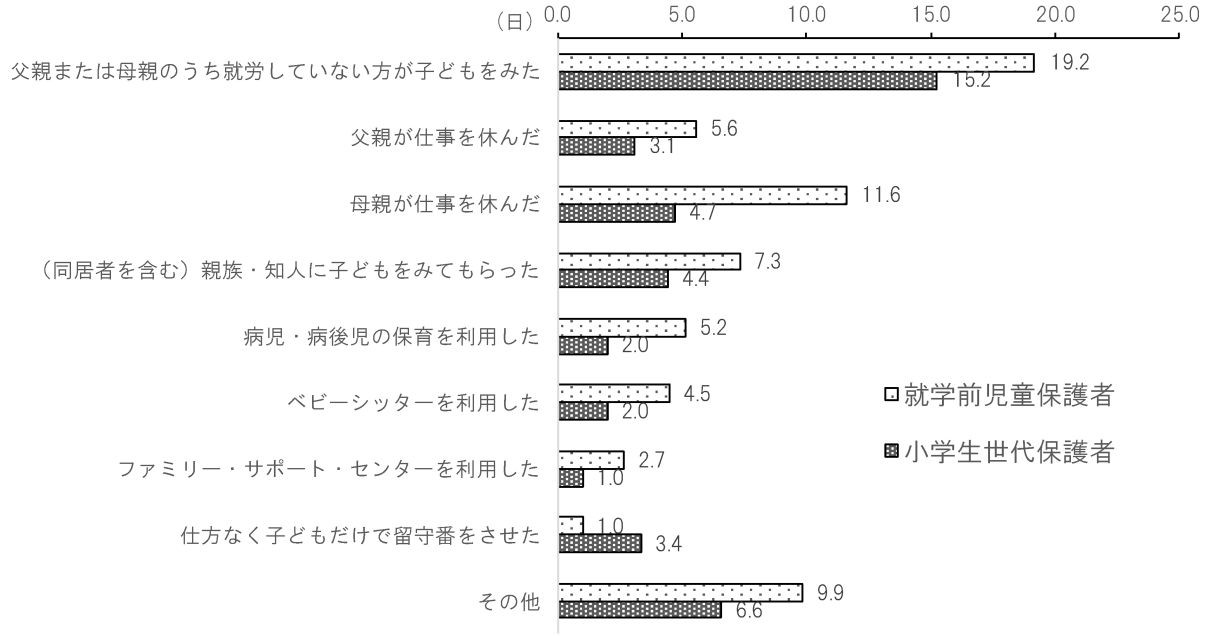
・ 就学前児童保護者では、「母親が仕事を休んだ」が 70.2%でした。次いで、「父親が休んだ」が 45.3%でした。
・ その他としては、父と母が交代で休みを取得し乗り切った。父母どちらかが在宅に切り替えた。病院に行く時は時間休などで対応したなどの記載がありました。
・ 小学生世代保護者では、「母親が仕事を休んだ」が 53.5%でした。次いで、「父親または母親のうち就労していないほうが子どもをみた」が 37.2%でした。
・ その他としては、在宅勤務で対応したなどの記載がありました。



就保 15 小保 8-1）

7－1－3）この１年間で対処した日数をお答えください。（複数回答）

・ 就学前児童保護者では、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が最も多く平均 19.2 日、次いで「母親が会社を休んだ」が 11.6 日でした。
・ 小学生世代保護者では、同様に、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が最も多く平均 15.2 日、次いで「母親が会社を休んだ」が 4.7 日でした。

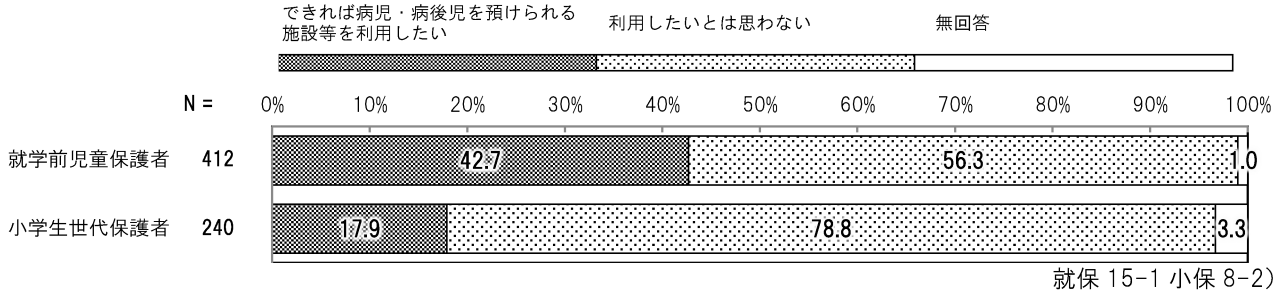


	就学前児童保護者（年間あたり日数）		小学生世代保護者（年間あたり日数）	
	調査数	平　均	調査数	平　均
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	122	19.18	137	15.23
父親が仕事を休んだ	228	5.59	102	3.12
母親が仕事を休んだ	351	11.59	214	4.73
（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	120	7.33	36	4.44
病児・病後児の保育を利用した	33	5.15	2	2.00
ベビーシッターを利用した	14	4.50	1	2.00
ファミリー・サポート・センターを利用した	3	2.67	1	1.00
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4	1.00	39	3.36
その他	22	9.86	37	6.59

就保 15 小保 8-1）

7－1－4）その際、「できれば病児・病後児を預けられる施設等を利用したい」と思われましたか。

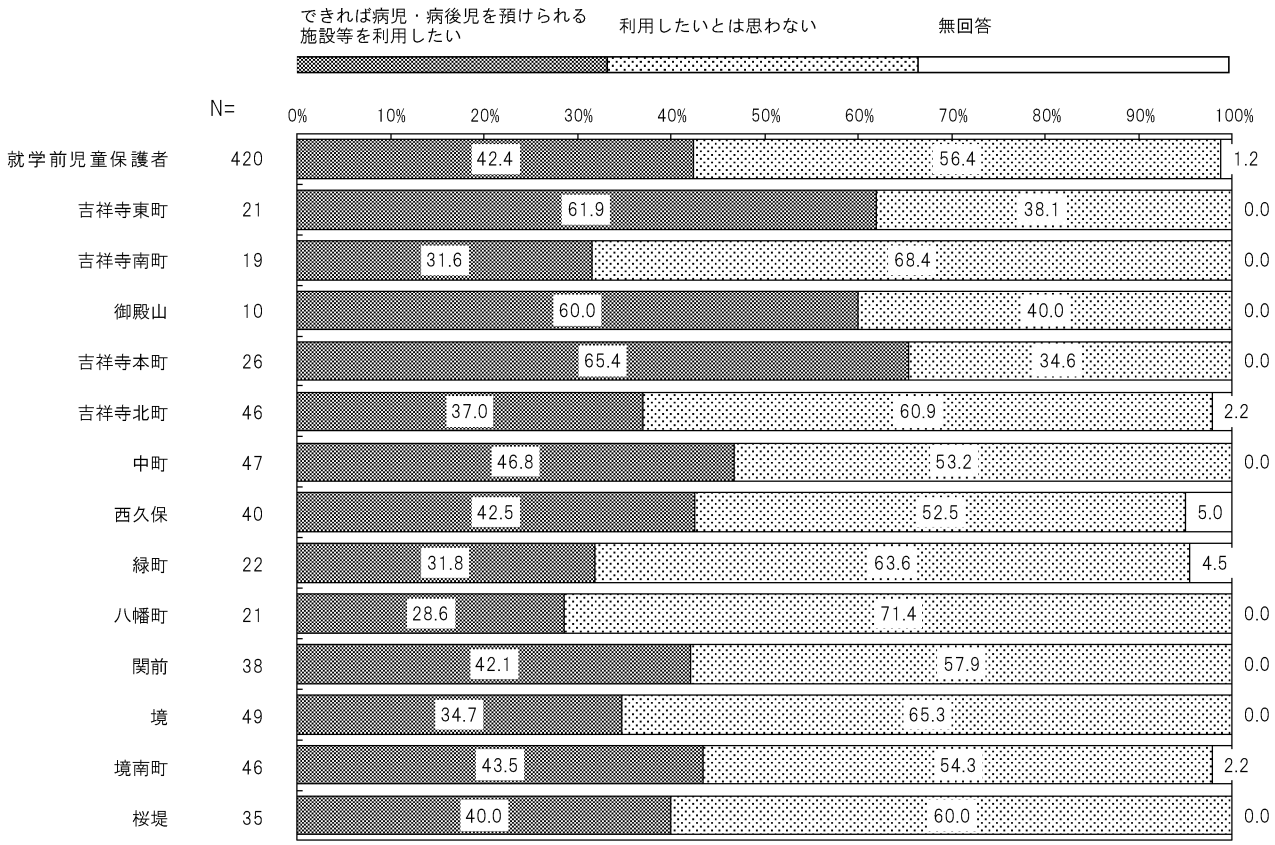
・「できれば病児・病後児を預けられる施設等を利用したい」が、それぞれ、就学前児童保護者で 42.7%、小学生世代保護者で 17.9%でした。



就保 15-1 小保 8-2）

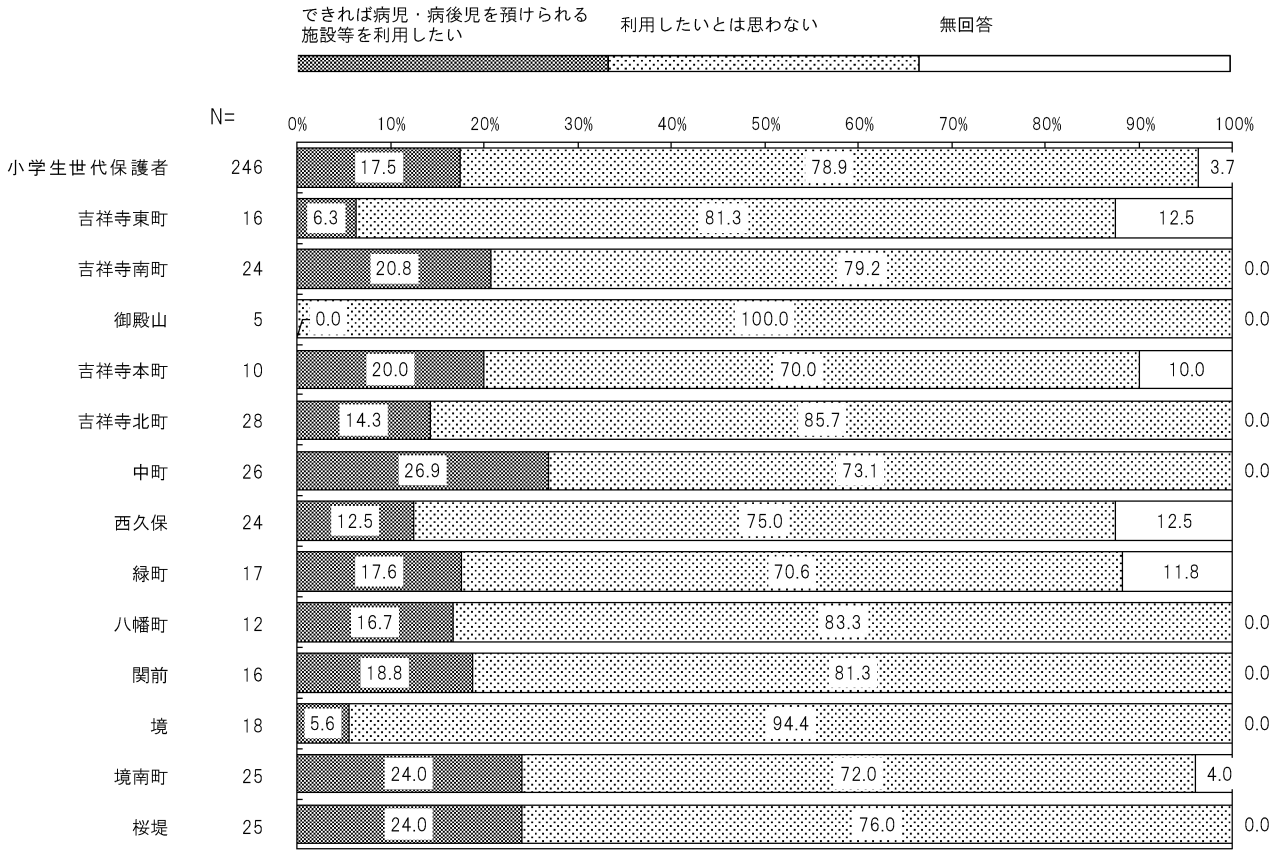
【居住地区 × 病児・病後児を預けられる施設等の利用意向（未就学児童）】

・ 病児・病後児を預けられる施設等の利用意向を就学前児童保護者の居住地区別にみると、「できれば病児・病後児を預けられる施設等を利用したい」は吉祥寺本町で 65.4%、吉祥寺東町で 61.9%、御殿山で 60.0%と、他の地区に比べて多くなっています。



【居住地区 × 病児・病後児を預けられる施設等の利用意向（小学生児童）】

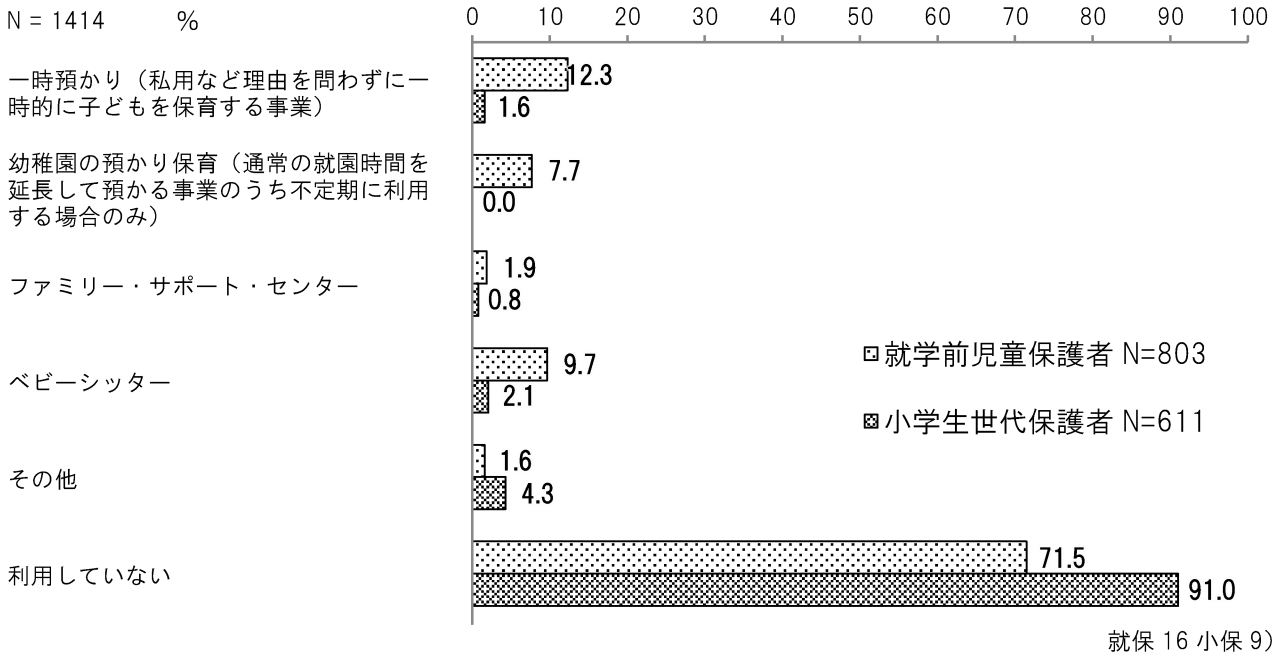
・ 病児・病後児を預けられる施設等の利用意向を小学生世代保護者の居住地区別にみると、「利用したいとは思わない」の割合が概ね７割以上となっています。



7-2 一時預かり等の利用

7－2－1）あて名のお子さんについて、保護者の通院、不定期の就労、その他私用のために不定期に利用している事業はありますか。（複数回答）

- 就学前児童保護者は「利用していない」が最も多く 71.5%、次いで「一時預かり（私用など理由を問わずに一時的に子どもを保育する事業）」が 12.3%でした。
- その他としては、レスパイト入院、産後ケア事業、赤十字子供の家などの記載がありました。
- 小学生世代保護者は「利用していない」が最も多く 91.0%、次いで「ベビーシッター」が 2.1%でした。
- その他としては、あそべえ、ひとり親家庭ホームヘルプサービスなどの記載がありました。



就保 16 小保 9）

【母親の就労状況 × 一時預かり等の利用(未就学児童)】

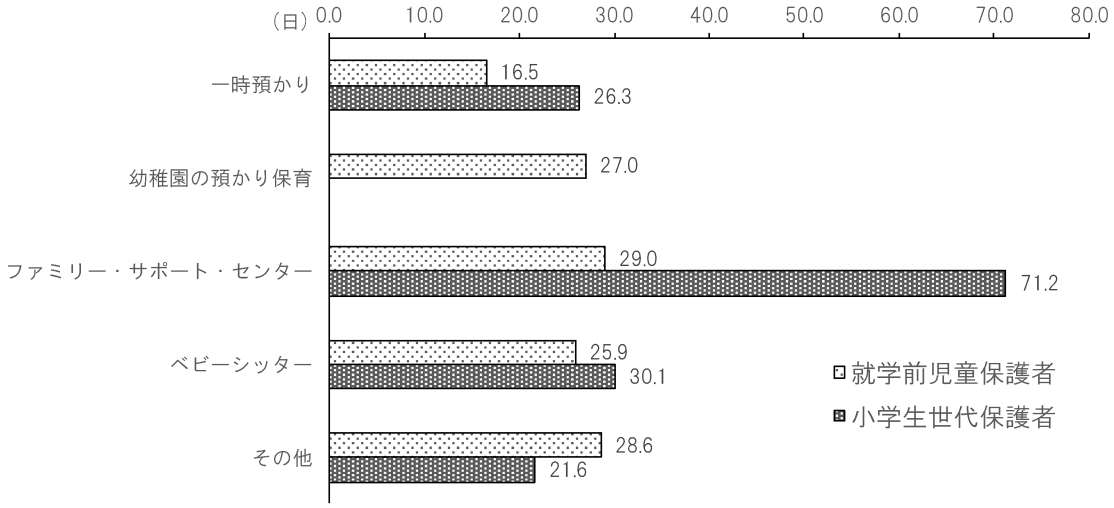
・ 不定期に利用している事業を母親の就労状況別にみると、いずれも「利用していない」が最も多くなっています。

（上段：実数、下段：%）

	調査数	一時預かり（私用など理由を問わずに一時的に子どもを保育する事業）	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	ファミリー・サポート・センター	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
就学前児童保護者	803	99	62	15	78	13	574	15
	100.0	12.3	7.7	1.9	9.7	1.6	71.5	1.9
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	328	17	7	7	27	3	273	5
	100.0	5.2	2.1	2.1	8.2	0.9	83.2	1.5
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	192	39	2	5	28	3	132	4
	100.0	20.3	1.0	2.6	14.6	1.6	68.8	2.1
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	94	11	20	2	6	3	60	2
	100.0	11.7	21.3	2.1	6.4	3.2	63.8	2.1
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	16	2	－	－	－	1	12	1
	100.0	12.5	－	－	－	6.3	75.0	6.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	163	30	30	1	16	3	93	1
	100.0	18.4	18.4	0.6	9.8	1.8	57.1	0.6
これまで就労したことがない	5	－	3	－	1	－	1	－
	100.0	－	60.0	－	20.0	－	20.0	－

7－2－2）1年間の利用日数をお答えください。（複数回答）

・ 就学前児童保護者では、「ファミリー・サポート・センター」の利用が最も多く年間あたり平均29.0日、次いで「幼稚園の預かり保育」の利用が平均26.98日でした。
・ 小学生世代保護者では、「ファミリー・サポート・センター」の利用日数が最も多く年間あたり平均71.20日、次いで「ベビーシッター」が平均30.08日でした。

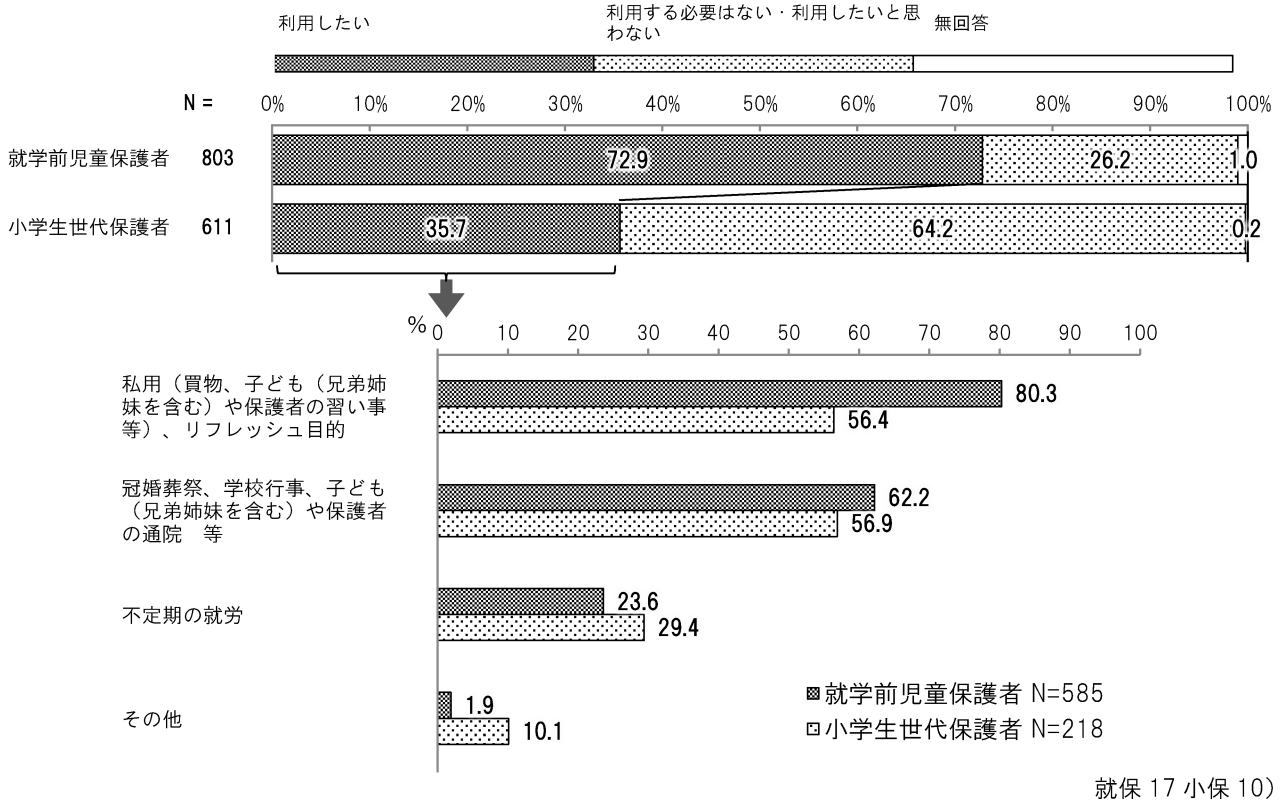


	就学前児童保護者（年間あたり日数）		小学生世代保護者（年間あたり日数）	
	調査数	平　均	調査数	平　均
一時預かり	84	16.50	10	26.30
幼稚園の預かり保育	55	26.98	—	—
ファミリー・サポート・センター	14	29.00	5	71.20
ベビーシッター	72	25.89	12	30.08
その他	7	28.57	22	21.64

就保 16 小保 9）

7－2－3）あて名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かり等の事業を利用したいと思いますか。（複数回答）

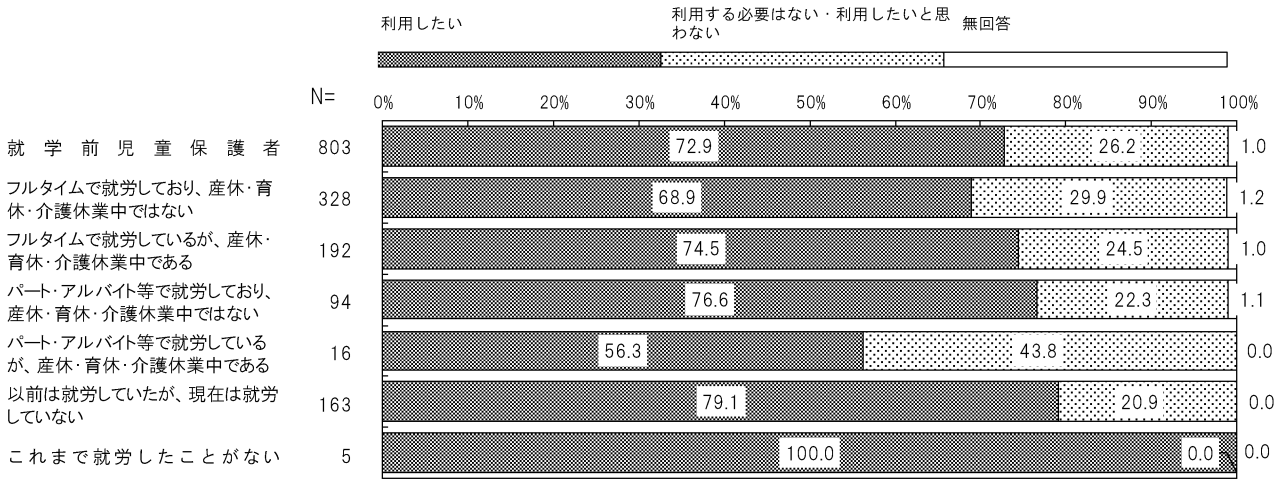
- 就学前児童保護者は「利用したい（合計）」が 72.9%でした。利用目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事等）、リフレッシュ目的」が最も多く 80.3%でした。
- その他としては、体調不良のとき　夫が遅くワンオペが続いた時、歯医者や病院、美容室、子どもが一緒だときつい用事、上の子との時間などの記載がありました。
- 小学生世代保護者は「利用したい（合計）」が 35.7%でした。利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院　等」が最も多く 56.9%でした。
- その他としては、４年生から学童がなくなるので似た施設を利用したい、夏休みなど長期休み、出張などの記載がありました。



就保 17 小保 10）

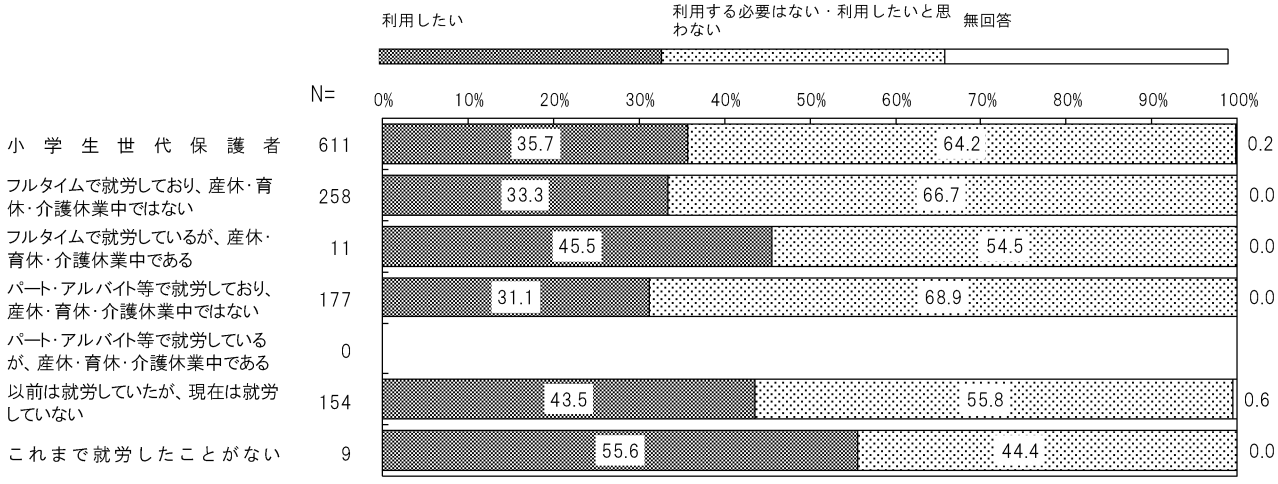
【母親の就労状況 × 一時預かり事業の利用意向(未就学児童)】

・ 一時預かり事業の利用意向を母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」では「利用したい」が７割を超えています。



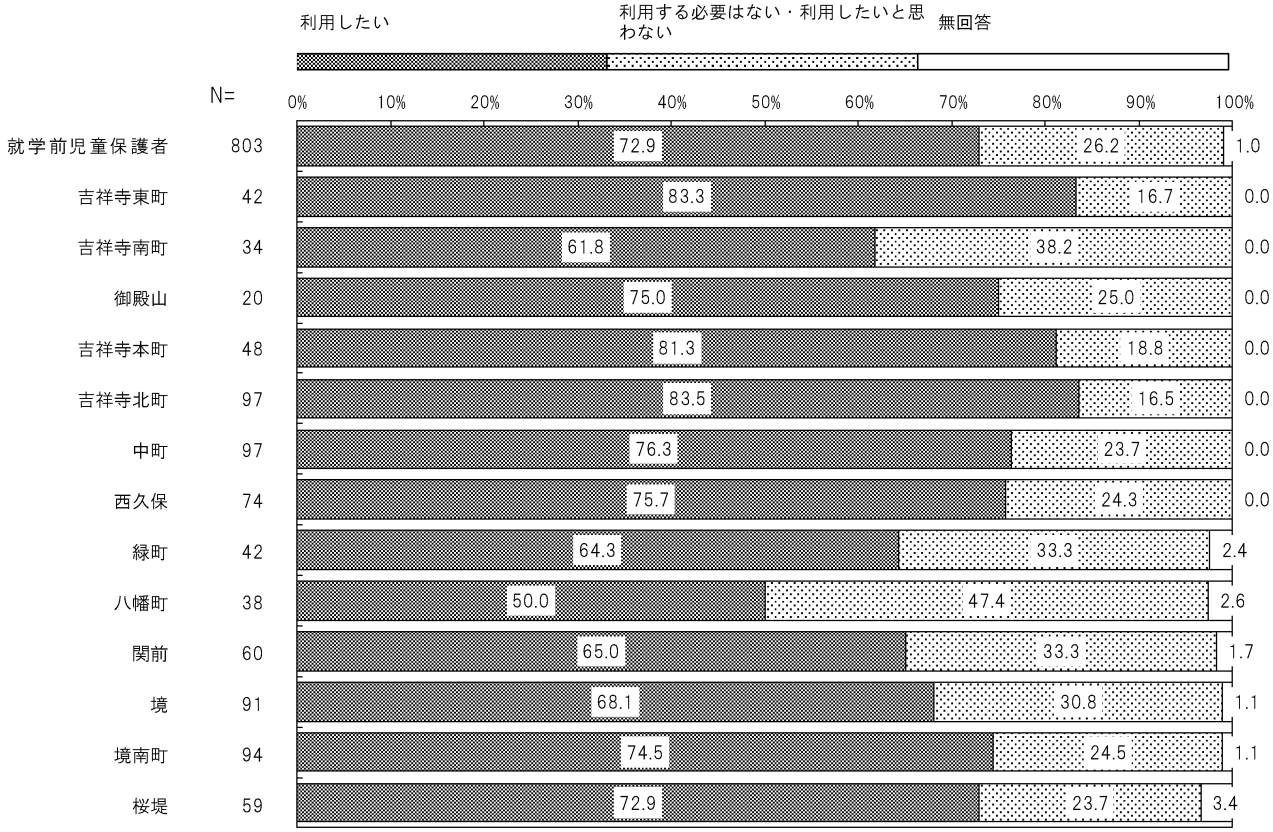
母親の就労状況 × 一時預かり事業の利用意向(小学生児童)

・ 一時預かり事業の利用意向を母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「以前は就労していたが、現在は就労していない」では「利用したい」が４割を超え、他の就労状況に比べて多い傾向にあります。



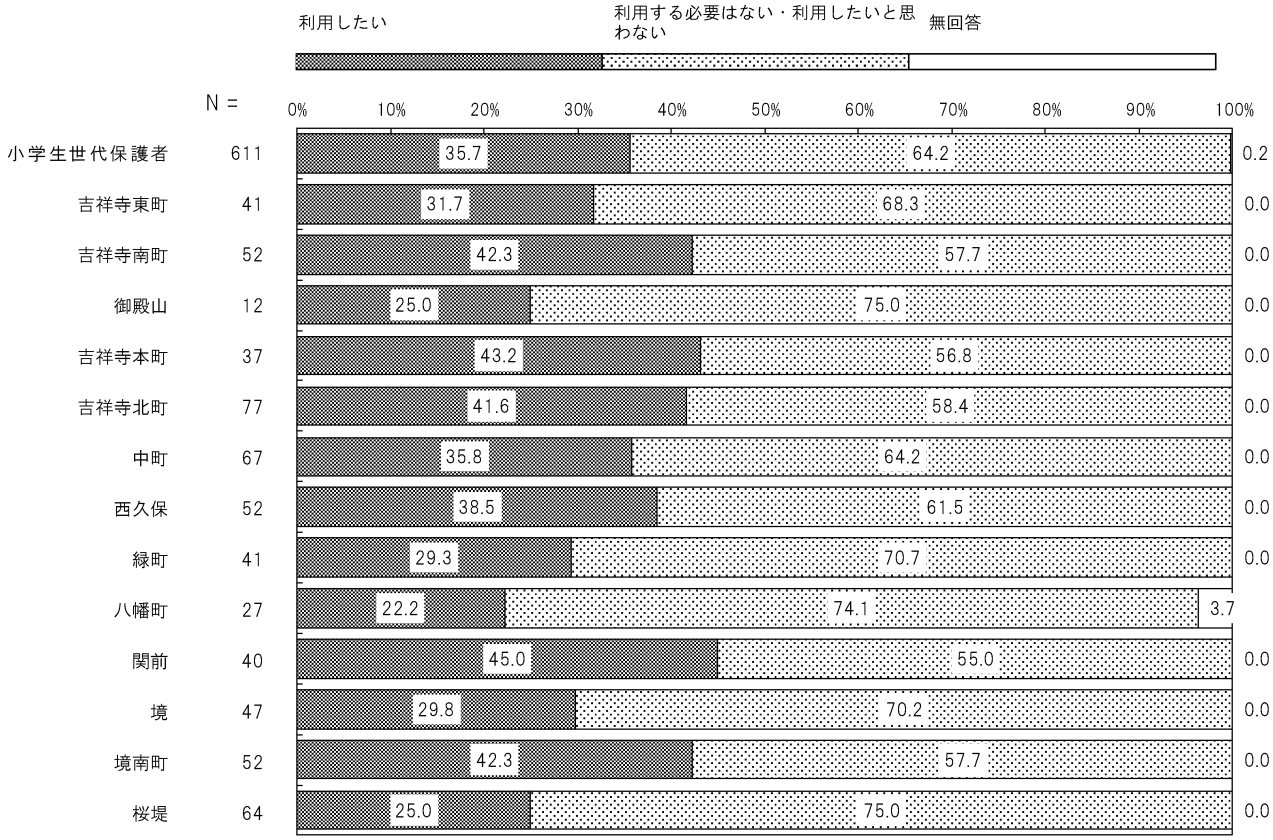
【居住地区 × 一時預かり事業の利用意向(未就学児童)】

・ 一時預かり事業の利用意向を就学前児童保護者の居住地区別にみると、「利用したい」は、吉祥寺北町、吉祥寺東町、吉祥寺本町で、それぞれ 83.5%、83.3%、81.3%と８割を超えており、他の地区に比べて多くなっています。



【居住地区 × 一時預かり事業の利用意向(小学生児童)】

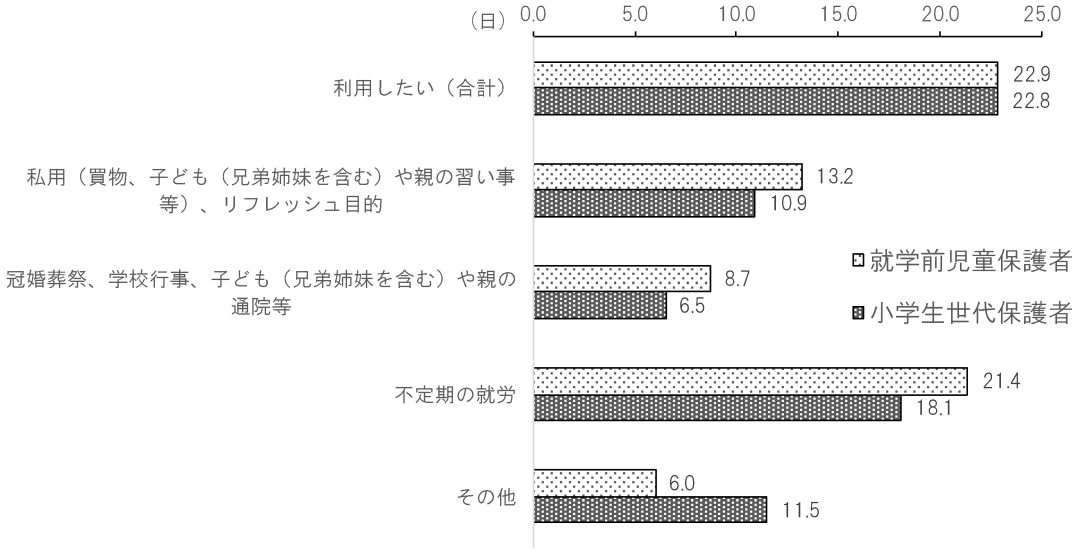
・ 一時預かり事業の利用意向を小学生世代保護者の居住地区別にみると、「利用したい」は、関前で 45.0%、吉祥寺本町で 43.2%、吉祥寺南町と境南町で 42.3%、吉祥寺北町で 41.6%と４割を超えています。



7－2－4）利用したい年間あたりの日数をお答えください。（複数回答）

・「利用したい（合計）」は、就学前児童保護者が年間あたり平均 22.86 日、小学生世代保護者が年間あたり平均 22.82 日でした。

・内訳は、「不定期の就労」が最も多く、就学前児童保護者が年間あたり平均 21.37 日、小学生世代保護者が 18.07 日でした。

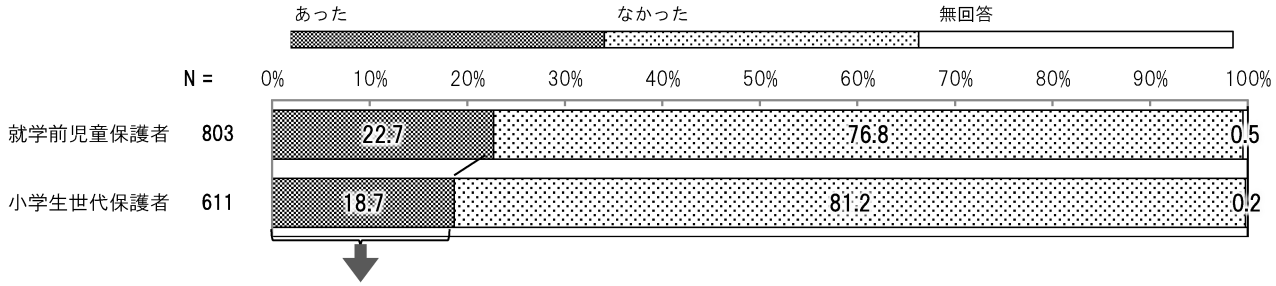


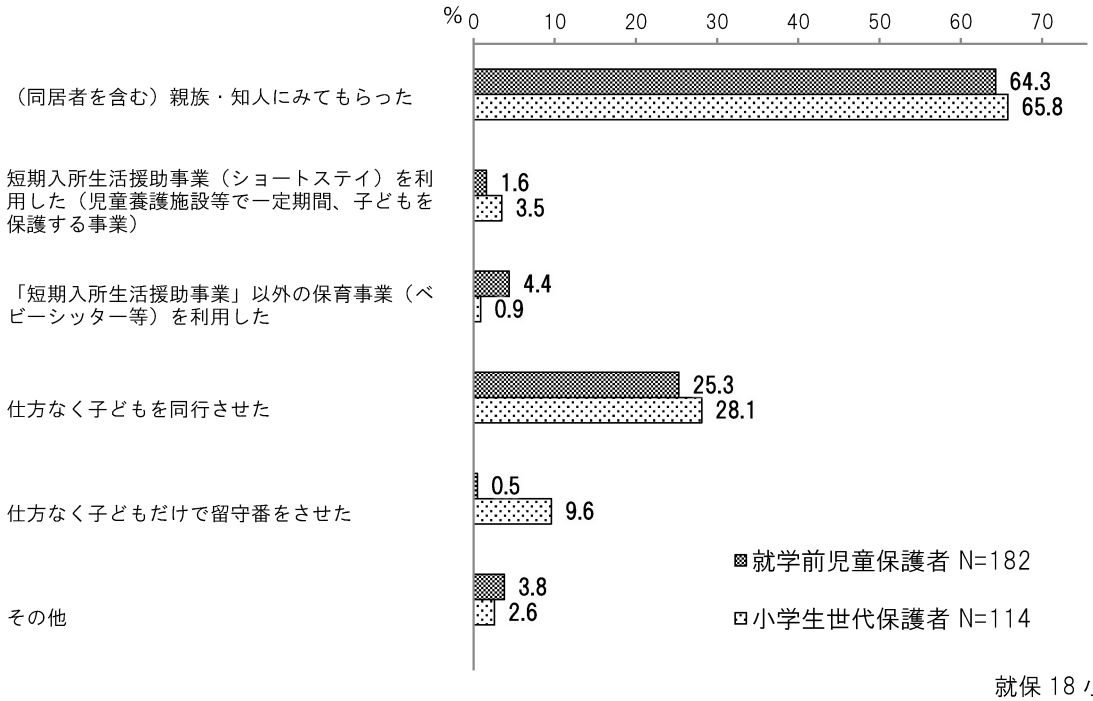
	就学前児童保護者（年間あたり日数）		小学生世代保護者（年間あたり日数）	
	調査数	平　均	調査数	平　均
利用したい（合計）	460	22.86	168	22.82
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	430	13.18	111	10.89
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	317	8.74	108	6.51
不定期の就労	125	21.37	56	18.07
その他	7	6.00	12	11.50

就保 17 小保 10）

7－2－5）この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（複数回答）

- 就学前児童保護者は「なかった」が 76.8%、「あった」が 22.7%でした。「あった」ときの対処方法は、「(同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が最も多く 64.3%でした。
- その他としては、予定を泣く泣くキャンセルした、保護者が欠勤(減給あり)したなどの記載がありました。
- 小学生世代保護者は「なかった」が 81.2%、「あった」が 18.7%でした。「あった」ときの対処方法は、「(同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が最も多く 65.8%でした。
- その他としては、仕方なく諦めた、児童相談所、母親の妹に預けたなどの記載がありました。

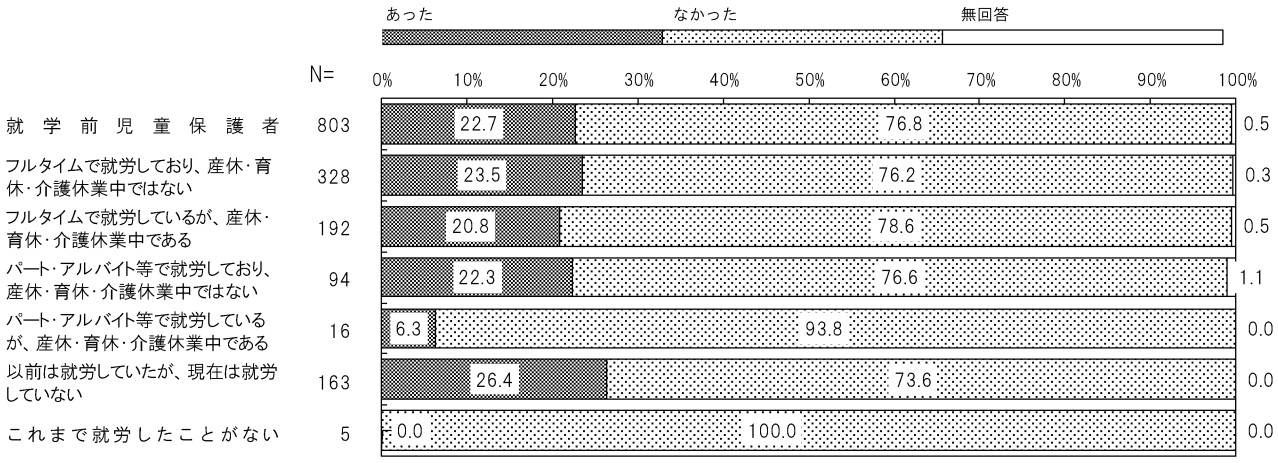




就保 18 小保 11）

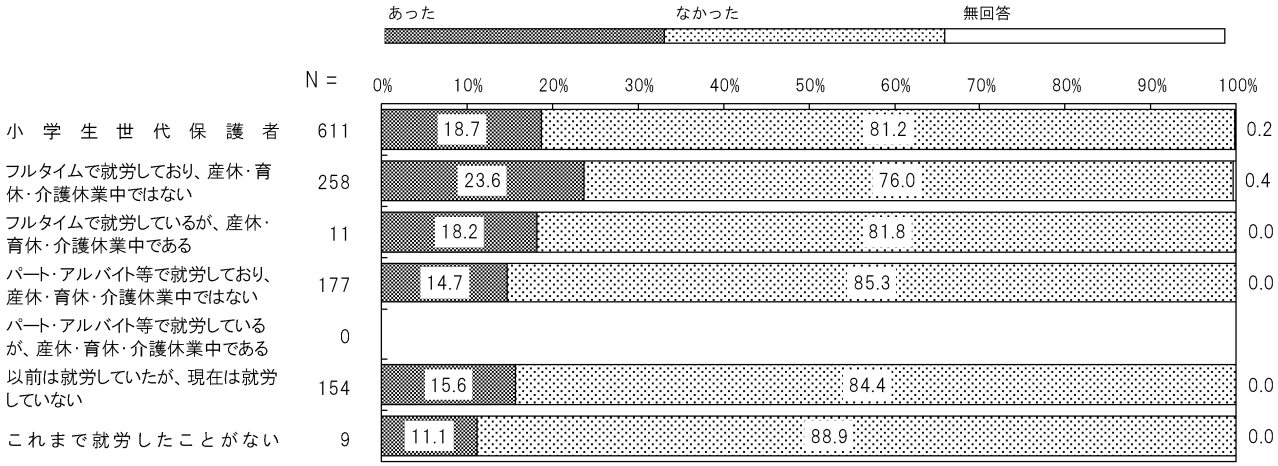
【母親の就労状況 × 宿泊を伴う一時預かり等の有無（未就学児童）】

・ 宿泊を伴う一時預かり等の有無を母親の就労状況別にみると、全ての母親の就労状況において「なかった」が７割以上となっています。



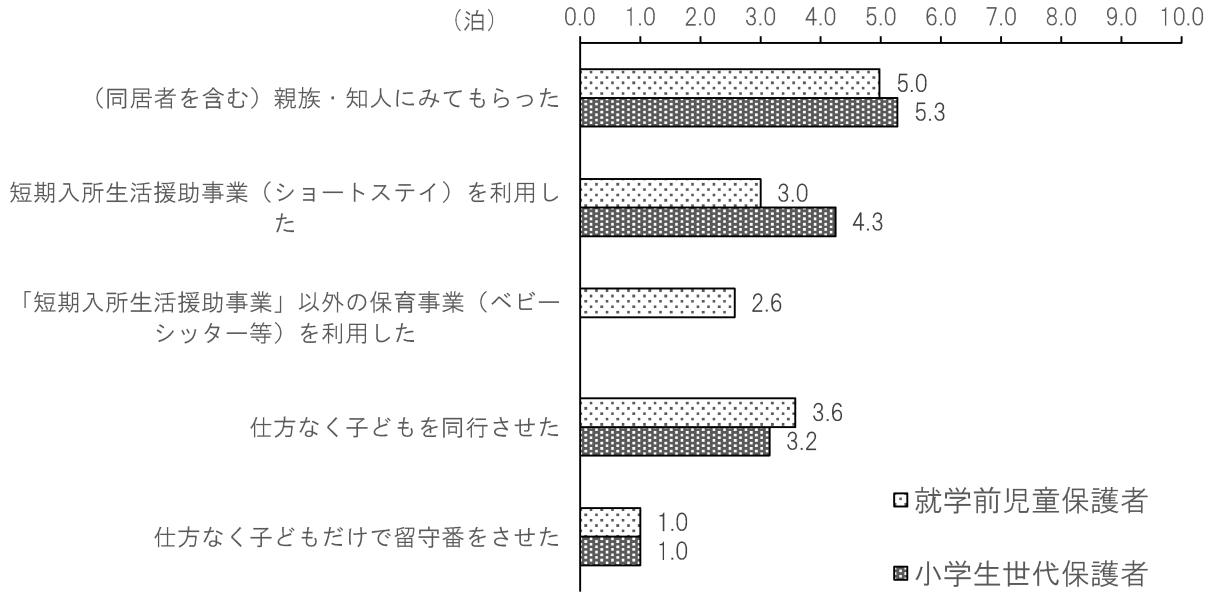
【母親の就労状況 × 宿泊を伴う一時預かり等の有無（小学生児童）】

・ 宿泊を伴う一時預かり等の有無を母親の就労状況別にみると、全ての母親の就労状況において「なかった」が最も多くなっています。



7－2－6）対処した年間の泊数をお答えください。（複数回答）

・「親族・知人にみてもらった」が最も多く、就学前児童保護者では平均 4.98 泊、小学生世代保護者では平均 5.28 泊でした。



	就学前児童保護者（年間あたり日数）		小学生世代保護者（年間あたり日数）	
	調査数	平　均	調査数	平　均
（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	90	4.98	58	5.28
短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	3	3.00	4	4.25
「短期入所生活援助事業」以外の保育事業（ベビーシッター等）を利用した	7	2.57	0	—
仕方なく子どもを同行させた	31	3.58	20	3.15
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4	1.00	4	1.00
その他	3	3.67	1	30.00

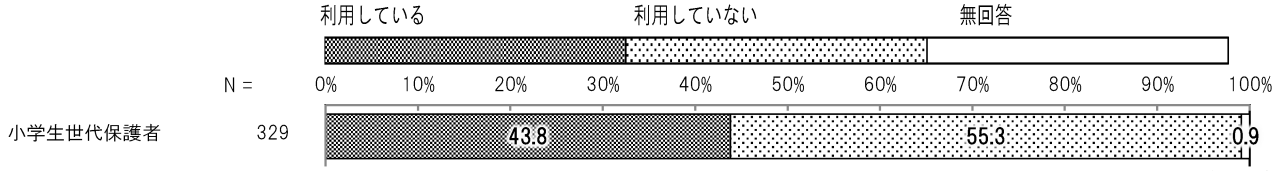
就保 18 小保 11）

8 児童の放課後の過ごし方

8-1 学童クラブの利用状況

8－1－1）あて名のお子さんは、現在、学童クラブを利用していますか。

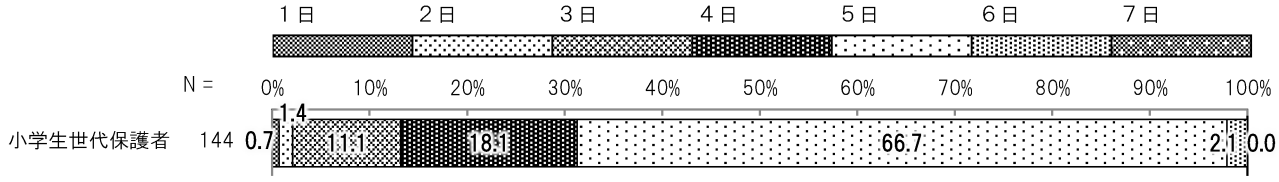
・ 小学生世代保護者は「利用していない」が最も多く 55.3%でした。



小保 12）

8－1－2）利用している日数（週当たり）

・ 小学生世代保護者は、週当たりの平均利用日数は平均 4.55 日で、「５日」が最も多く 66.7%でした。

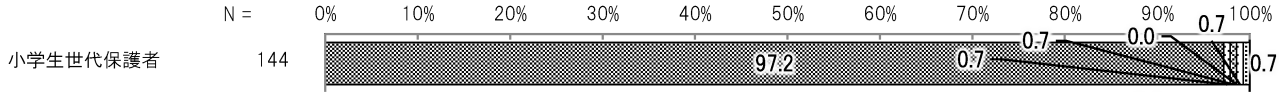


	就学前児童保護者（週あたり日数）	
	調査数	平　均
学童クラブ	144	4.55

小保 12）

8－1－3）学童クラブを「１利用している」と答えた理由をお聞かせください。

・ 小学生世代保護者は「お子さんの保護者が、現在就労している」が最も多く 97.2%でした。

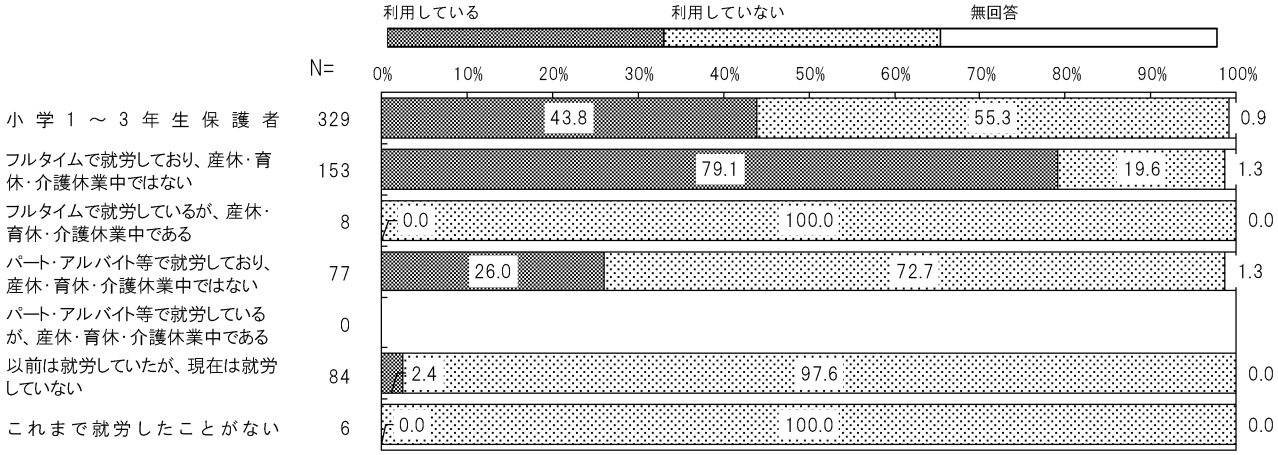


- お子さんの保護者が、現在就労している
- お子さんの保護者が、求職活動中で近々就労予定である／休職中である
- お子さんの保護者が、家族・親族などの介護をしなくてはならない
- お子さんの保護者が、病気や障害がある
- お子さんの保護者が、学生である
- その他

小保 12-1）

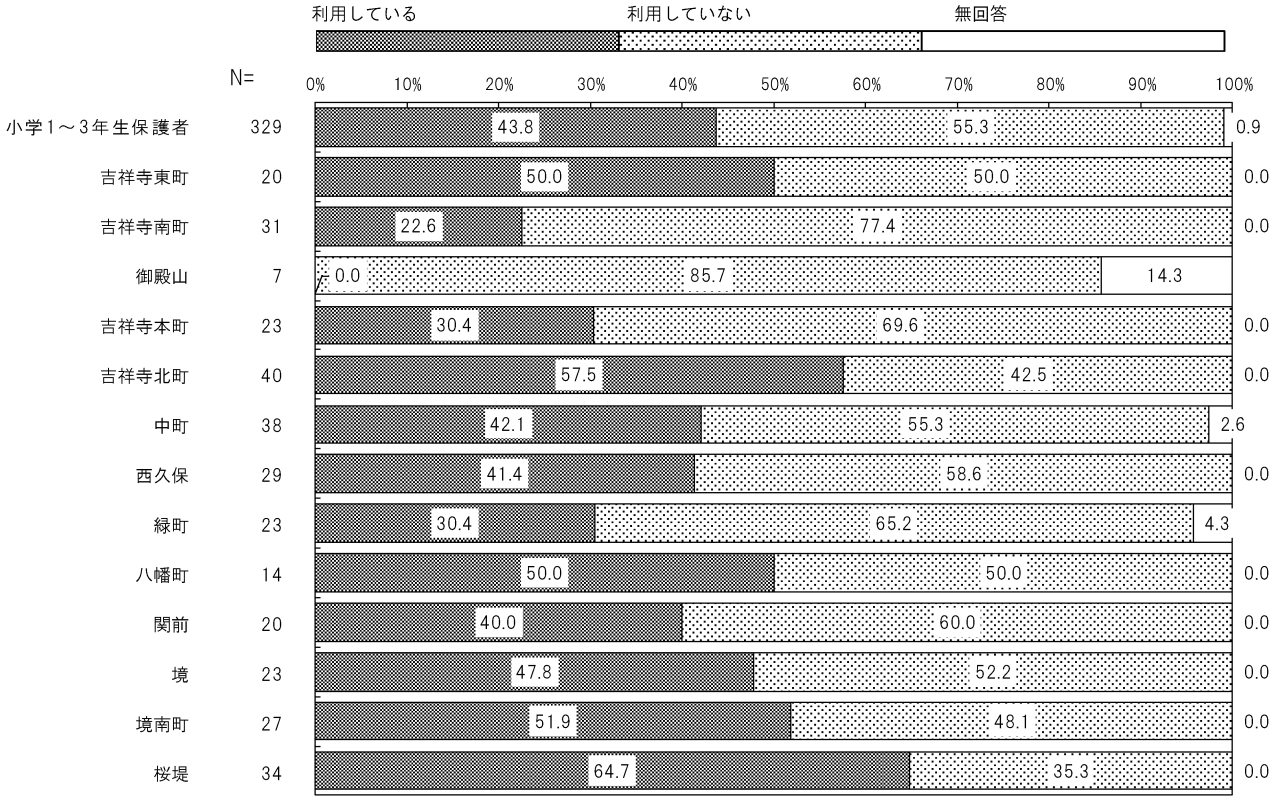
【母親の就労状況 × 学童クラブの利用状況】

・ 学童クラブの利用状況を母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」では「利用している」が他の就労状況に比べて多くなっています。



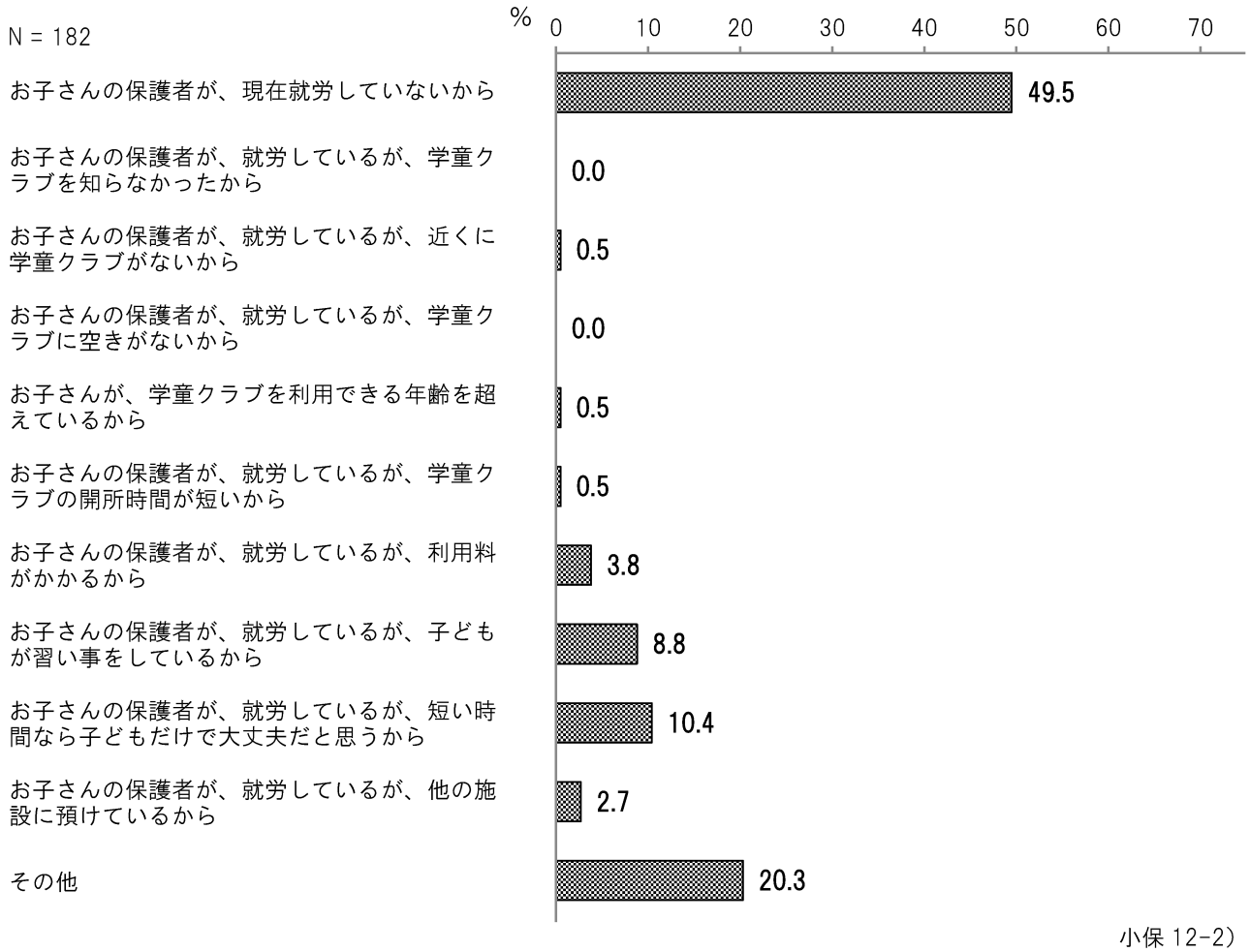
【居住地区 × 学童クラブの利用状況】

・ 学童クラブの利用状況を居住地区別にみると、桜堤で 64.7%と６割を超えており、他の地区に比べて多くなっています。



8－1－4）学童クラブを「2利用していない」と答えた理由をお聞かせください。

・ 小学生世代保護者は「お子さんの保護者が、現在就労していないから」が最も多く 49.5%、次いで「お子さんの保護者が、就労しているが、短い時間なら子どもだけで大丈夫だと思うから」が 10.4%でした。
・ その他としては、パートで短時間のため対象外、子供が家にいない時間内で就労しているため、学校「あそべえ」で対応して頂いているなどの記載がありました。



小保 12-2）

【母親の就労状況 × 学童クラブを利用していない理由】

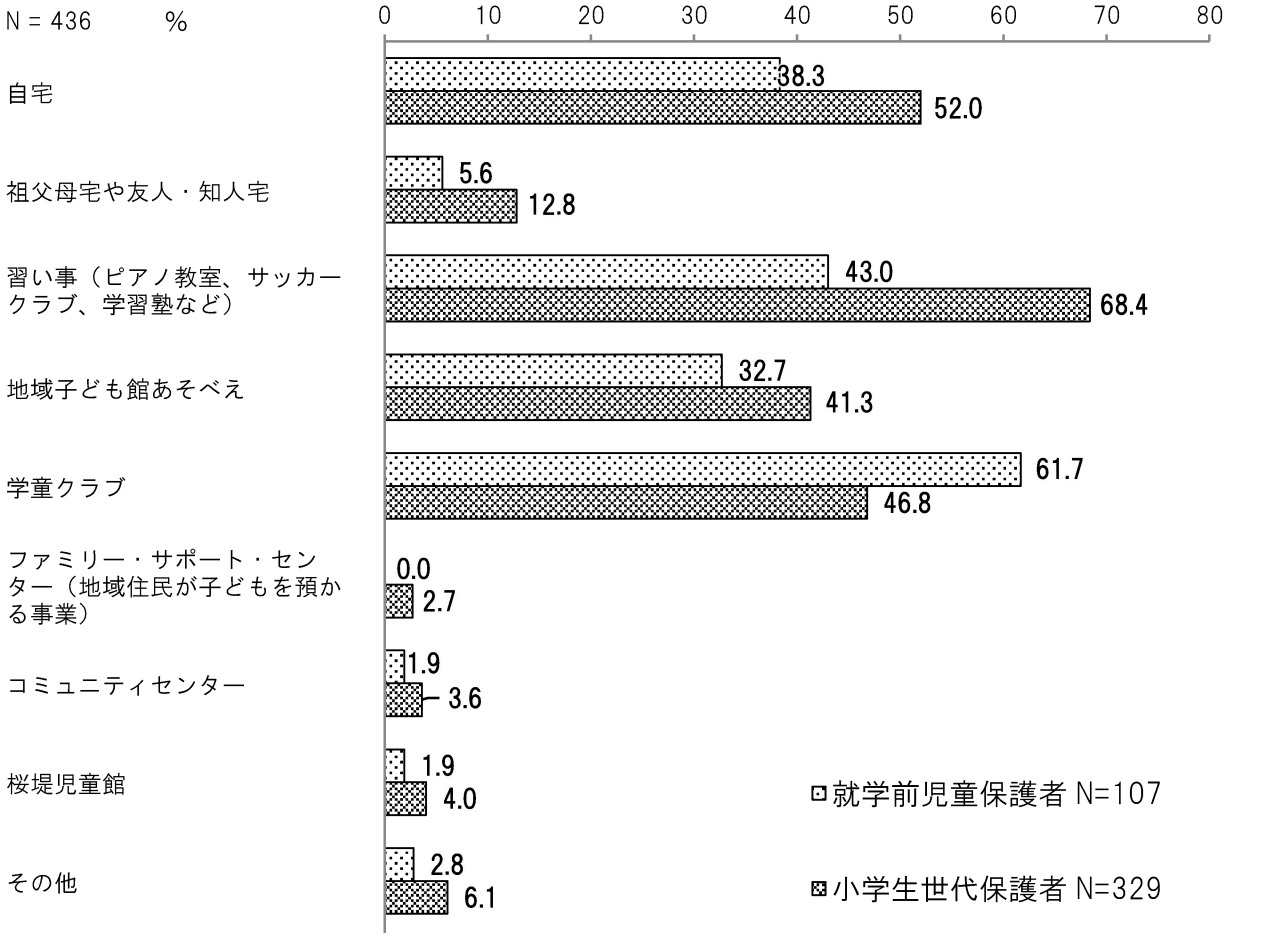
・ 学童クラブを利用していない理由を母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」では「お子さんの保護者が、現在就労していないから」が 93.9%と特に多くなっています。

（上段：実数、下段：%）

	調査数	お子さんの保護者が、現在就労していないから	お子さんの保護者が、就労しているが、学童クラブを知らなかったから	お子さんの保護者が、就労しているが、近くに学童クラブがないから	お子さんの保護者が、就労しているが、学童クラブに空きがないから	お子さんが、学童クラブを利用できる年齢を超えているから	お子さんの保護者が、就労しているが、学童クラブの開所時間が短いから	お子さんの保護者が、就労しているが、利用料がかかるから	お子さんの保護者が、就労しているが、子どもが習い事をしているから	お子さんの保護者が、就労しているが、短い時間なら子どもだけで大丈夫だと思うから	お子さんの保護者が、就労しているが、他の施設に預けているから	その他	無回答
小学1～3年生の学童クラブ非利用者	182	90	－	1	－	1	1	7	16	19	5	37	5
	100.0	49.5	－	0.5	－	0.5	0.5	3.8	8.8	10.4	2.7	20.3	2.7
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	30	－	－	－	－	－	1	5	9	6	2	6	1
	100.0	－	－	－	－	－	3.3	16.7	30.0	20.0	6.7	20.0	3.3
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	8	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－
	100.0	37.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	62.5	－
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	56	4	－	1	－	1	－	2	7	13	3	21	4
	100.0	7.1	－	1.8	－	1.8	－	3.6	12.5	23.2	5.4	37.5	7.1
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	82	77	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－
	100.0	93.9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6.1	－
これまで就労したことがない	6	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

８－１－５）あて名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答）

・ 就学前児童保護者は「学童クラブ」が最も多く 61.7%、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 43.0%でした。
・ 小学生世代保護者は「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が最も多く 68.4%、次いで「自宅」が 52.0%でした。
・ その他としては、公園、友達と遊ぶなどの記載がありました。

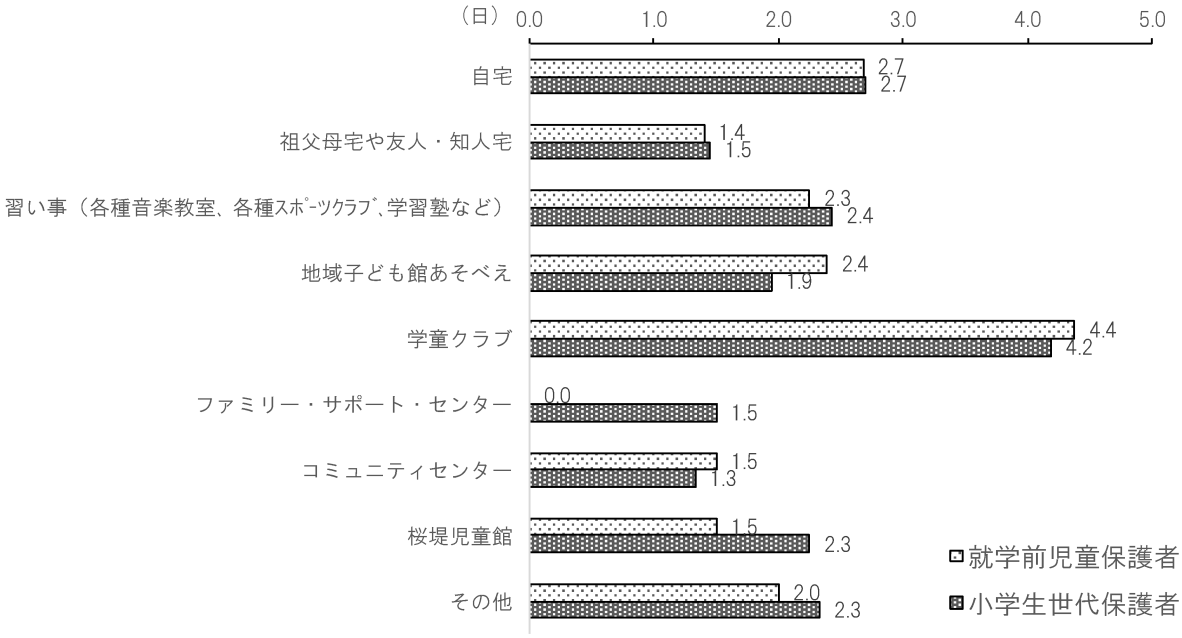


就保 19 小保 13）

８－１－６）小学校低学年時に放課後過ごさせたい場所の週あたりの希望日数（複数回答）

・ 希望する日数は、就学前児童保護者では「学童クラブ」が最も多く平均 4.38 日、次いで「自宅」が 2.68 日でした。また、学童クラブの希望利用時間は、平均 17.80 時までででした。

・ 小学校世代保護者では「学童クラブ」が最も多く平均 4.19 日、次いで「自宅」が 2.70 日でした。また、学童クラブの希望利用時間は、平均 17.50 時までででした。



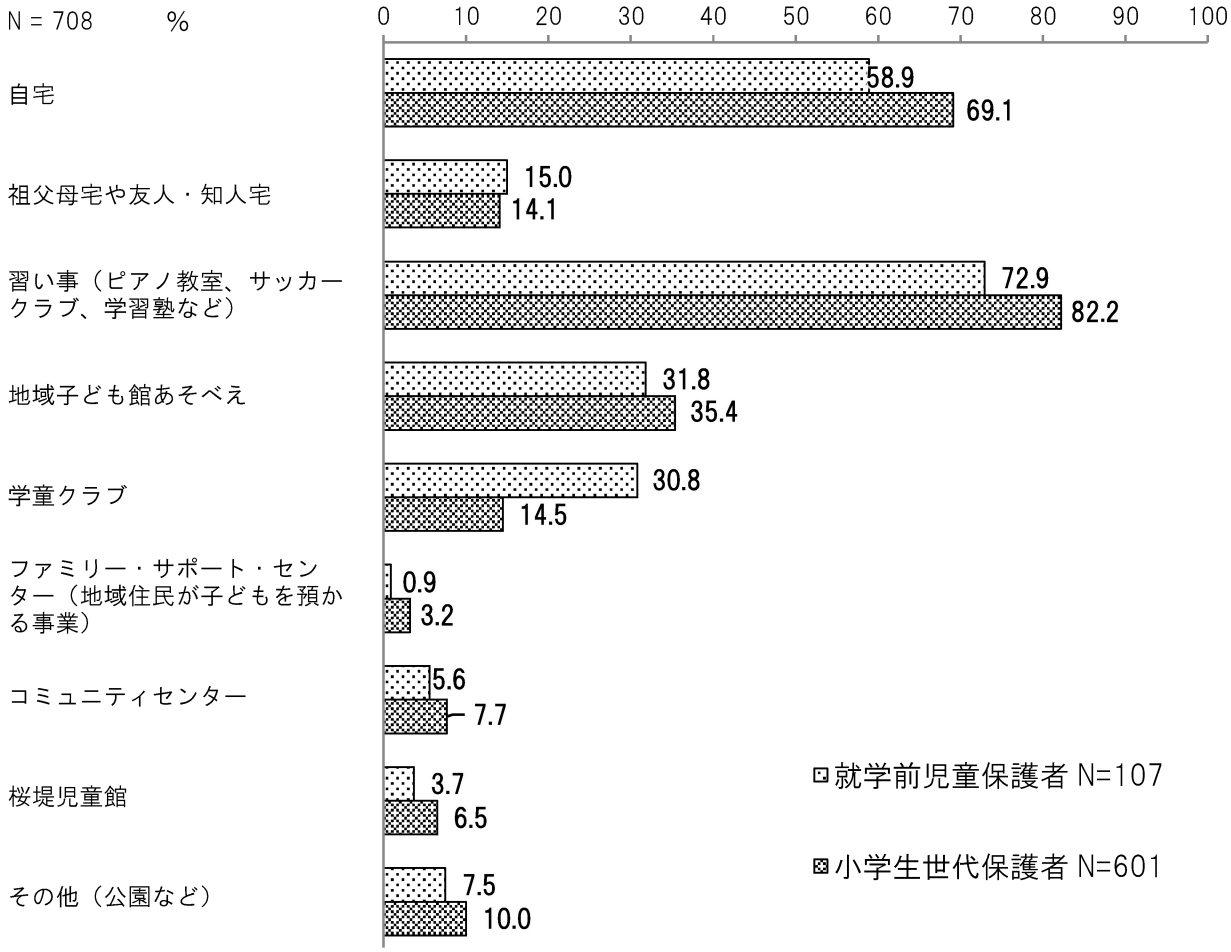
	就学前児童保護者（週あたり日数）		小学生世代保護者（週あたり日数）	
	調査数	平　均	調査数	平　均
自宅	37	2.68	162	2.70
祖父母宅や友人・知人宅	5	1.40	38	1.45
習い事（各種音楽教室、各種ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ、学習塾など）	44	2.25	217	2.43
地域子ども館あそべえ	33	2.39	124	1.94
学童クラブ	63	4.38	151	4.19
ファミリー・サポート・センター	0	―	8	1.50
コミュニティセンター	2	1.50	12	1.33
桜堤児童館	2	1.50	12	2.25
その他	3	2.00	18	2.33

	就学前児童保護者		小学生世代保護者	
	調査数	平　均	調査数	平　均
学童クラブ	63	17.80	149	17.50

就保 19 小保 13）

８－１－７）あて名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答）

・ 就学前児童保護者は「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が最も多く72.9%、次いで「自宅」が58.9%でした。
・ 小学生世代保護者は「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が最も多く82.2%、次いで「自宅」が69.1%でした。
・ その他としては、公園、民間学童、友達と遊ぶなどの記載がありました。

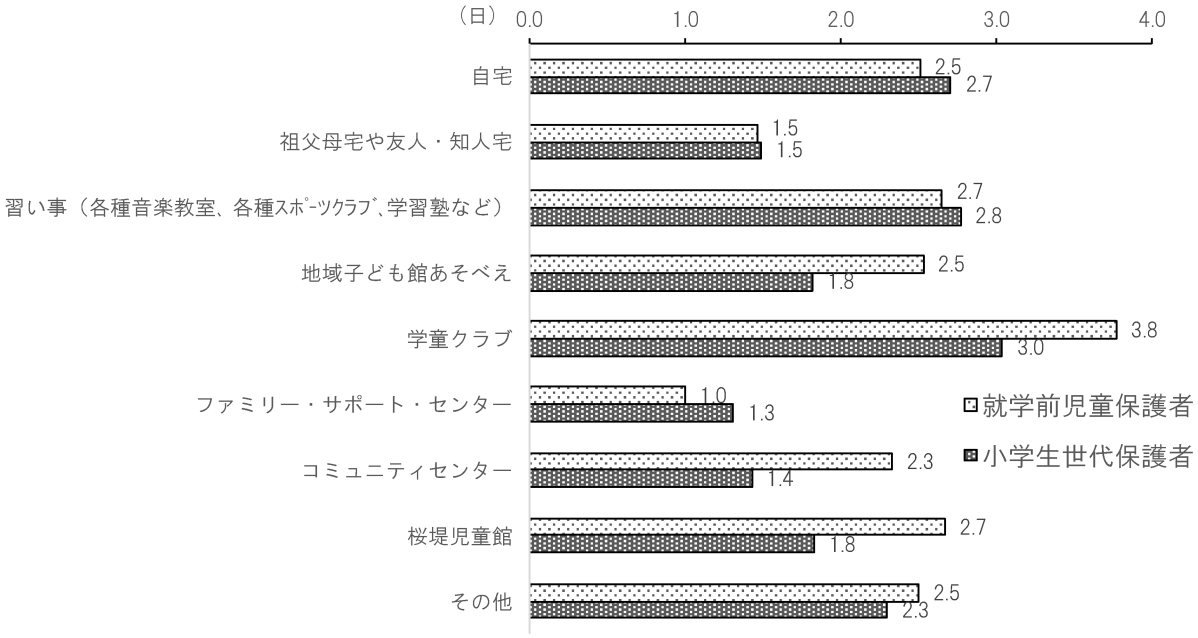


就保 20 小保 14）

８－１－８）小学校高学年時に放課後過ごさせたい場所の週あたりの希望日数（複数回答）

・ 希望する日数は、就学前児童保護者では「学童クラブ」が最も多く平均 3.77 日、次いで「桜堤児童館」が 2.67 日でした。また、学童クラブの希望利用時間は、平均 17.90 時までででした。

・ 小学校世代保護者では「学童クラブ」が最も多く平均 3.04 日、次いで「習い事」が 2.77 日でした。また、学童クラブの希望利用時間は、平均 17.56 時までででした。



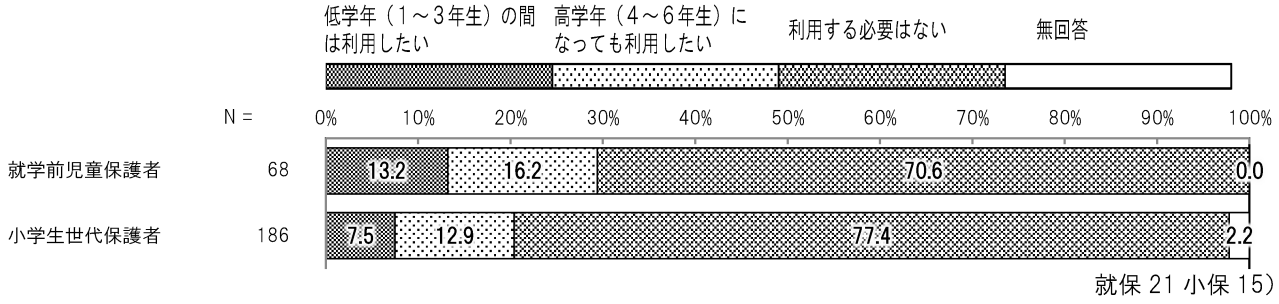
	就学前児童保護者（週あたり日数）		小学生世代保護者（週あたり日数）	
	調査数	平　均	調査数	平　均
自宅	59	2.51	390	2.71
祖父母宅や友人・知人宅	13	1.46	80	1.49
習い事（各種音楽教室、各種ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ、学習塾など）	74	2.65	478	2.77
地域子ども館あそべえ	30	2.53	200	1.82
学童クラブ	30	3.77	85	3.04
ファミリー・サポート・センター	1	1.00	16	1.31
コミュニティセンター	6	2.33	40	1.43
桜堤児童館	3	2.67	35	1.83
その他	6	2.50	54	2.30

	就学前児童保護者		小学生世代保護者	
	調査数	平　均	調査数	平　均
学童クラブ	30	17.90	80	17.56

就保 20 小保 14）

８－１－９）あて名のお子さんについて、土曜日に、学童クラブの利用希望はありますか。

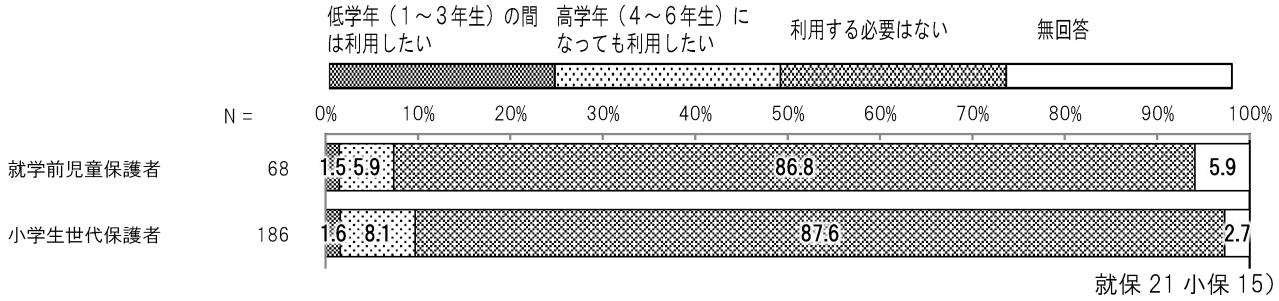
- 就学前児童保護者は「利用する必要はない」が最も多く 70.6%、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 16.2%でした。
- 小学生世代保護者は「利用する必要はない」が最も多く 77.4%、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 12.9%でした。



就保 21 小保 15）

８－１－１０）あて名のお子さんについて、日曜・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。

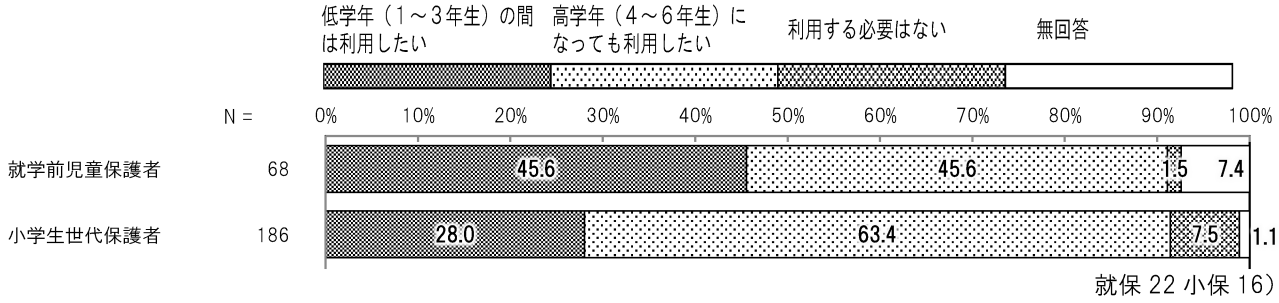
- 就学前児童保護者は「利用する必要はない」が最も多く 86.8%、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 5.9%でした。
- 小学生世代保護者は「利用する必要はない」が最も多く 87.6%、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 8.1%でした。



就保 21 小保 15）

８－１－１１）あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の学童クラブ利用希望はありますか。

- 就学前児童保護者は「低学年（１～３年生）の間は利用したい」と「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が最も多く 45.6%でした。
- 小学生世代保護者は「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が最も多く 63.4%、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 28.0%でした。

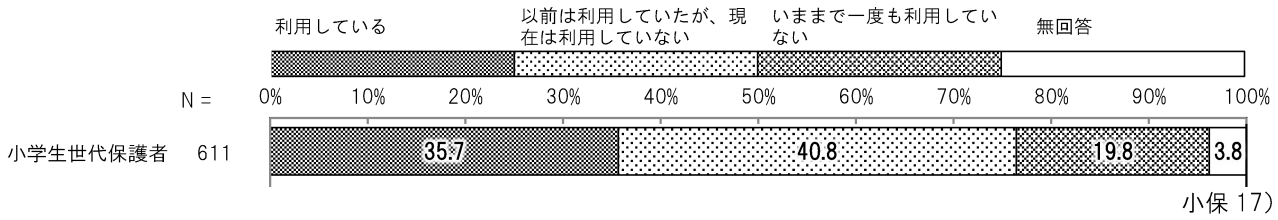


就保 22 小保 16）

8-2『地域子ども館あそべえ』の利用状況

8－2－1）あて名のお子さんは『地域子ども館あそべえ』を利用したことがありますか。

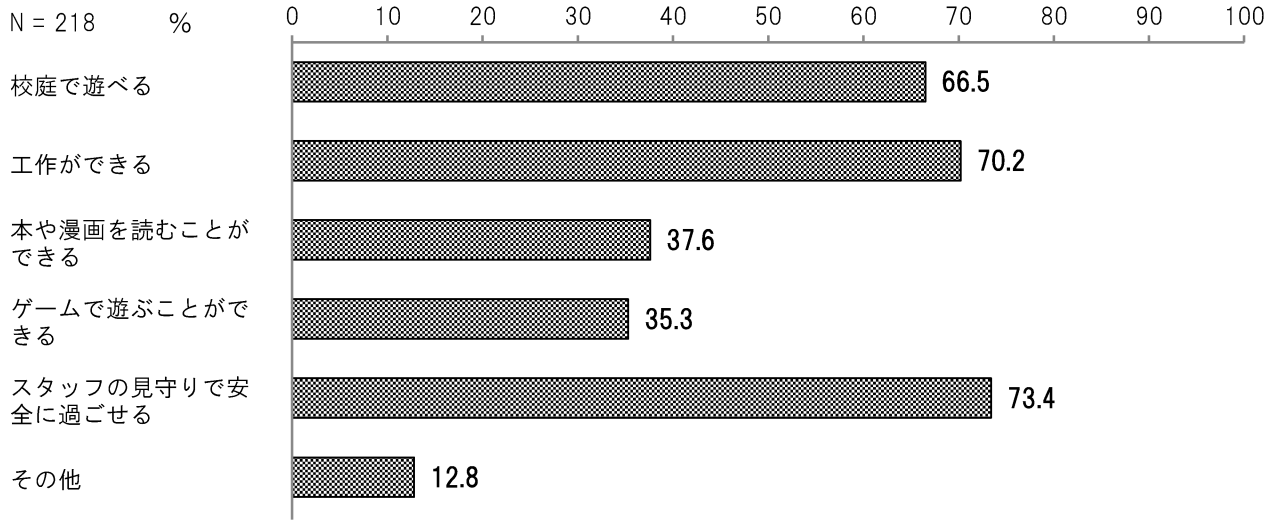
・ 小学生世代保護者は「以前は利用していたが、現在は利用していない」が 40.8%、「利用している」が 35.7%でした。



小保 17）

8－2－2）『地域子ども館あそべえ』を利用する理由をお聞かせください。（複数回答）

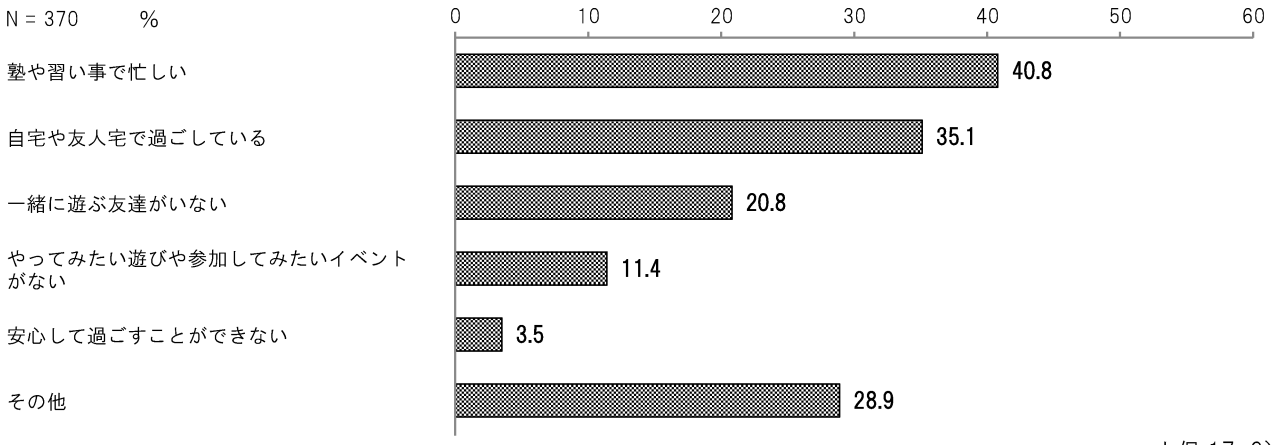
・ 小学生世代保護者は「スタッフの見守りで安全に過ごせる」が最も多く 73.4%、次いで「工作ができる」が 70.2%でした。



小保 17-1）

8－2－3）『地域子ども館あそべえ』を利用しない理由をお聞かせください。（複数回答）

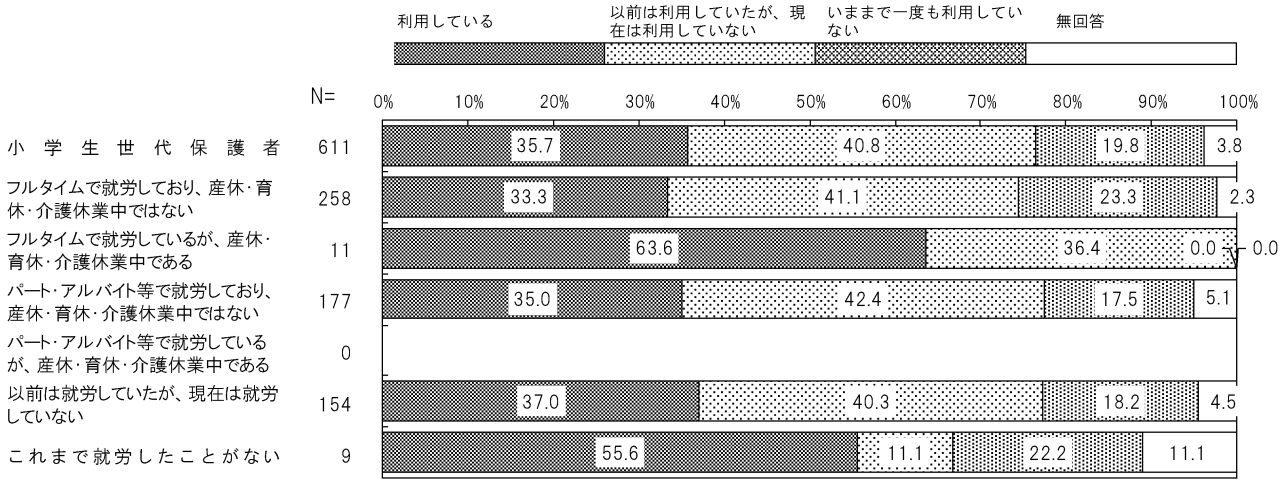
・ 小学生世代保護者は「塾や習い事で忙しい」が最も多く 40.8%、次いで「自宅や友人宅で過ごしている」が 35.1%でした。



小保 17-2）

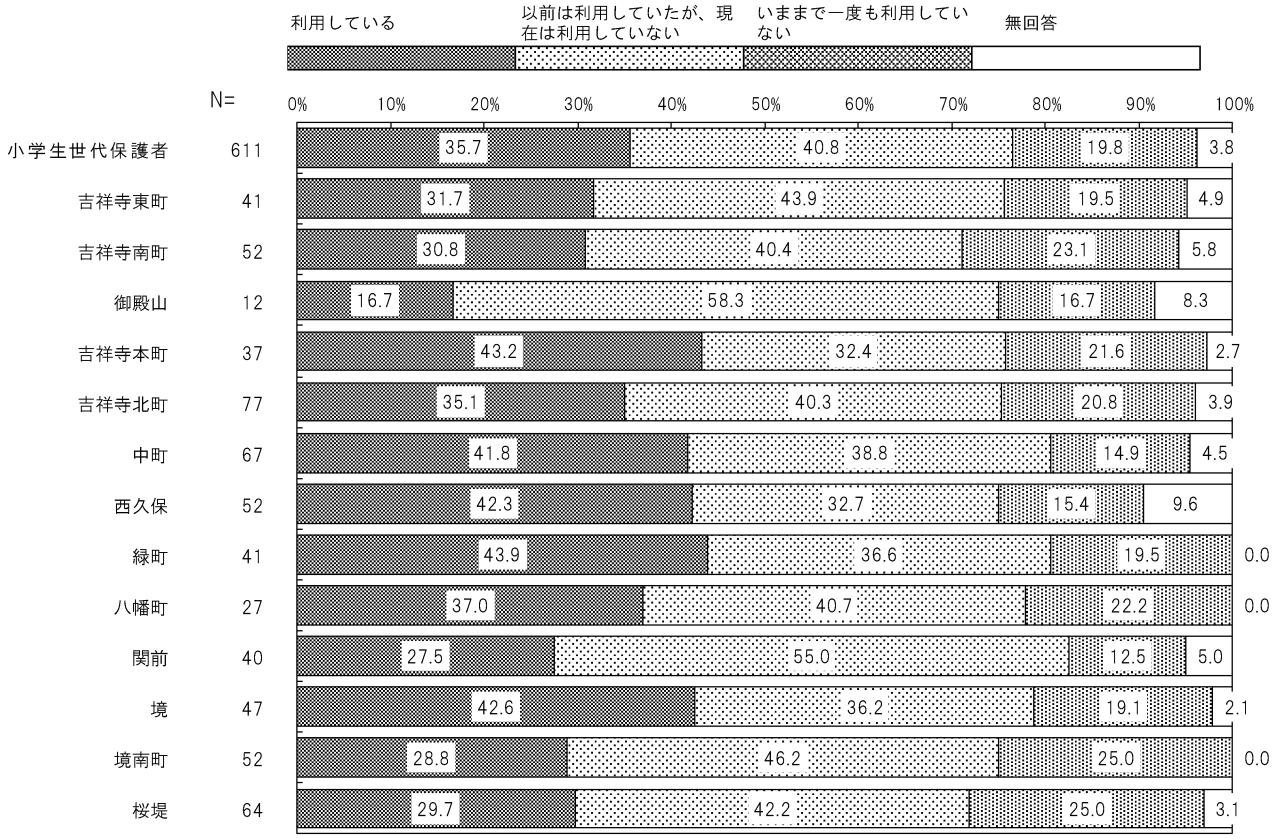
【母親の就労状況　×『地域子ども館あそべえ』の利用状況】

・　『地域子ども館あそべえ』の利用状況を母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」では、「利用している」が 63.6%と多い傾向にあります。



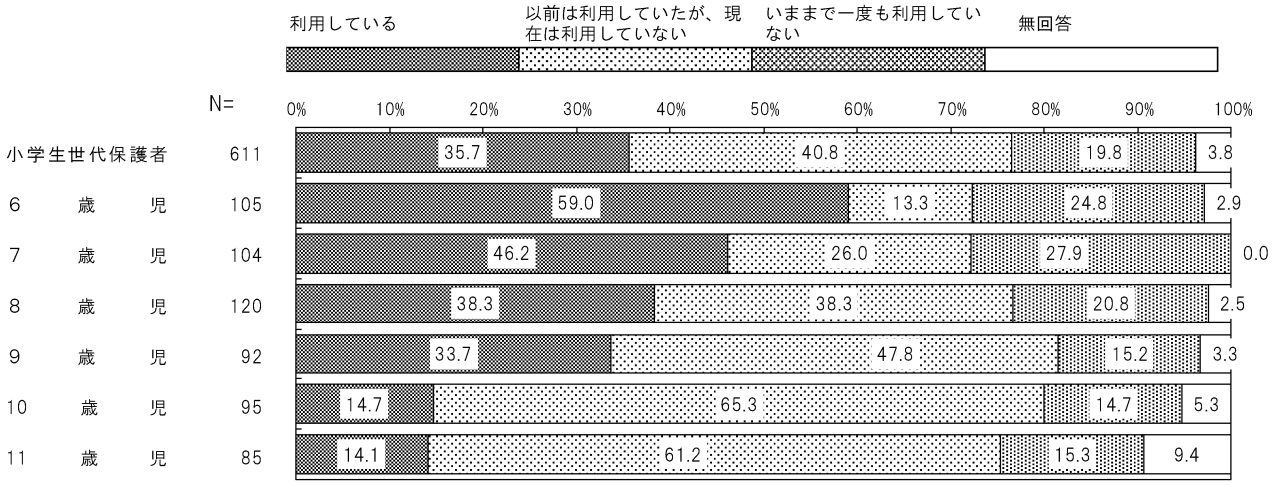
【居住地区　×『地域子ども館あそべえ』の利用状況】

・　『地域子ども館あそべえ』の利用状況を居住地区別にみると、「利用している」は緑町で 43.9%、吉祥寺本町で 43.2%、境で 42.6%、西久保で 42.3%、中町で 41.8%と４割を超えています。一方、御殿山では 16.7%と、他の地区に比べて少なくなっています。



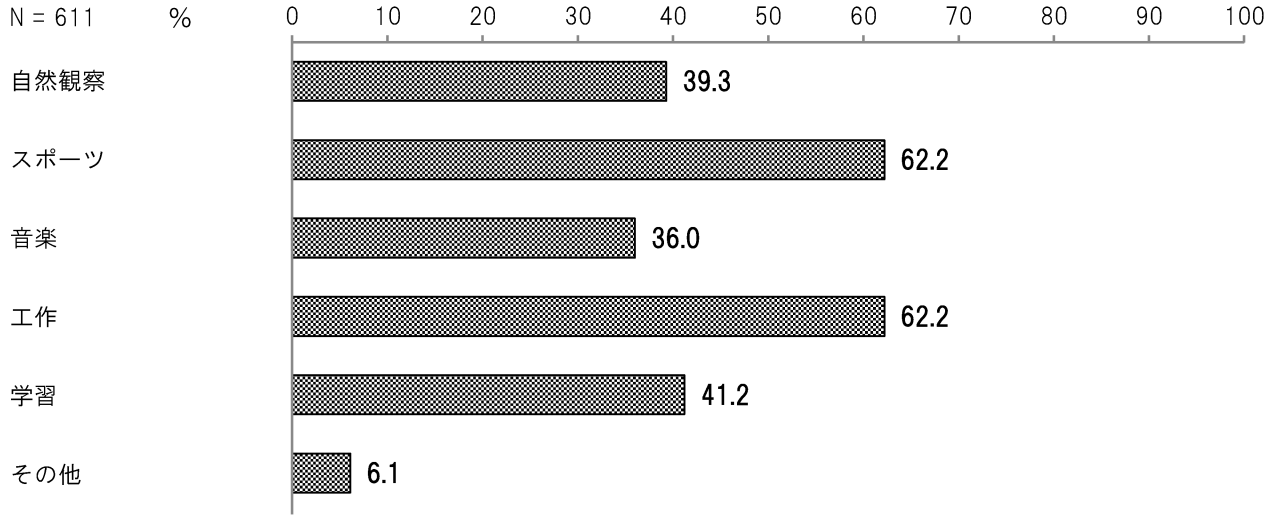
【学年年齢 ×『地域子ども館あそべえ』の利用状況】

・ 『地域子ども館あそべえ』の利用状況を学年年齢別にみると、「利用している」は「６歳児」において約６割となっています。学年年齢が高くなるにつれて利用状況が少なくなっています。



8－2－4）『地域子ども館あそべえ』で実施して欲しいプログラムをお聞かせください。（複数回答）

・ 小学生世代保護者は「スポーツ」、「工作」が 62.2%でした。
・ その他としては、料理、理科の実験、何もしてくれなくていいのでのんびりすごさせてほしいなどの記載がありました。



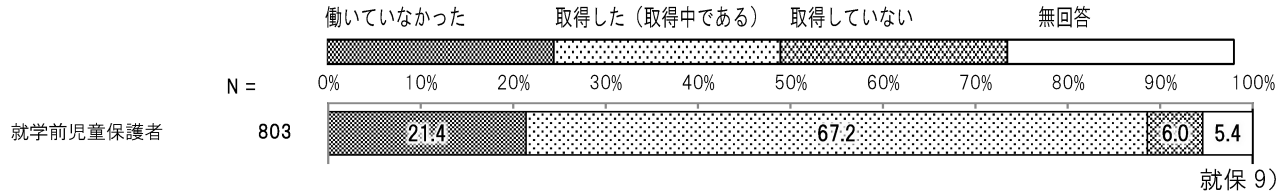
小保 18）

9 育児休業などの仕事と子育ての両立支援制度

9-1 育児休業の取得状況

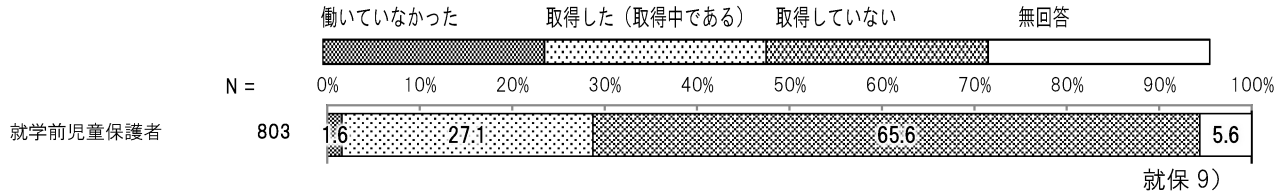
９－１－１）あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。：母親

・ 就学前児童保護者は「取得した（取得中である）」が最も多く 67.2%、次いで「働いていなかった」が 21.4%でした。



９－１－２）あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。：父親

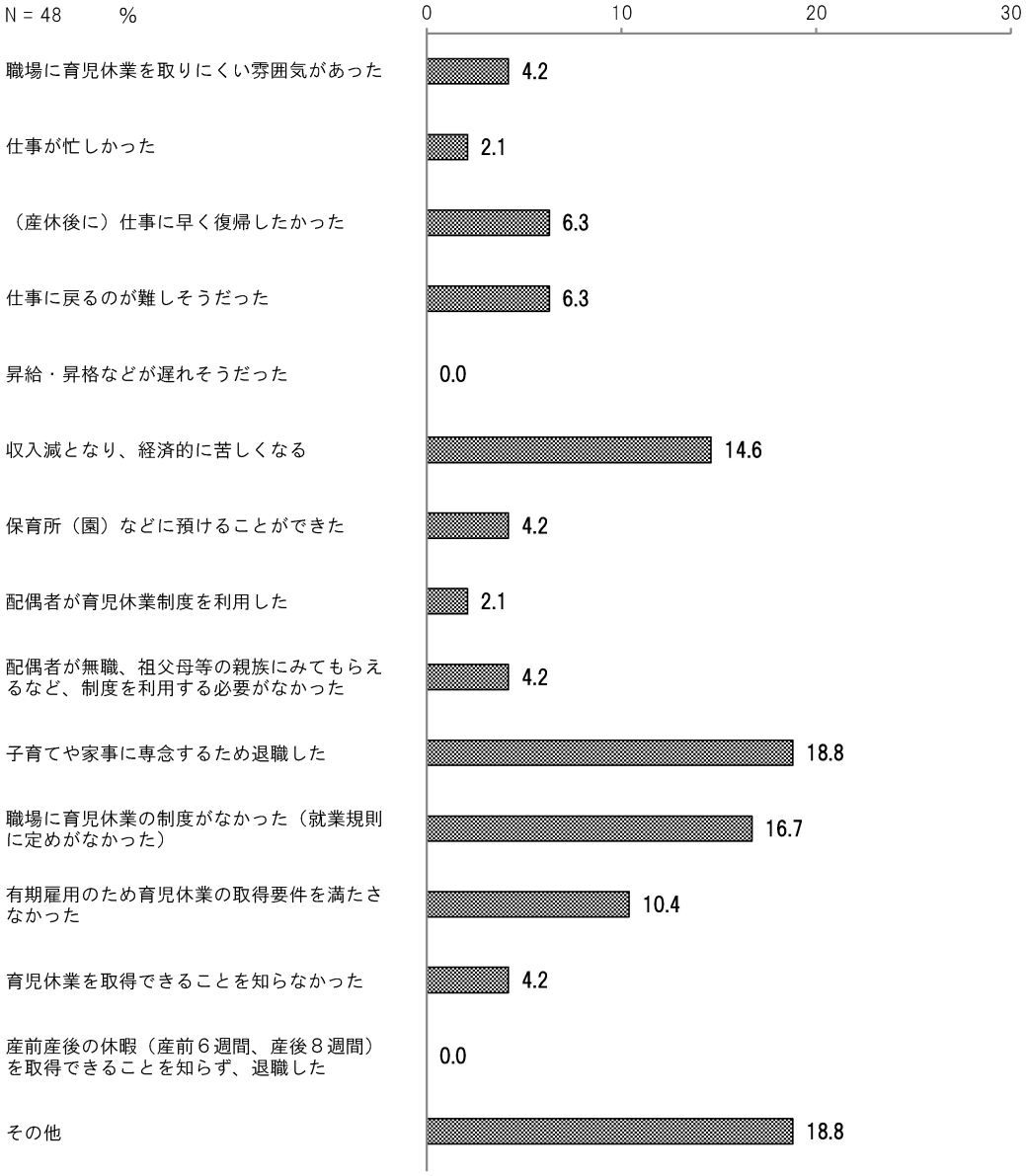
・ 就学前児童保護者は「取得していない」が最も多く 65.6%、次いで「取得した（取得中である）」が 27.1%でした。



9-2 育児休業を取得していない理由

９－２－１）取得していない方はその理由：母親（複数回答）

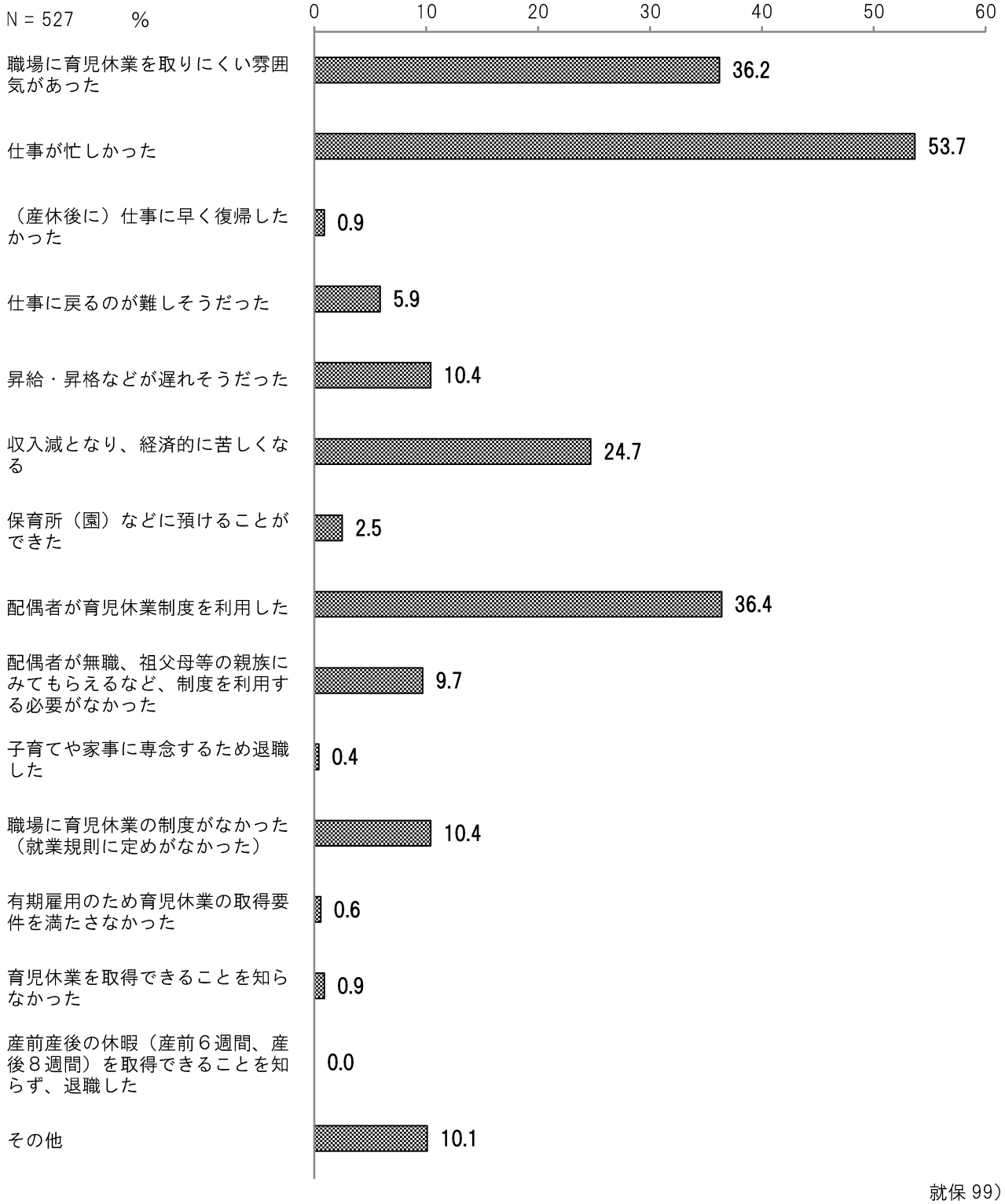
- 就学前児童保護者の母親は「子育てや家事に専念するため退職した」が最も多く 18.8%、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 16.7%でした。
- その他としては、転職直後で育休を取得できなかった、上の子が保育園に入れなかったためなどの記載がありました。



就保 9）

9－2－2）取得していない方はその理由：父親（複数回答）

- 就学前児童保護者の父親は「仕事が忙しかった」が最も多く 53.7%、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」が 36.4%でした。
- その他としては、育休の代わりに有給を取った、コロナ禍で在宅による育児協力が可能だったため、制度はあったが、代わりをしてもらえる人材がいなかったなどの記載がありました。

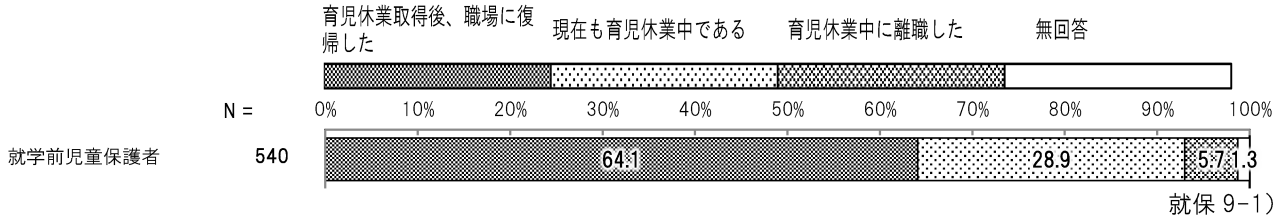


就保 99）

9-3 育児休業の取得後の職場復帰状況

９－３－１）育児休業取得後、職場に復帰しましたか。：母親

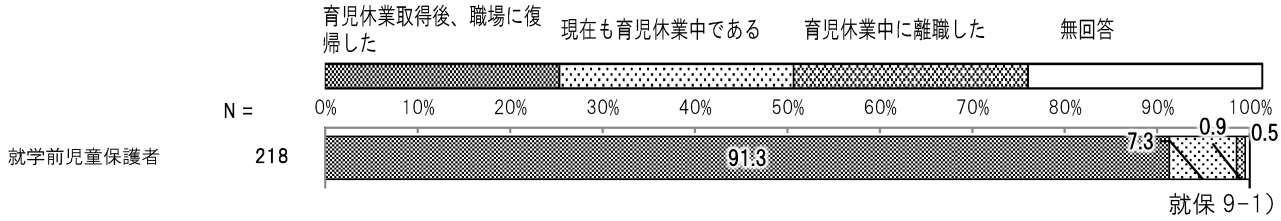
・ 就学前児童保護者の母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く 64.1%、次いで「現在も育児休業中である」が 28.9%でした。



就保 9-1）

９－３－２）育児休業取得後、職場に復帰しましたか。：父親

・ 就学前児童保護者の父親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く 91.3%、次いで「現在も育児休業中である」が 7.3%でした。



就保 9-1）

9-4 育児休業から職場復帰したときの子どもの年齢と職場復帰を希望する子どもの年齢

９－４－１）お子さんが何歳何カ月の時に職場復帰しましたか。希望としては何歳何カ月の時に復帰したいですか。：母親・父親

■母親

・ 母親が実際に職場復帰したのは、平均 1 歳 1.80 か月でした。希望は、平均 2 歳 0.15 か月でした。

	職場復帰した(歳)		職場復帰した(ヶ月)			換算値	
	調査数	平 均	調査数	平 均		歳	ヶ月
実際	349	0.67	350	5.76	→	1	1.80
希望	347	1.79	312	2.67	→	2	0.15

就保 9-2）

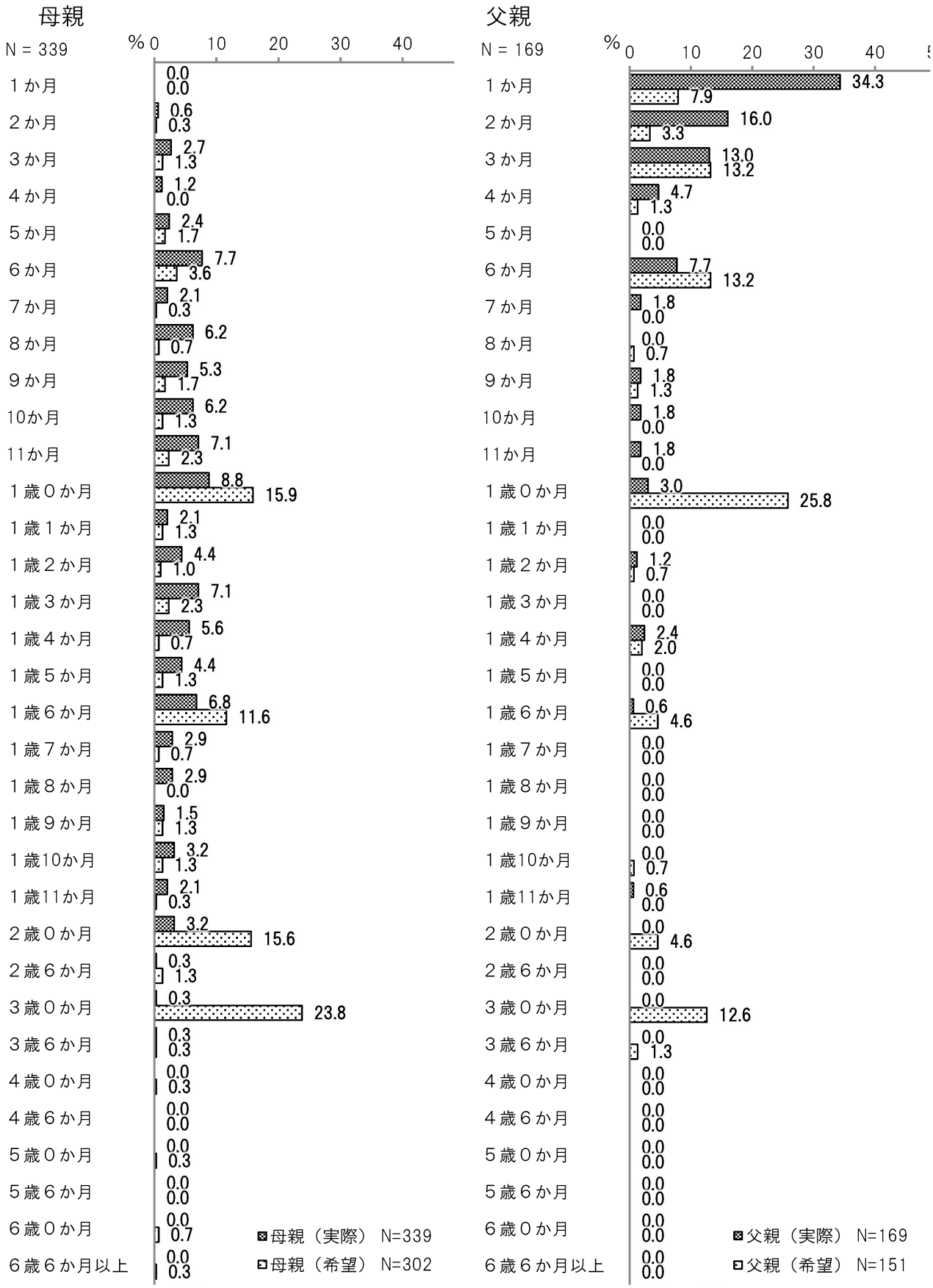
■父親

・ 父親が実際に職場復帰したのは、平均 0 歳 3.63 か月でした。希望は、平均 1 歳 2.57 か月でした。

	職場復帰した(歳)		職場復帰した(ヶ月)			換算値	
	調査数	平 均	調査数	平 均		歳	ヶ月
実際	172	0.09	184	2.55	→	0	3.63
希望	161	1.01	156	2.45	→	1	2.57

就保 9-2）

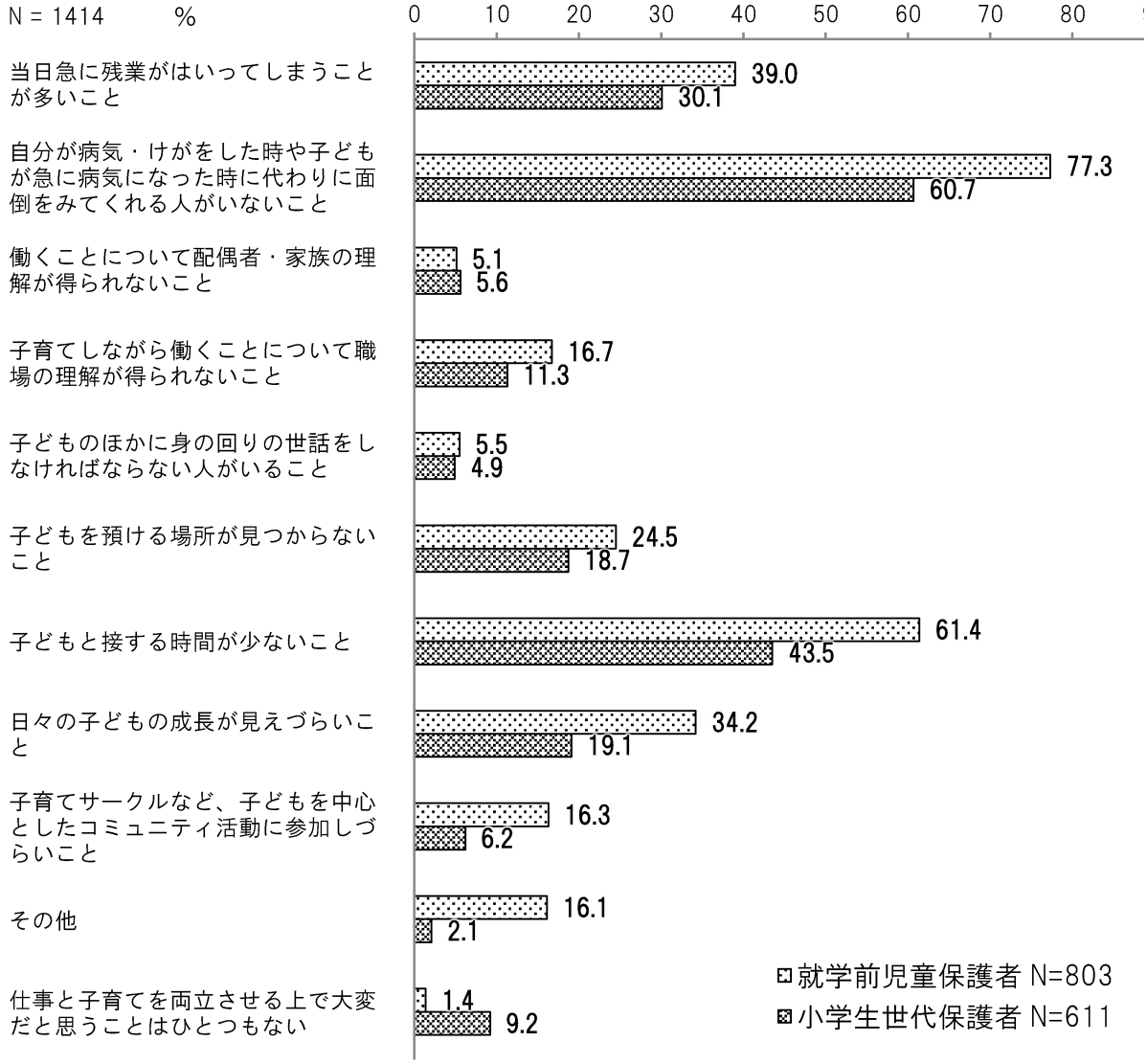
・ 母親の希望は３歳０か月が最も多く 23.8%、実際は３歳０か月が最も多く 8.8%でした。
・ 父親の希望は１歳０か月が最も多く 25.8%、実際は１か月が最も多く 34.3%でした。



9-5 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うこと

９－５－１）仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことはなんですか。（複数回答）

- 就学前児童保護者は「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみてくれる人がいないこと」が最も多く 77.3%、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」が 61.4%でした。
- その他としては、子どもが病気になったとき仕事を休みづらい、お迎えの時間に合わせて仕事を終わらせる、切り上げること、家事、子育て、仕事でホっとひと息つく時間がない、忙しすぎるなどの記載がありました。
- 小学生世代保護者は「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみてくれる人がいないこと」が最も多く 60.7%、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」が 43.5%でした。
- その他としては、やらなければいけないことに対して時間が足りないこと、PTA 活動、父母会活動などが負担。自分の時間がなかなかとれないこと。仕事と子育てのバランス同等になることはないなどの記載がありました。



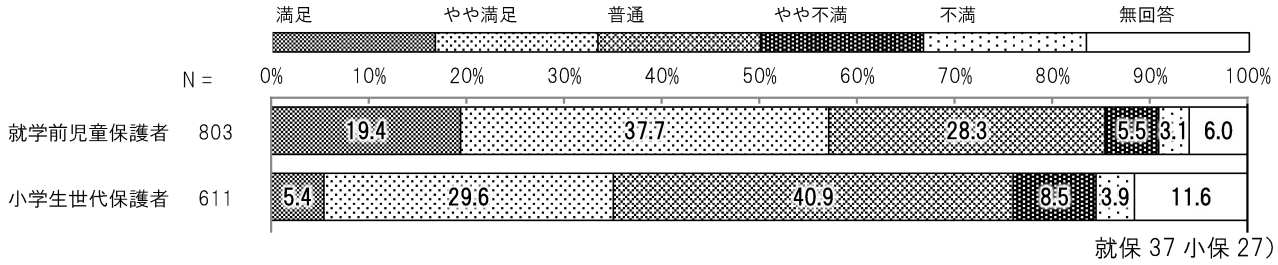
就保 10 小保 26）

１０ 市の子育て環境や支援への認知度、満足度等

10-1 市の子育て環境や支援への満足度

１０－１－１）市の子育て環境や支援への満足度

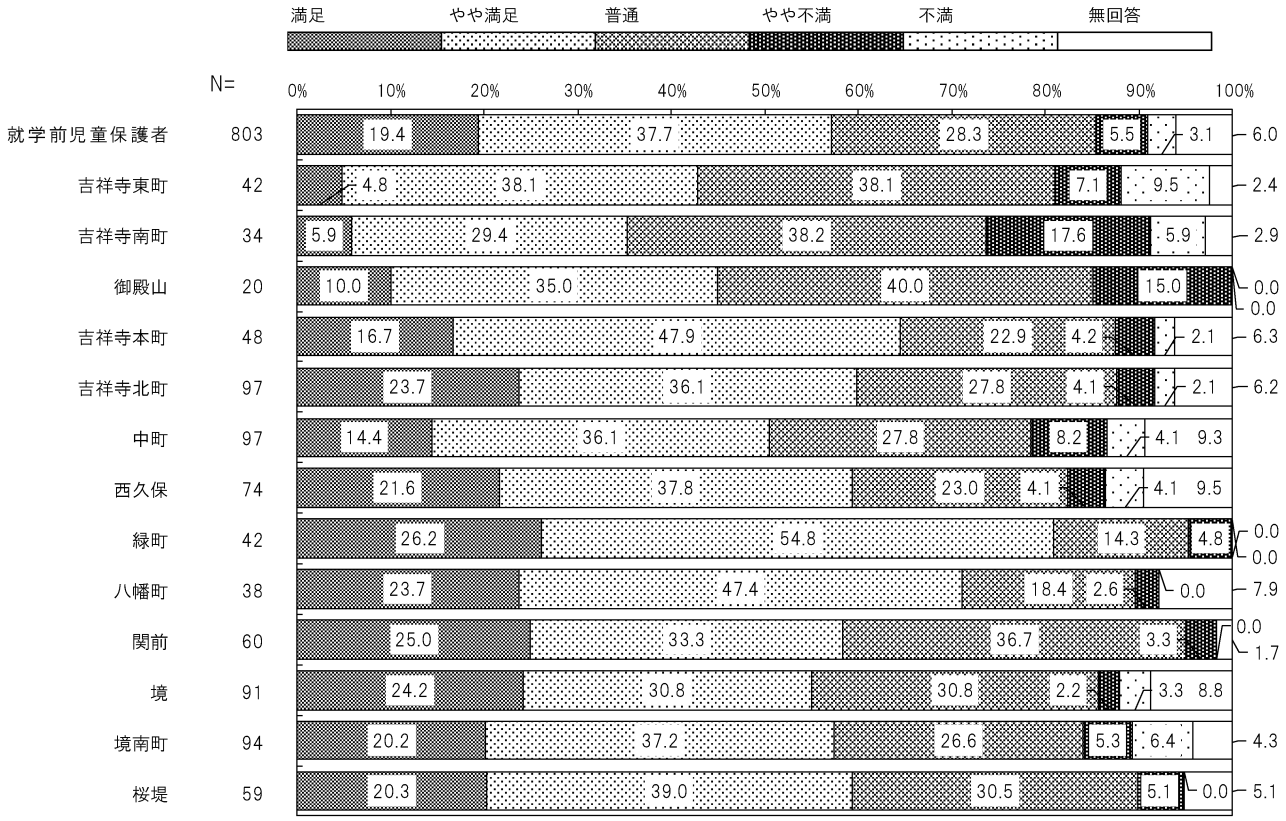
・ 就学前児童保護者は「やや満足」が最も多く 37.7%、次いで「普通」が 28.3%でした。
・ 小学生世代保護者は「普通」が最も多く 40.9%、次いで「やや満足」が 29.6%でした。



就保 37 小保 27）

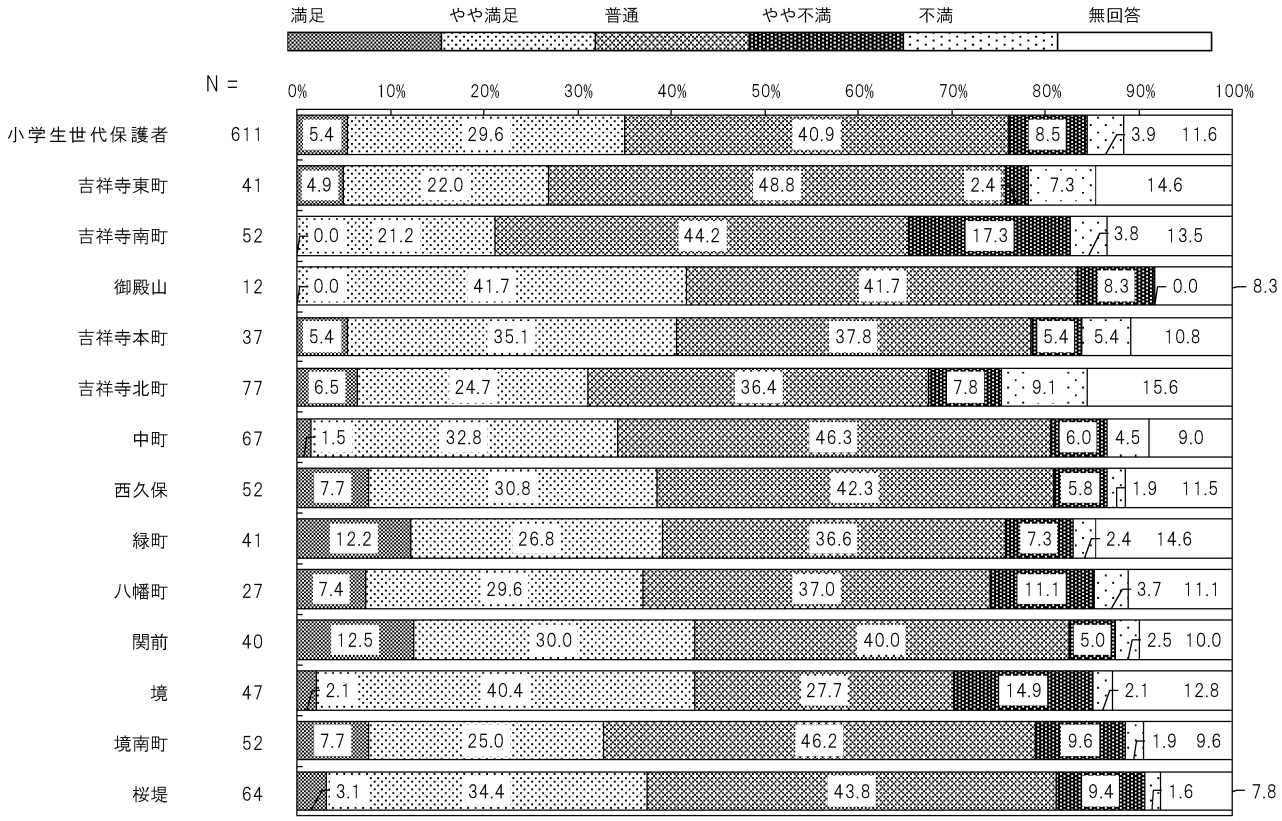
【居住地区 × 市の子育て環境や支援への満足度(未就学児童)】

・ 市の子育て環境や支援への満足度について就学前児童保護者の居住地区別にみると、「満足度が高い」と「どちらかというと満足度が高い」を合計した「満足している傾向」は、緑町で 81.0%、八幡町で 71.1%と、他地区に比べて多くなっています。一方、吉祥寺南町では「満足している傾向」が 35.3%と、他地区に比べて少なくなっています。



【居住地区×　市の子育て環境や支援への満足度(小学生児童)】

・ 市の子育て環境や支援への満足度について小学生世代保護者の居住地区別にみると、「満足度が高い」と「どちらかというと満足度が高い」を合計した「満足している傾向」は、関前と境で 42.5%、御殿山で 41.7%、吉祥寺本町で 40.5%と４割を超え、他地区に比べて多くなっています。一方、吉祥寺南町では「満足している傾向」が 21.2%と、他地区に比べて少なくなっています。



10-2 市の子育て環境や支援に関しての意見

１０－２－１）市の子育て環境や支援に関しての意見（自由記述）

就学前児童保護者

■育児・保育・学童・居場所に関する支援	
放課後対策(学童など)について	18
保育園について	48
幼稚園について	1
病児・病後児について	6
障害児への支援について	4
保護者について	2
居場所・活動の場の整備について	47

■日常生活に関する支援	
医療・健康について	17
住環境・まちづくりについて	12
交通安全・防犯について	13
路上喫煙対策について	5
ワークライフバランスについて	4
子どもや子育て家庭の将来について	1

■行政・社会に関する支援	
子育て支援サービスの充実について	142
経済的支援について	25
地域の子育て支援について	9
情報提供・相談支援について	27

■学校・教育について	
いじめについて	1
学校・教育について	9

■その他	
本調査について	4
その他意見	8

小学生世代保護者

■育児・保育・学童・居場所に関する支援	
放課後対策(学童など)について	38
保育園について	2
幼稚園について	0
病児・病後児について	3
障害児への支援について	7
保護者について	3
居場所・活動の場の整備について	27

■日常生活に関する支援	
医療・健康について	5
住環境・まちづくりについて	2
交通安全・防犯について	5
路上喫煙対策について	0
ワークライフバランスについて	12
子どもや子育て家庭の将来について	2

■行政・社会に関する支援	
子どもの権利について	3
子育て支援サービスの充実について	65
ひとり親家庭への支援について	1
経済的支援について	42
地域の子育て支援について	7
情報提供・相談支援について	13

■学校・教育について	
いじめについて	1
不登校・ひきこもり支援について	0
学校・教育について	33

■その他	
本調査について	3
その他意見	4

中学生世代保護者

■育児・保育・学童・居場所に関する支援	
放課後対策(学童など）について	1
保護者について	2
居場所・活動の場の整備について	11

■日常生活に関する支援	
医療・健康について	4
住環境・まちづくりについて	5
交通安全・防犯について	2
路上喫煙対策について	1
ワークライフバランスについて	1

■行政・社会に関する支援	
子どもの権利について	3
子育て支援サービスの充実について	8
ひとり親家庭への支援について	2
経済的支援について	7
情報提供・相談支援について	4

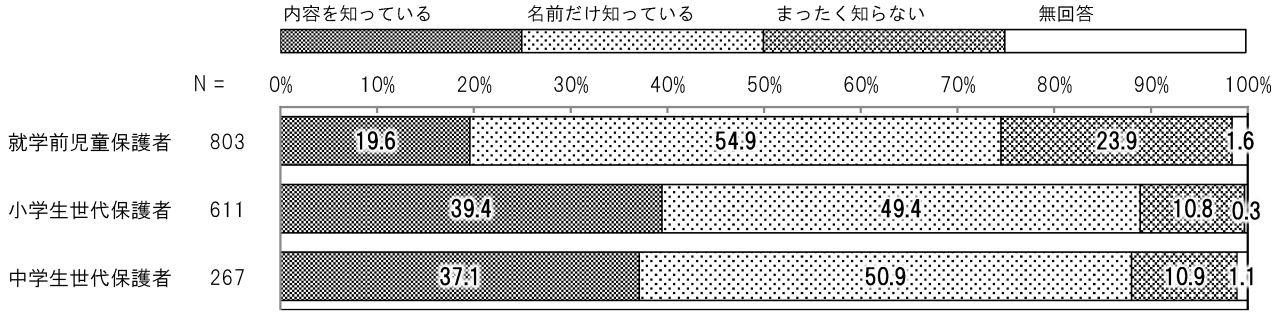
■学校・教育について	
いじめについて	1
障害児への支援について	1
不登校・ひきこもり支援について	6
学校・教育について	15

■その他	
本調査について	4
その他意見	13

10-3 武蔵野市子どもの権利条例

１０－３－１）武蔵野市では、令和５年４月に「武蔵野市子どもの権利条例」が施行されました。
あなたは、「子どもの権利」を知っていますか？

・「名前だけ知っている」が最も多く、就学前児童保護者で 54.9%、小学生世代保護者で 49.4%、中学生世代保護者で 50.9%でした。

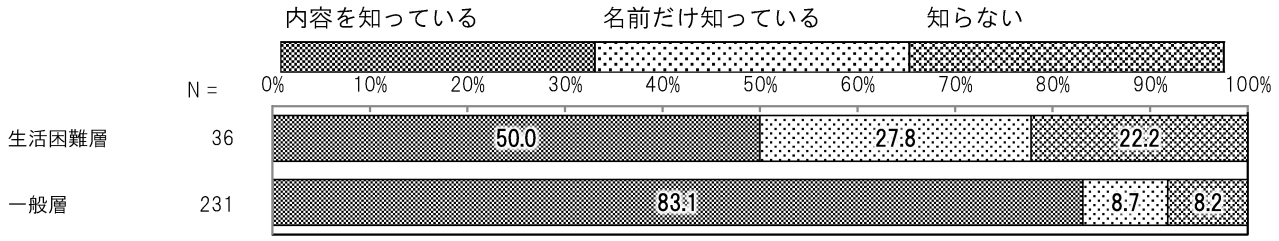


就保 38 小保 24 中保 20）

10-4 ヤングケアラー

１０－４－１）ヤングケアラーのことを知っていますか？ 9

・ 「内容を知っている」について、生活困難層で 50.0%、一般層で 83.1%でした。

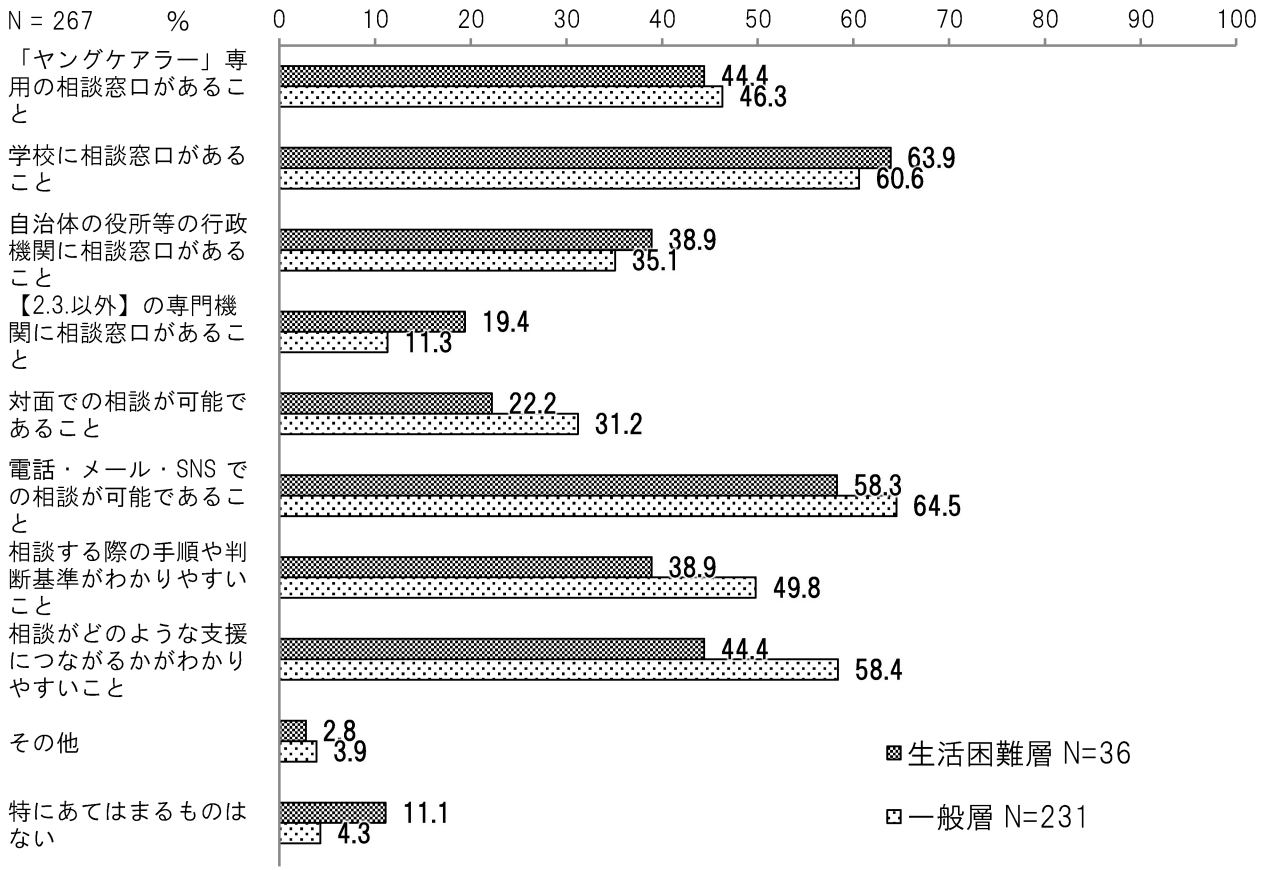


中保 19）

１０－４－２）「ヤングケアラー」と思われる子どもがいる場合、どのような仕組みや取組があると相談しやすい環境づくりにつながると思いますか。（複数回答）

・ 生活困難層では「学校に相談窓口があること」が最も多く 63.9%、次いで「電話・メール・SNS での相談が可能であること」が 58.3%でした。

・ その他としては、本人が相談しなくても、気付いて助けてあげる人がいること、本人に自覚がない可能性があり、自ら相談するのはレアケースだと思う、学校や周りが気づいた時に連携して、本人へアクションをとってくれる支援の場所があるとよいのではと思うなどの記載がありました。

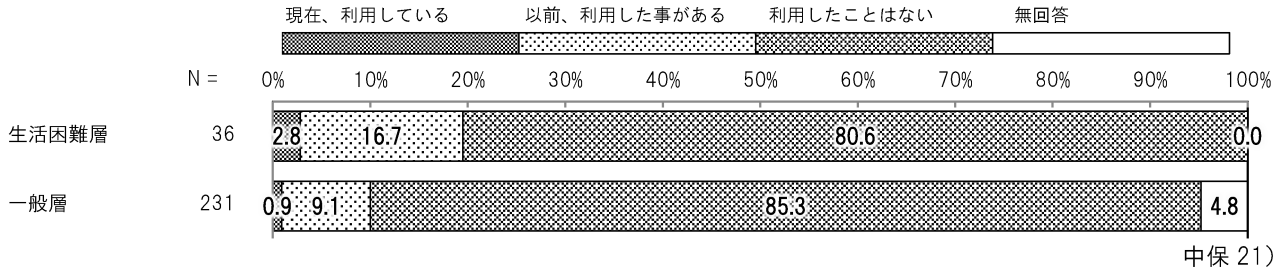


中保 19-1）

10-5 そのほか中学生世代保護者設問から

１０－５－１）あなたのご家庭では、以下の相談機関をこれまでに利用したことがありますか。：
ア　子ども家庭支援センター

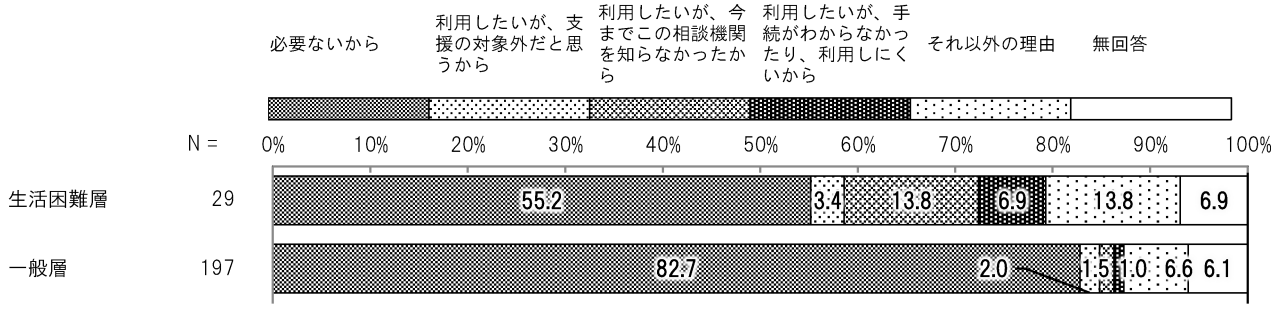
・ 生活困難層は子ども家庭支援センターを「利用したことはない」が 80.6%でした。



中保 21）

１０－５－２）利用したことが無い理由：ア　子ども家庭支援センター

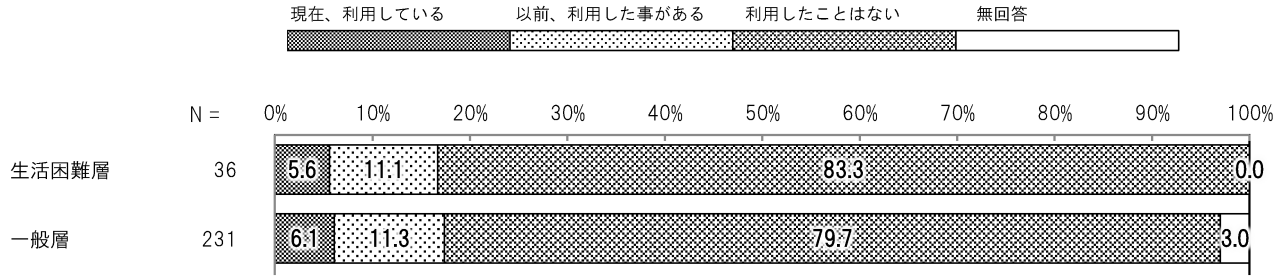
・ 「必要がないから」について、生活困難層で 55.2%、一般層で 82.7%でした。



中保 21）

１０－５－３）あなたのご家庭では、以下の相談機関をこれまでに利用したことがありますか。：
イ　教育支援センター

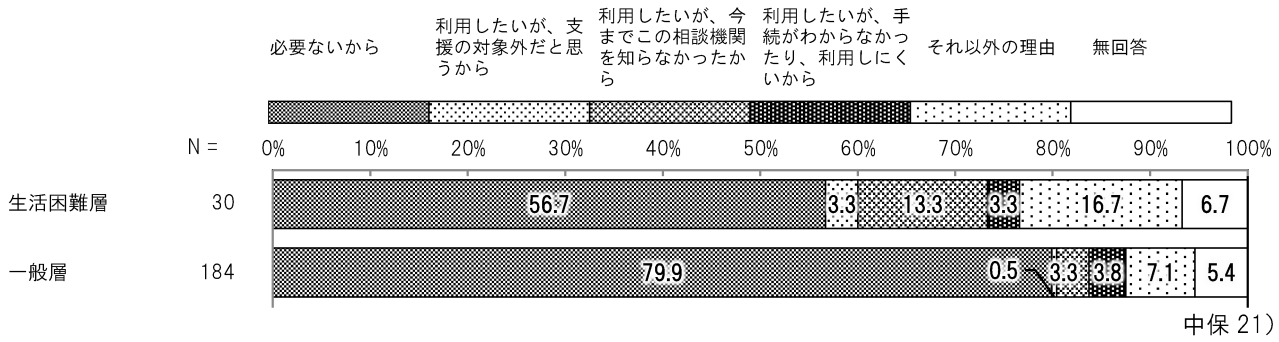
・ 生活困難層は教育支援センター―を「利用したことはない」が 83.3%でした。



中保 21）

１０－５－４）利用したことが無い理由：イ　教育支援センター

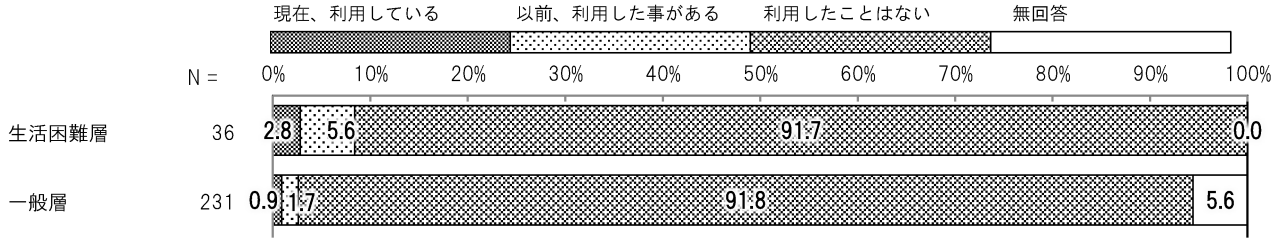
・「必要がないから」について、生活困難層で 56.7%、一般層で 79.9%でした。



中保 21）

１０－５－５）あなたのご家庭では、以下の相談機関をこれまでに利用したことがありますか。：
ウ　福祉総合相談窓口（生活福祉課）

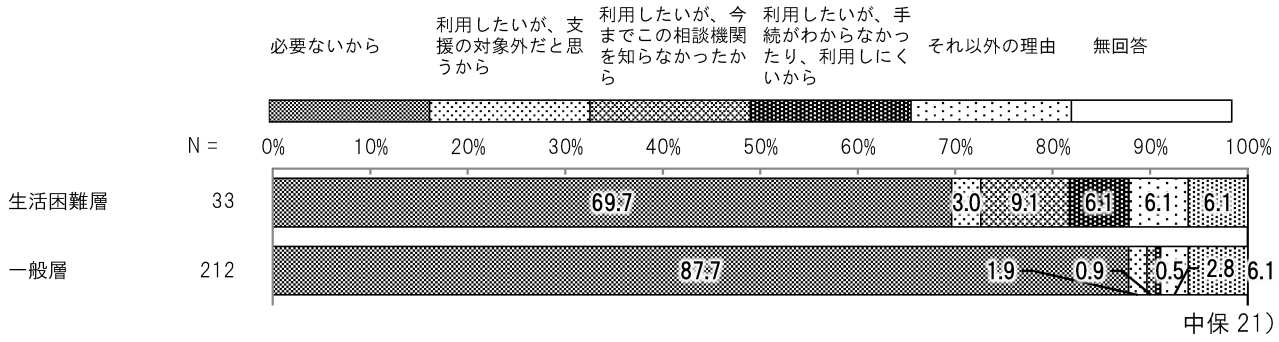
・ 生活困難層は福祉総合相談窓口を「利用したことはない」が 91.7%でした。



中保 21）

１０－５－６）利用したことが無い理由：ウ　福祉総合相談窓口（生活福祉課）

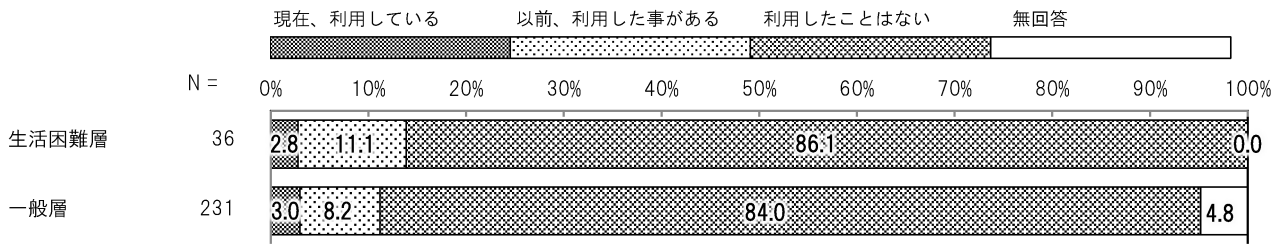
・「必要がないから」について、生活困難層で 69.7%、一般層で 87.7%でした。



中保 21）

１０－５－７）あなたのご家庭では、以下の相談機関をこれまでに利用したことがありますか。：
エ　児童発達支援センター　みどりのこども館・相談部ハビット

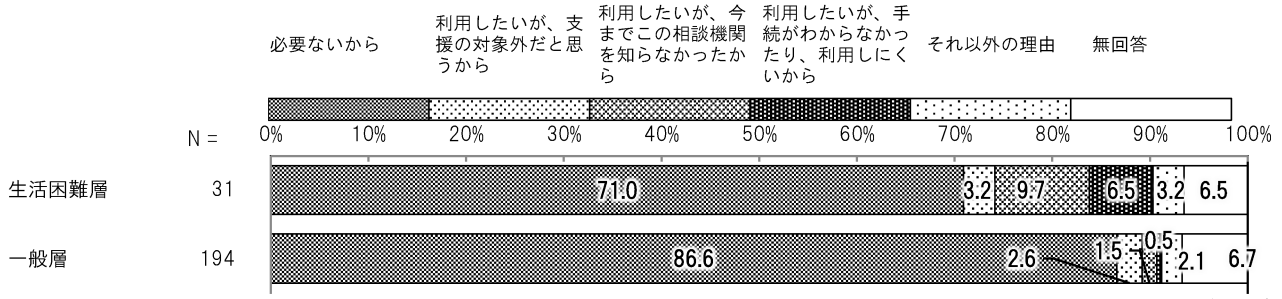
・ 生活困難層は児童発達支援センターを「利用したことはない」が 86.1%でした。



中保 21）

１０-５-８）利用したことが無い理由：エ　児童発達支援センター　みどりのこども館・相談部　ハビット

・「必要がないから」について、生活困難層で 71.0%、一般層で 86.6%でした。



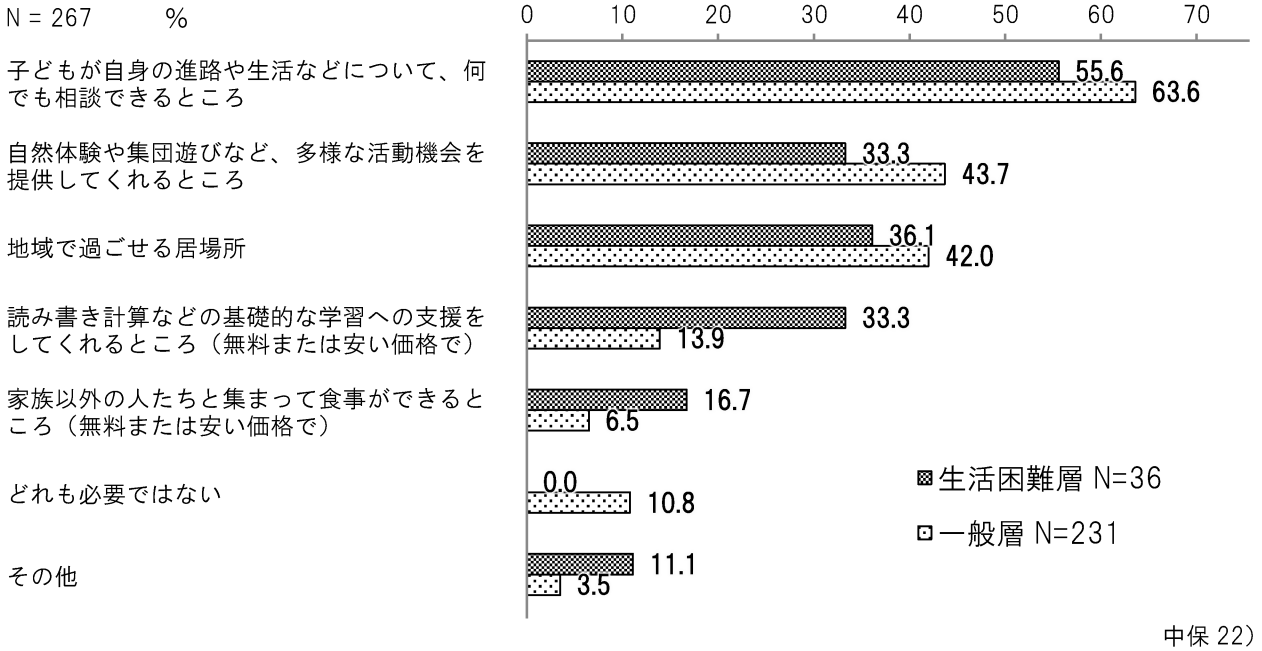
中保 21）

１０-５-９）お子さんに関することで相談したことのある機関がありましたら、お書きください。

・子育て支援センター、学校のスクールカウンセラー、病院、民間機関などの記載がありました。

１０-５-１０）お子さんにとって、必要と思われる支援はどのようなものですか。（複数回答）

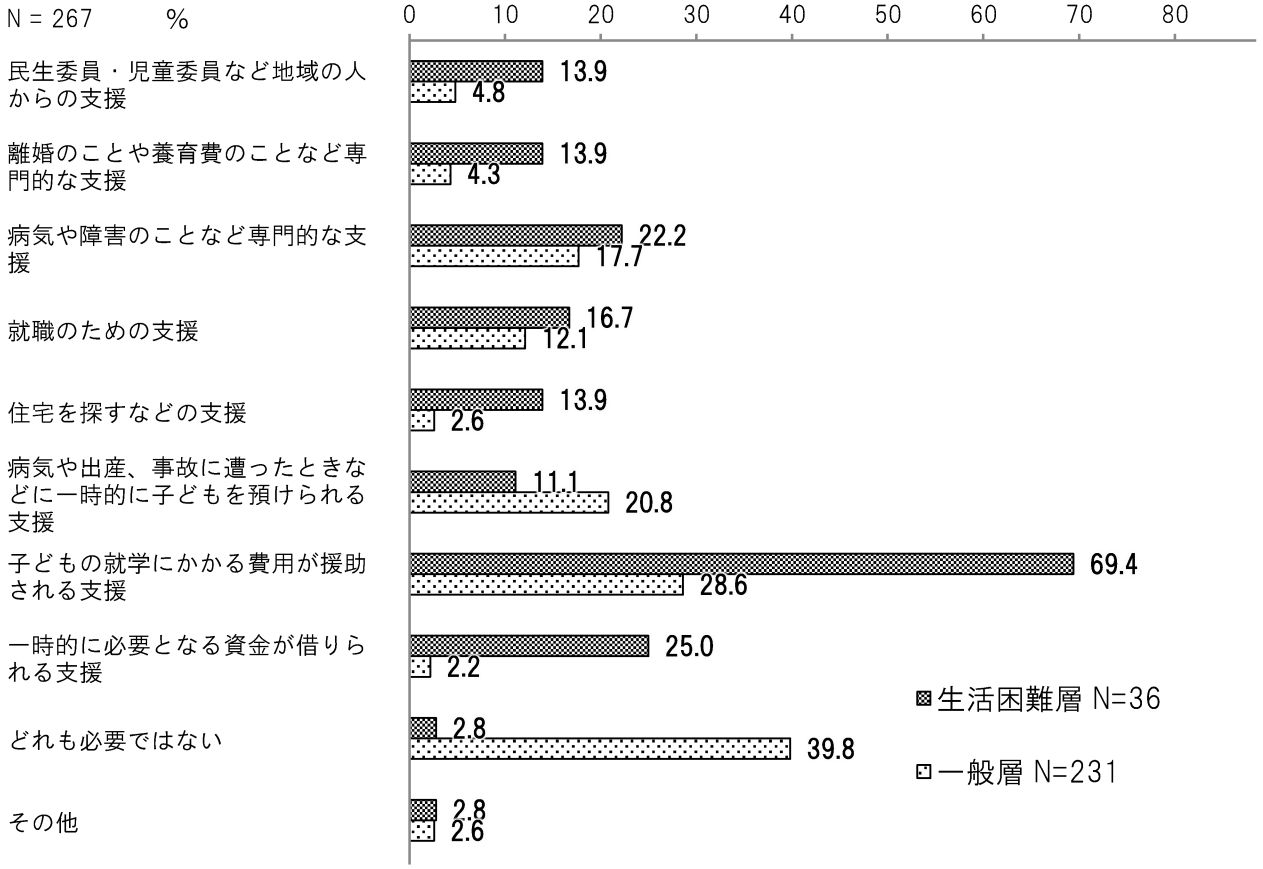
・生活困難層では「子どもが自身の進路や生活などについて、何でも相談できるところ」が最も多く 55.6%、次いで「地域で過ごせる居場所」が 36.1%でした。
・その他としては、IT スキルが学べ、触れられるところ、コミュニケーショントレーニングができるなどの記載がありました。



中保 22）

１０－５－１１）あなたにとって、必要と思われる支援はどのようなものですか。（複数回答）

・ 生活困難層は「子どもの就学にかかる費用が援助される支援」が 69.4%、次いで「一時的に必要となる資金が借りられる支援」が 25.0%でした。
・ その他としては、思青期の子供達の育て方、支援してほしいです、中学生、高校生の子どもがいるが、高校授業料の無償化は所得制限で適用外だったので、教育費には負担を感じていた。子どものことに関わる施策について所得制限はなくしていくべきと思う、長期休み中の子の見守りなどの記載がありました。



中保 23）

巻末資料　調査票

・就学前児童保護者用　調査票
・小学生世代保護者用　調査票
・中学生世代保護者用　調査票

就学前児童の保護者

子ども・子育て支援 についてお声を聞かせてください

―武蔵野市子ども・子育て支援に関するアンケート調査―

【アンケート調査へご協力をお願いします】

この調査は、市内の就学前のお子さんのいる世帯を対象にした、子ども・子育てに関する意識やニーズ等を把握するための、非常に大切な調査です。

調査結果は、武蔵野市の子ども・子育てに関する計画である「第六次子どもプラン武蔵野」の検討に生かします。

お忙しいところ分量が多い調査で大変恐縮ですが、ご協力よろしくお願いします。

回答方法は、以下の２つのうちどちらか

■郵送で回答する場合

①この調査票に回答内容をご記入ください。

②同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください。切手は不要です。

１月22日（月）必着

■インターネットで回答する場合

スマートフォン等で二次元コードを読みとるか、URL から回答フォームにアクセスし、ご回答ください。

回答期限 １月 26 日（金）

https://www16.webcas.net/form/pub/kodomo/hogo01

【問い合わせ先】
武蔵野市　子ども子育て支援課　子ども政策係
電話　0422-60-1851

【回答にあたって】

1．アンケートは、封筒のあて名のお子さんの保護者の方が回答してください。
（無記名ですので、氏名・住所を記入する必要はありません）

2．お子さんについての問いは、封筒のあて名のお子さんについて回答してください。

3．特にことわりのある場合は、同居のご家族について回答してください。答えたくない問いはとばして、答えられる問いにだけ回答してください。

4．保護者の方がご自身で直接回答することが難しい場合は、家族や介護をする方などが、保護者の方の意向を尊重してご回答ください。

5．この調査は、市内の就学前のお子さんのいる世帯を対象に、子ども・子育てに関する意識やニーズ等を把握するもので、無作為に選ばせていただきました。

6．調査結果につきましては統計的に処理し、回答内容で個人が特定されるようなことは一切ありませんので、率直なご意見、お考えをお聞かせください。

あて名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます

問１　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。父や母は、事実婚を含んだ継父、継母を含みます。（１つに○）

※この調査で「お子さん」とは、調査対象となるお子さんのことをいいます。以下同じ。

１　母親	３　祖父母
２　父親	４　その他（　　）

問２　あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

２０［　　］年［　　］月　生まれ

問３　あて名のお子さんとの居住の状況（同居・近居(１㎞以内)の別）についてうかがいます。あて名のお子さんから見た関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

１　父母同居	４　祖父母同居	７　祖父近居（1km 以内）
２　父同居（ひとり親家庭）	５　祖父同居	８　祖母近居（1km 以内）
３　母同居（ひとり親家庭）	６　祖母同居	９　その他（　　）

問４　お住まいの地区はどちらですか。（１つに○）

１　吉祥寺東町	６　中町	11　境
２　吉祥寺南町	７　西久保	12　境南町
３　御殿山	８　緑町	13　桜堤
４　吉祥寺本町	９　八幡町	
５　吉祥寺北町	10　関前	

問５　お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数（お子さんを含む。）を教えてください。単身赴任(ふにん)中の方は含めないでください。

ご家族の人数　［　　］人

問６　お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。（１つに○）

１	結婚している（事実婚を含む。）
２	離婚
３	死別
４	未婚
５	いない、わからない

問７　あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※「フルタイム」と「パート・アルバイト等」の意味について

・**フルタイム**＝1週5日程度・1日８時間程度の就労

・**パート・アルバイト等**＝フルタイム以外の就労

(1) 母親の就労状況　【父子家庭の場合、記入は不要です】（あてはまる番号１つに○をつけてください。

１　フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
２　フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
３　パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
４　パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
５　以前は就労していたが、現在は就労していない
６　これまで就労したことがない

【(1)で「１～４」（就労している）と回答した方にうかがいます】

(1)-1　１週あたりの「就労日数」、１日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっともよくあるパターンでお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

１週当たりの就労日数		日	１日あたりの就労時間		時間

(2) 父親の就労状況　【母子家庭の場合、記入は不要です】　あてはまる番号１つに○をつけてください。

１　フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
２　フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
３　パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
４　パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
５　以前は就労していたが、現在は就労していない
６　これまで就労したことがない

【(2)で「１～４」（就労している）と回答した方にうかがいます】

(2)-1　１週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっともよくあるパターンでお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

１週当たりの就労日数		日	１日あたりの就労時間		時間

【あて名のお子さんの母親についてうかがいます。】

問８　あて名のお子さんの出産以降に離職をしましたか。（１つに○）

１　離職した ２　継続的に働いていた（転職も含む） ３　出産前にすでに働いていなかった

【問８で「１離職した」と回答した方にうかがいます】

問８-1　仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１　保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた ２　職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた ３　家族の考え方（親族の理解が得られる）等就労する環境が整っていれば、継続して就労していた ４　子育てや家事に専念したいのでやめていた ５　その他（　　）

【自営業の方は問 10 へ】

問９　あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由の番号をすべてご記入ください。

母親（いずれか１つに○）	父親（いずれか１つに○）
１　働いていなかった ２　取得した（取得中である） ３　取得していない⇒理由を下に記載	１　働いていなかった ２　取得した（取得中である） ３　取得していない⇒理由を下に記載
取得していない理由（下の一覧から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	取得していない理由（下の一覧から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

１　職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
２　仕事が忙しかった
３　（産休後に）仕事に早く復帰したかった
４　仕事に戻るのが難しそうだった
５　昇給・昇格などが遅れそうだった
６　収入減となり、経済的に苦しくなる
７　保育所（園）などに預けることができた
８　配偶者が育児休業制度を利用した
９　配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10　子育てや家事に専念するため退職した
11　職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12　有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13　育児休業を取得できることを知らなかった
14　産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らず、退職した
15　その他（　　）

【問９で「2 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。該当しない方は、問 10 へ】

問９-1　育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

	それぞれ１つに○	
	(1)母親	(2)父親
１　育児休業取得後、職場に復帰した	１	１
２　現在も育児休業中である	２	２
３　育児休業中に離職した	３	３

【問９-1「1 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。該当しない方は、問 10 へ】

問９-2　育児休業から、実際にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があったら、希望としては、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。該当欄に数字でご記入ください。

(1)母親

実際の取得期間　＿＿＿＿歳＿＿＿＿カ月	希望　＿＿＿＿歳＿＿＿＿カ月

(2)父親

実際の取得期間　＿＿＿＿歳＿＿＿＿カ月	希望　＿＿＿＿歳＿＿＿＿カ月

【全員の方にうかがいます】

問10　仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

１　当日急に残業がはいってしまうことが多いこと
２　自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみてくれる人がいないこと
３　働くことについて配偶者・家族の理解が得られないこと
４　子育てしながら働くことについて職場の理解が得られないこと
５　子どものほかに身の回りの世話をしなければならない人がいること
６　子どもを預ける場所が見つからないこと
７　子どもと接する時間が少ないこと
８　日々の子どもの成長が見えづらいこと
９　子育てサークルなど、子どもを中心としたコミュニティ活動に参加しづらいこと
10　その他（　　）
11　仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことはひとつもない

あて名のお子さんの教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問11-1に示した事業が含まれます。

問11　あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（１つに○）

１　利用している　⇒　**問 11-1** へ	２　利用していない　⇒　**問 11-2** へ

【問 11 で「１利用している」と回答した方にうかがいます】

問11-1　あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用しているか/利用したいかの希望はありますか。年間を通じて「定期的に」利用している/利用したい事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○。また数字は一枠に一字。）

施設・サービスの種類	項目	現在の利用状況	今後の希望
１　幼稚園 （通常の就園時間の利用）	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間
２　幼稚園（預かり保育を利用） （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間
３　認可保育所 （国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間
４　認定こども園 （幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間
５　小規模保育施設 （国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね６～１９人のもの）	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間
６　家庭的保育（保育ママ） （保育者の家庭等で子どもを保育する事業）	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間
７　事業所内保育施設 （企業が主に従業員用に運営する施設）	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間
８　東京都の認証保育所 （認可保育所ではないが、東京都が認証した施設）	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間
９　企業主導型保育施設 （企業が従業員の働き方に応じた柔軟な保育サービスを提供するために設置する保育施設や、地域の企業が共同で設置・利用する保育施設 ）	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間
10　ベビーホテル	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間
11　その他の認可外の保育施設	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間
12　居宅訪問型保育 （ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間
13　ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間
14　定曜日保育等の定期利用保育事業	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間
15　その他 （　　）	１週あたり	日	日
	１日あたり	時間	時間

【問 11 で「２　利用していない」と回答した方にうかがいます】

問11-2 平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１　（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
２　子どもの祖父母や親戚の人がみている
３　近所の人や父母の友人・知人がみている
４　利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
５　利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
６　利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
７　利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
８　子どもが小さいうちは育児（子育て・家庭教育）に専念したい
　　（　　歳くらいになったら利用しようと考えている）
９　その他（　　）

【問 11 で「２　利用していない」と回答した方にうかがいます】

問12　あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

１　幼稚園
　（通常の就園時間の利用）
２　幼稚園（預かり保育を利用）
　（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
３　認可保育所
　（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
４　認定こども園
　（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
５　小規模保育施設
　（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね６～１９人のもの）
６　家庭的保育（保育ママ）
　（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
７　事業所内保育施設
　（企業が主に従業員用に運営する施設）
８　東京都の認証保育所
　（認可保育所ではないが、東京都が認証した施設）
９　企業主導型保育施設
　（企業が従業員の働き方に応じた柔軟な保育サービスを提供するために設置する保育施設や、地域の企業が共同で設置・利用する保育施設）
10　ベビーホテル
11　その他の認可外の保育施設
12　居宅訪問型保育
　（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
13　ファミリー・サポート・センター
　（地域住民が子どもを預かる事業）
14　定曜日保育等の定期利用保育事業
15　その他（　　）
16　利用したい事業はない

【全員の方にうかがいます】

問13　あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（１つに○、一時的な利用は除きます）。
希望がある場合は、利用したい時間帯と利用したい理由をご記入ください。(例)時間帯は９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1)土曜日	１　利用する必要はない ２　ほぼ毎週利用したい ３　月に１～２回は利用したい	→ 利用したい時間帯 （　　）時から（　　）時まで 利用したい理由 （　　）
(2)日曜・祝日	１　利用する必要はない ２　ほぼ毎週利用したい ３　月に１～２回は利用したい	→ 利用したい時間帯 （　　）時から（　　）時まで 利用したい理由 （　　）

【「幼稚園」を利用されている方にうかがいます】

問14　あて名のお子さんの夏休み・冬休みなど長期休業期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。（１つに○）希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

１　利用する必要はない	
２　休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	利用したい時間帯
３　休みの期間中、週に数日利用したい	□□時から□□時まで

【平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 11 で１に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 16 にお進みください】

問15　あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も枠内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。）

１	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間	□□日
２	父親が休んだ	年間	□□日
３	母親が休んだ	年間	□□日
４	（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	年間	□□日
５	病児・病後児の保育を利用した	年間	□□日
６	ベビーシッターを利用した	年間	□□日
７	ファミリー・サポート・センターを利用した	年間	□□日
８	仕方なく子どもだけで留守番させた	年間	□□日
９	その他（　　）	年間	□□日

【問 15 で「２」「３」のいずれかに回答した方にうかがいます】

問15-1　その際、「できれば病児・病後児を預けられる施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号１つに○をつけ、日数についても枠内に数字でご記入ください。
なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です。

１　できれば病児・病後児を預けられる施設等を利用したい⇒ □□ 日
２　利用したいとは思わない

【全員の方にうかがいます】

問16　あて名のお子さんについて、保護者の通院、不定期の就労、その他私用のために不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、１年間の利用日数（おおよそ）も枠内に数字でご記入ください。

１　一時預かり （私用など理由を問わずに一時的に子どもを保育する事業）	年間		日
２　幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	年間		日
３　ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	年間		日
４　ベビーシッター	年間		日
５　その他（　　）	年間		日
６　利用していない			

問17　あて名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について、あてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要と思われる日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を枠内に数字でご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。）

１　利用したい	（合計）		日
	ア　私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事等）、リフレッシュ目的		日
	イ　冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院　等		日
	ウ　不定期の就労		日
	エ　その他（　　）		日
２　利用する必要はない・利用したいと思わない			

問18　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も枠内に数字でご記入ください。

１　あった			
	ア　（同居者を含む）親族・知人にみてもらった		泊
	イ　短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）		泊
	ウ　「イ」以外の保育事業（ベビーシッター等）を利用した		泊
	エ　仕方なく子どもを同行させた		泊
	オ　仕方なく子どもだけで留守番をさせた		泊
	カ　その他（　　）		泊
２　なかった			

来年4月に小学校へ入学する予定のお子さんを持つ保護者の方にうかがいます。

【来年４月に小学校へ入学する予定のお子さんがいない方は問 23 へ】

問19　あて名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、学童クラブの場合は、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください。

「学童クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。学童保育とも呼ばれ、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「地域子ども館あそべえ」…小学校施設を利用した、放課後・土曜日、長期休業中等の子どもたちの居場所づくり、異年齢交流を目的とした事業です。保護者の就労状況に関わらず、市内のすべての小学生が利用できます。

１　自宅	週 [　] 日ぐらい
２　祖父母宅や友人・知人宅	週 [　] 日ぐらい
３　習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 [　] 日ぐらい
４　地域子ども館あそべえ	週 [　] 日ぐらい
５　学童クラブ	週 [　] 日ぐらい 下校時から [　] 時まで
６　ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	週 [　] 日ぐらい
７　コミュニティセンター	週 [　] 日ぐらい
８　桜堤児童館	週 [　] 日ぐらい
９　その他	週 [　] 日ぐらい

問20　あて名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、学童クラブの場合は、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、必ず（例）１８時　のように２４時間制でご記入ください。

１　自宅	週 [　] 日ぐらい
２　祖父母宅や友人・知人宅	週 [　] 日ぐらい
３　習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 [　] 日ぐらい
４　地域子ども館あそべえ	週 [　] 日ぐらい
５　学童クラブ	週 [　] 日ぐらい 下校時から [　] 時まで
６　ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	週 [　] 日ぐらい
７　コミュニティセンター	週 [　] 日ぐらい
８　桜堤児童館	週 [　] 日ぐらい
９　その他	週 [　] 日ぐらい

【問 19 または問 20 で「５学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。】

問21　あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけ、利用したい時間帯と利用したい理由をご記入ください。（例）時間帯は９時～18時　のように24時間制でご記入ください。

(1)土曜日	１　低学年（１～３年生）の間は利用したい ２　高学年（４～６年生）になっても利用したい ３　利用する必要はない	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで 理由 （　　）
(2)日曜・祝日	１　低学年（１～３年生）の間は利用したい ２　高学年（４～６年生）になっても利用したい ３　利用する必要はない	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで 理由 （　　）

問22　あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の学童クラブ利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまる番号１つに○をつけ、利用したい時間帯と利用したい理由をご記入ください。（例）９時～18時のように24時間制でご記入ください。

１　低学年（１～３年生）の間は利用したい ２　高学年（４～６年生）になっても利用したい ３　利用する必要はない	利用したい時間帯（　　）時から　（　　）時まで 理由（　　）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問23　あなたにとって理想的な子どもの人数とは何人ですか。また、実際には何人育てられると思いますか。（○は「①理想的な子どもの人数」「②実際に育てられると思う子どもの人数」それぞれ１つずつ）

①理想的な子どもの人数
１　１人 ２　２人 ３　３人 ４　４人 ５　その他（　　人）

②実際に育てられると思う子どもの人数
１　１人 ２　２人 ３　３人 ４　４人 ５　その他（　　人）

【問 23 で、「②実際に育てられると思う子どもの人数」が「①理想的な子どもの人数」より少ない方にうかがいます】

問23-1　②の育てられると思う子どもの数が、①の理想とする子どもの数より少ないのはどうしてですか。次のうち、あてはまる理由の番号すべてに○をつけてください。

１　子育てや教育にお金がかかりすぎるから	８　健康上の理由から
２　家が狭いから	９　欲しいけれどもできないから
３　自分の仕事（勤めや家業）に差しつかえるから	10　配偶者の家事・育児への協力が得られないから
４　子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	11　配偶者が望まないから
５　自分や夫婦の生活を大切にしたいから	12　保育園に預けられるか不安だから
６　高年齢で産むのはいやだから	13　その他（　　）
７　これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	

【全員の方にうかがいます】

問24　日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

1　日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2　緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3　日常的に子どもを預かってもらえる友人・知人がいる
4　緊急時もしくは用事の際には子どもを預かってもらえる友人・知人がいる
5　いずれもいない

問25　今現在、あて名のお子さんについて、子育てに関して悩んでいることや気になることはありますか。それはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

1　子どもとの時間が十分にとれないこと
2　子どものために必要なお金をかけてあげられないこと
3　子どもの育ち（健康・病気・発達・発育）に関すること
4　子どものしつけ、接し方に関すること
5　話し相手や相談相手がいないこと
6　仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
7　子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
8　配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
9　配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
10　子育てサークルや保育園、幼稚園での保護者同士の人間関係に関すること
11　子育てによる疲れ（身体面・精神面）が大きいこと
12　その他（　　）
13　悩んでいることはない

問26　あて名のお子さんの子育て・家庭教育をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（１つに○）

1　相談できる人も、相談できる場所もある
2　相談できる人はいないが、相談できる場所はある
3　相談できる場所はないが、相談できる人はいる
4　相談できる人も、相談できる場所もない

【問 26 で「1、2、3のいずれか」に○をつけた方にうかがいます】

問26-1お子さんの子育て・家庭教育に関する相談先は誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

1　配偶者・パートナー	9　教育支援センター
2　その他の親族（両親、兄弟など）	10　地域療育相談室ハビットのスタッフ
3　地域の知人・友人	11　コミセン親子ひろばのスタッフ
4　職場の人	12　民生・児童委員、主任児童委員
5　地域の子育て支援施設等のスタッフ※	13　かかりつけ医
6　保育園・幼稚園の先生、職員	14　インターネット（掲示板・SNS・ブログ等）
7　保健センター	15　その他（　　）
8　子ども家庭支援センター	

※地域の子育て支援施設等とは、０１２３施設、いこっと、すくすく泉、桜堤児童館、おもちゃのぐるりん、みずきっこ、みんなのとことこなどです。

【全員の方にうかがいます】

問27　日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサポートで重要だと思うものはどのようなものですか。（あてはまるもの３つまで○）

１　子どもを遊ばせる場や機会の提供	７　子育てについての講座
２　親のリフレッシュの場や機会の提供	８　子どもの発達や幼児教育のプログラムの提供
３　子育て中の親同士の仲間づくり	
４　親の不安や悩みの相談	９　行政による子育て情報の提供
５　子どもの病気や障害についての相談	10　その他（　　）
６　父親向けの育児相談など	11　特にない

問28　（一番最初の）子どもが生まれる前に赤ちゃんのお世話をした経験がありますか。（１つに○）

１　はい	２　いいえ

問29-1　妊娠中に困ったこと、こんなサービスがあったらいいな、こんなことがしたかったなと思うことはありましたか。（あてはまるものすべてに○）

１　市の子育て支援サービスの案内	４　家事・育児サービス
２　両親学級	５　妊娠期から子育て期までを支援する催し
３　妊婦相談	６　その他（　　）

※両親学級とは、初めてあかちゃんを迎える妊婦の方とパートナーの方のための講座です。妊娠中から産後の過ごし方などについて学びます。

問29-2　産後（退院後すぐに）困ったこと、こんなサービスがあったらいいな、こんなことがしたかったなと思うことはありましたか。（あてはまるものすべてに○）

１　市の子育て支援サービスの案内	５　家事・育児サービス
２　母乳相談	６　妊娠期から子育て期までを支援する催し
３　産後ケア	７　その他（　　）
４　子育て相談	

※産後ケアとは、サポートが必要なお母さんが、助産師のケアや授乳のアドバイスなど受けられ休息をとることができるサービスです。

問29-3　子育て中（今後も含めて）困ったこと、こんなサービスがあったらいいな、こんなことがしたかったなと思うことはありましたか。（あてはまるものすべてに○）

１　市の子育て支援サービスの案内	４　妊娠期から子育て期までを支援する催し
２　子育て相談	５　地域子の子育て支援施設の紹介
３　家事・育児サービス	６　その他（　　）

問30　妊娠中、どのタイミングで（病院以外で）ちょっとした気持ちや不安、分からないことなどを相談できると良かったと思いましたか。（あてはまるものすべてに○）

１　妊娠がわかったとき	４　いつでも
２　母子健康手帳発行時	５　その他（　　）
３　産休に入る頃	６　妊娠中、相談できるとよかったと思ったことはない

問31　出産後、どのタイミングで（病院以外で）ちょっとした気持ちや不安、分からないことなどを相談できると良かったと思いましたか。（あてはまるものすべてに○）

１　出産退院後	５　３歳
２　１か月健診後	６　いつでも
３　３～４か月頃	７　その他（　　）
４　１歳	８　出産後、相談できるとよかったと思ったことはない

子育て支援サービスや地域子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問32　武蔵野市で行なっている下記のサービスのうち、知っているもの・利用したことがあるものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

サービスの種類	ア　知っているもの	イ　利用したことがあるもの
母親（父親）学級、両親学級、育児学級	1	1
保健センターの相談事業	2	2
子ども家庭支援センターの相談事業	3	3
０１２３施設等の子育て広場※の相談事業	4	4
地域療育相談室ハビットの相談事業	5	5
子育て支援情報誌「すくすく」	6	6
子育て応援サイト「むさしのすくすくナビ」	7	7
ひとつも知らない・ひとつも利用したことがない	8	8

※「子育てひろば」とは、子ども同士・保護者同士が出会い、つながりを持ち、安心して過ごせる親子のための居場所です。

【問 32 で「8」（ひとつも利用したことがない）に○をつけた方にうかがいます】

問32-1　今までに利用したことがない理由をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

1　知らなかった
2　申し込み方法が難しかった
3　必要がなかった
4　施設が遠かった
5　その他（　　）

問33　武蔵野市で行なっている下記のサービスのうち、今後、利用したいと思うものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1　母親（父親）学級、両親学級、育児学級
2　保健センターの相談事業
3　子ども家庭支援センターの相談事業
4　０１２３施設等の子育て広場の相談事業
5　地域療育相談室ハビットの相談事業
6　子育て支援情報誌「すくすく」
7　子育て応援サイト「むさしのすくすくナビ」
8　ひとつも利用したいと思わない

【問 33 で「8」（ひとつも利用したいと思わない）に○をつけた方にうかがいます】

問33-1今後、利用したいと思わない理由をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

1　必要がないから
2　施設の場所や申込方法がわからないから
3　施設の場所が遠いから
4　その他（　　）

【全員の方にうかがいます】

問34 あて名のお子さんは、現在、下記の子育て家庭を支援するための施設を利用していますか。あてはまる施設の番号すべてに○をつけてください。

1　０１２３吉祥寺
2　０１２３はらっぱ
3　桜堤児童館
4　境こども園 いこっと
5　すくすく泉
6　おもちゃのぐるりん
7　みずきっこ
8　みんなのとことこ
9　幼稚園・保育園（あかちゃんのひろば、プレママのひろば、園庭開放等）
10　コミセン（コミセン親子ひろば等）
11　テンミリオンハウス花時計・その他
12　現在、ひとつも利用していない

※「あかちゃんのひろば」とは、０歳児期のあかちゃんを子育てしている方が集えるひろばです。利用者同士がおしゃべりを楽しみ、友達をつくったり、保育士に子育ての悩みを相談することができます。

※「プレママのひろば」とは、妊娠５ヶ月以上の妊婦の方を対象に出産後の育児がイメージできるように実　際のあかちゃんを見てもらいながら、保育園職員と妊婦さん同士で交流する場です。

※「コミセン親子ひろば」とは、親子で自由に楽しく過ごせる遊び場です。乳幼児のおもちゃや遊具もあり　ます。親同士でおしゃべりや情報交換したり、時には日ごろのちょっとした疑問や困っていることなど、　市の子育て支援スタッフや先輩ママ・パパに聞くこともできます。

問34-1現在利用していないが過去に利用したことがある施設、また、今までに利用したことがない施設の番号すべてに○をつけてください。

	現在利用していないが、過去に利用したことがある施設	今まで一度も利用したことがない施設
1　0123吉祥寺	1	1
2　0123はらっぱ	2	2
3　桜堤児童館	3	3
4　境こども園 いこっと	4	4
5　すくすく泉	5	5
6　おもちゃのぐるりん	6	6
7　みずきっこ	7	7
8　みんなのとことこ	8	8
9　幼稚園・保育園（あかちゃんのひろば、プレママのひろば、園庭開放等）	9	9
10　コミセン（コミセン親子ひろば等）	10	10
11　テンミリオンハウス花時計・その他	11	11
12　現在、ひとつも利用していない	12	12

問35　「子育てひろば」は、ご自宅からどの範囲にあると良いと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

※ここでいう「子育てひろば」とは、0123施設をはじめとする地域子育て支援拠点施設やコミセン親子ひろば等のような、乳幼児やその保護者同士で交流したり、子育てに関するちょっとした相談や地域の子育てに関する情報交換ができる場のことです。

1　歩いていける距離（(1）抱っこなどで　　分程度、(2）ベビーカーで　　分程度　）
2　自転車でいける距離（(3）自転車で　　分程度）
3　コミセンなどの地区単位
4　その他（具体的に　　）

問35-1　「子育てひろば」に希望する開設形態はどのようなものですか。（１つに○）

1　ほぼ毎日（週に5～6日）
2　週に2～3回
3　週に1回
4　その他（具体的に　　）

問35-2　「子育てひろば」に対するご意見をご自由にお書きください。

問36　普段利用している公園はどこですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

１　（公園名　　）
２　利用していない

問 36-1　公園で子どもと一緒にできる（したい）活動はありますか。

問36-2　公園に求めることはどんなことですか。

問37　市の子育て環境や支援への満足度について、あてはまる番号１つに○をつけてください。

満足度が高い				満足度が低い
１	２	３	４	５

問38　武蔵野市では、令和５年４月に「武蔵野市子どもの権利条例」が施行されました。あなたは、「子どもの権利」を知っていますか？

１　内容を知っている　　２　名前だけ知っている　　３　まったく知らない

※「子どもの権利」とは …子どもが安心して生活できること、自信をもって生きていくこと、自由に意見を言ったり活動したりすることができることなど、自分らしく元気に生きるうえで大切なもののことです。

最後に、子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

小学生世代の保護者

子ども・子育て支援 についてお声を聞かせてください

―武蔵野市子ども・子育て支援に関するアンケート調査―

【アンケート調査へご協力をお願いします】

この調査は、市内の小学生世代のお子さんのいる世帯を対象にした、子ども・子育てに関する意識やニーズ等を把握するための、非常に大切な調査です。

調査結果は、武蔵野市の子ども・子育てに関する計画である「第六次子どもプラン武蔵野」の検討に生かします。

お忙しいところ分量が多い調査で大変恐縮ですが、ご協力よろしくお願いします。

回答方法は、以下の２つのうちどちらか

■郵送で回答する場合

①この調査票に回答内容をご記入ください。

②同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください。切手は不要です。

1 月22 日（月）必着

■インターネットで回答する場合

スマートフォン等で二次元コードを読みとるか、URL から回答フォームにアクセスし、ご回答ください。

回答期限 1 月 26 日（金）

https://www16.webcas.net/form/pub/kodomo/hogo02

【問い合わせ先】
武蔵野市　子ども子育て支援課　子ども政策係
電話　0422-60-1851

【回答にあたって】

1．アンケートは、封筒のあて名のお子さんの保護者の方が回答してください。
（無記名ですので、氏名・住所を記入する必要はありません）

2．お子さんについての問いは、封筒のあて名のお子さんについて回答してください。

3．特にことわりのある場合は、同居のご家族について回答してください。答えたくない問いはとばして、答えられる問いにだけ回答してください。

4．保護者の方がご自身で直接回答することが難しい場合は、家族や介護をする方などが、保護者の方の意向を尊重してご回答ください。

5．この調査は、市内の小学生世代のお子さんのいる世帯を対象に、子ども・子育てに関する意識やニーズ等を把握するもので、無作為に選ばせていただきました。

6．調査結果につきましては統計的に処理し、回答内容で個人が特定されるようなことは一切ありませんので、率直なご意見、お考えをお聞かせください。

あて名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます

問１　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。父や母は、事実婚を含んだ継父、継母を含みます。（１つに○）※この調査で「お子さん」とは、調査対象となるお子さんのことをいいます。以下同じ。

１　母親	３　祖父母
２　父親	４　その他（　　）

問２　あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

２０［　　］年［　　］月　生まれ

問３　あて名のお子さんとの居住の状況（同居・近居(１㎞以内)の別）についてうかがいます。あて名のお子さんから見た関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

１　父母同居	４　祖父母同居	７　祖父近居（1km 以内）
２　父同居（ひとり親家庭）	５　祖父同居	８　祖母近居（1km 以内）
３　母同居（ひとり親家庭）	６　祖母同居	９　その他（　　）

問４　お住まいの地区はどちらですか。（１つに○）

１　吉祥寺東町	６　中町	11　境
２　吉祥寺南町	７　西久保	12　境南町
３　御殿山	８　緑町	13　桜堤
４　吉祥寺本町	９　八幡町	
５　吉祥寺北町	10　関前	

問５　お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数（お子さんを含む。）を教えてください。単身赴任(ふにん)中の方は含めないでください。

ご家族の人数　［　　］人

問６　お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。（１つに○）

１　結婚している（事実婚を含む。）　→問７へ
２　離婚
３　死別　→問７へ
４　未婚
５　いない、わからない

【問６で「２」を選んだ方のみ、お答えください。】

▶問6-1　離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（１つに○）

１　取り決めをしており、養育費を受け取っている
２　特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
３　養育費の取り決めをしているが、受け取っていない（金額を下げられた、遅れている等を含む）
４　養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

問７　あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※「フルタイム」と「パート・アルバイト等」の意味について

・**フルタイム**＝1週5日程度・1日８時間程度の就労

・**パート・アルバイト等**＝フルタイム以外の就労

(1) 母親の就労状況　【父子家庭の場合、記入は不要です】　あてはまる番号１つに○をつけてください。

１　フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
２　フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
３　パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
４　パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
５　以前は就労していたが、現在は就労していない
６　これまで就労したことがない

【(1)で「１～４」（就労している）と回答した方にうかがいます。】

(1)-1　１週あたりの「就労日数」、１日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっともよくあるパターンでお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

１週当たりの就労日数		日	１日あたりの就労時間		時間

(2) 父親の就労状況　【母子家庭の場合、記入は不要です】　あてはまる番号１つに○をつけてください。

１　フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
２　フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
３　パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
４　パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
５　以前は就労していたが、現在は就労していない
６　これまで就労したことがない

【(2)で「１～４」（就労している）と回答した方にうかがいます。】

(2)-1　１週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっともよくあるパターンでお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

１週当たりの就労日数		日	１日あたりの就労時間		時間

あて名のお子さんの土曜・日曜の定期的な教育・保育事業の利用希望、放課後の過ごし方などについてうかがいます

問８　この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、学童クラブなどの事業が利用できなかったりしたことはありますか。（１つに○）

１　あった　⇒問8-1 へ	２　なかった　⇒問９へ

問8-1　あて名のお子さんが病気やけがで学校を休んだり、普段利用している学童クラブを利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。）

１	父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間	日
２	父親が休んだ	年間	日
３	母親が休んだ	年間	日
４	（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	年間	日
５	病児・病後児の保育を利用した	年間	日
６	ベビーシッターを利用した	年間	日
７	ファミリー・サポート・センターを利用した	年間	日
８	仕方なく子どもだけで留守番させた	年間	日
９	その他（　　）	年間	日

【問 8-1 で「２」「３」のいずれかに回答した方にうかがいます。】

問8-2　その際、「できれば病児・病後児を預けられる施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号１つに○をつけ、日数についても枠内に数字でご記入ください。
なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です。

１　できれば病児・病後児を預けられる施設等を利用したい⇒	日
２　利用したいとは思わない	

【全員の方にうかがいます】

問９　あて名のお子さんについて、保護者の通院、不定期の就労、その他私用のために不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、１年間の利用日数（おおよそ）も枠内に数字でご記入ください。

１	一時預かり （私用など理由を問わずに一時的に子どもを保育する事業）	年間	日
２	ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	年間	日
３	ベビーシッター	年間	日
４	その他（　　）	年間	日
５	利用していない		

問10　あて名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について、あてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要と思われる日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を枠内に数字でご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。）

1　利用したい　（合計）		日
ア　私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事等）、リフレッシュ目的		日
イ　冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院　等		日
ウ　不定期の就労		日
エ　その他（　　）		日
2　利用する必要はない・利用したいと思わない		

問11　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も枠内に数字でご記入ください。

1　あった		
ア　（同居者を含む）親族・知人にみてもらった		泊
イ　短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）		泊
ウ　「イ」以外の保育事業（ベビーシッター等）を利用した		泊
エ　仕方なく子どもを同行させた		泊
オ　仕方なく子どもだけで留守番をさせた		泊
カ　その他（　　）		泊
2　なかった		

【あて名のお子さんが小学校低学年（１～３年生）の方にうかがいます。】

⇒ あて名のお子さんが小学校高学年（４～６年生）の方は 問 14 へ

問12　あて名のお子さんは、現在、学童クラブを利用していますか。（１つに○）

「学童クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。学童保育とも呼ばれ、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1　利用している（週　日ぐらい）　⇒問 12-1 へ	2　利用していない　⇒問 12-2 へ

問12-1 問12で学童クラブを「１利用している」と答えた理由をお聞かせください。（１つに○）

お子さんの保護者が
1　現在就労している
2　求職活動中で近々就労予定である／休職中である
3　家族・親族などの介護をしなくてはならない
4　病気や障害がある
5　学生である
6　その他（　　）

問12-2 問12で学童クラブを「２利用していない」と答えた理由をお聞かせください。（１つに○）

お子さんの保護者が
１　現在就労していないから
２　就労しているが、学童クラブを知らなかったから
３　就労しているが、近くに学童クラブがないから
４　就労しているが、学童クラブに空きがないから
５　学童クラブを利用できる年齢を超えているから
６　就労しているが、学童クラブの開所時間が短いから
７　就労しているが、利用料がかかるから
８　就労しているが、子どもが習い事をしているから
９　就労しているが、短い時間なら子どもだけで大丈夫だと思うから
10　就労しているが、他の施設に預けているから
11　その他（　　）

問13　あて名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、学童クラブの場合は、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください。

１　自宅	週［　　］日ぐらい
２　祖父母宅や友人・知人宅	週［　　］日ぐらい
３　習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週［　　］日ぐらい
４　地域子ども館あそべえ	週［　　］日ぐらい
５　学童クラブ	週［　　］日ぐらい 下校時から［　　］時まで
６　ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	週［　　］日ぐらい
７　コミュニティセンター	週［　　］日ぐらい
８　桜堤児童館	週［　　］日ぐらい
９　その他	週［　　］日ぐらい

【全員の方にうかがいます】

問14　あて名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、学童クラブの場合は、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、必ず（例）１８時　のように２４時間制でご記入ください。

１　自宅	週［　　］日ぐらい
２　祖父母宅や友人・知人宅	週［　　］日ぐらい
３　習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週［　　］日ぐらい
４　地域子ども館あそべえ	週［　　］日ぐらい
５　学童クラブ	週［　　］日ぐらい 下校時から［　　］時まで
６　ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	週［　　］日ぐらい
７　コミュニティセンター	週［　　］日ぐらい
８　桜堤児童館	週［　　］日ぐらい
９　その他	週［　　］日ぐらい

【問 13 または問 14 で「５学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます】

問15　あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけ、利用したい時間帯と利用したい理由をご記入ください。（例）時間帯は９時～18時　のように24時間制でご記入ください。

(1)土曜日	１　低学年（１～３年生）の間は利用したい ２　高学年（４～６年生）になっても利用したい ３　利用する必要はない	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで 理由 （　　）
(2)日曜・祝日	１　低学年（１～３年生）の間は利用したい ２　高学年（４～６年生）になっても利用したい ３　利用する必要はない	利用したい時間帯 （　　）時から　（　　）時まで 理由 （　　）

問16　あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の学童クラブ利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまる番号１つに○をつけ、利用したい時間帯と利用したい理由をご記入ください。（例）９時～18時のように24時間制でご記入ください。

１　低学年（１～３年生）の間は利用したい ２　高学年（４～６年生）になっても利用したい ３　利用する必要はない	利用したい時間帯（　　）時から　（　　）時まで 理由（　　）

問17　『地域子ども館あそべえ』についてうかがいます。あて名のお子さんは『地域子ども館あそべえ』を利用したことがありますか。（１つに○）

１　利用している　　週（　　）日ぐらい
２　以前は利用していたが、現在は利用していない
３　いままで一度も利用していない

【問 17 で『地域子ども館あそべえ』を「１利用している」と回答した方にうかがいます】

問17-1　『地域子ども館あそべえ』を利用する理由をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

１　校庭で遊べる	４　ゲームで遊ぶことができる
２　工作ができる	５　スタッフの見守りで安全に過ごせる
３　本や漫画を読むことができる	６　その他（　　）

【問 17 で『地域子ども館あそべえ』を「２ 以前は利用していたが、現在は利用していない」、「３ いままで一度も利用していない」と回答した方にうかがいます】

問17-2　『地域子ども館あそべえ』を利用しない理由をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

１　塾や習い事で忙しい	４　やってみたい遊びや参加してみたいイベントがない
２　自宅や友人宅で過ごしている	５　安心して過ごすことができない
３　一緒に遊ぶ友達がいない	６　その他（　　）

【全員の方にうかがいます】

問18　『地域子ども館あそべえ』で実施して欲しいプログラムをお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

１　自然観察	４　工作
２　スポーツ	５　学習
３　音楽	６　その他（　　）

問19　普段利用している公園はどこですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

１　（公園名　　）
２　利用していない

問19-1　公園で子どもと一緒にできる（したい）活動はありますか。

問19-2　公園に求めることはどんなことですか。

問20　あなたにとって理想的な子どもの人数とは何人ですか。また、実際には何人育てられると思いますか。（○は「①理想的な子どもの人数」「②実際に育てられると思う子どもの人数」それぞれ１つずつ）

①理想的な子どもの人数
１　１人
２　２人
３　３人
４　４人
５　その他（　　人）

②実際に育てられると思う子どもの人数
１　１人
２　２人
３　３人
４　４人
５　その他（　　人）

【問 20 で、「②実際に育てられると思う子どもの人数」が「①理想的な子どもの人数」より少ない方にうかがいます。】

問20-1　②の育てられると思う子どもの数が、①の理想とする子どもの数より少ないのはどうしてですか。（あてはまるものすべてに○）

１　子育てや教育にお金がかかりすぎるから	８　健康上の理由から
２　家が狭いから	９　欲しいけれどもできないから
３　自分の仕事（勤めや家業）に差しつかえるから	10　配偶者の家事・育児への協力が得られないから
４　子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	11　配偶者が望まないから
５　自分や夫婦の生活を大切にしたいから	12　保育園に預けられるか不安だから
６　高年齢で産むのはいやだから	13　その他（　　）
７　これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	

【全員にうかがいます】

問21　日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

1　日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2　緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3　日常的に子どもを預かってもらえる友人・知人がいる
4　緊急時もしくは用事の際には子どもを預かってもらえる友人・知人がいる
5　いずれもいない

問22　今現在、あて名のお子さんについて、子育てに関して悩んでいることや気になることはありますか。それはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

1　子どもとの時間が十分にとれないこと
2　子どものために必要なお金をかけてあげられないこと
3　子どもの育ち（健康・病気・発達・発育）に関すること
4　子どものしつけ、接し方に関すること
5　話し相手や相談相手がいないこと
6　仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
7　子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
8　配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
9　配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
10　子育てサークルや保育園、幼稚園での保護者同士の人間関係に関すること
11　子育てによる疲れ（身体面・精神面）が大きいこと
12　その他（　　）
13　悩んでいることはない

問23　あて名のお子さんの子育て・家庭教育をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（１つに○）

1　相談できる人も、相談できる場所もある
2　相談できる人はいないが、相談できる場所はある
3　相談できる場所はないが、相談できる人はいる
4　相談できる人も、相談できる場所もない

【問 23 で「1、2、3のいずれか」に○をつけた方にうかがいます。】

問23-1お子さんの子育て・家庭教育に関する相談先は誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

1　配偶者・パートナー	9　教育支援センター
2　その他の親族（両親、兄弟など）	10　地域療育相談室ハビットのスタッフ
3　地域の知人・友人	11　コミセン親子ひろばのスタッフ
4　職場の人	12　民生・児童委員、主任児童委員
5　地域の子育て支援施設等のスタッフ※	13　かかりつけ医
6　保育園・幼稚園の先生、職員	14　インターネット（掲示板・SNS・ブログ等）
7　保健センター	15　その他（　　）
8　子ども家庭支援センター	

※地域の子育て支援施設等とは、０１２３施設、いこっと、すくすく泉、桜堤児童館、おもちゃのぐるりん、みずきっこ、みんなのとことこなどです。

【問 23 で「4　相談できる人も、相談できる場所もない」に○をつけた方にうかがいます】

問23-2　子育て・家庭教育をする上で、周囲（身近な人や市・施設の担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

【全員の方にうかがいます】

問24　武蔵野市では、令和５年４月に「武蔵野市子どもの権利条例」が施行されました。あなたは、「子どもの権利」を知っていますか？（１つに○）

１　内容を知っている　　２　名前だけ知っている　　３　まったく知らない

※「子どもの権利」とは …子どもが安心して生活できること、自信をもって生きていくこと、自由に意見を言ったり活動したりすることができることなど、自分らしく元気に生きるうえで大切なもののことです。

問25　市の就学援助費制度（就学に係る経済的な支援制度）について知っていますか？（１つに○）

１　知っている	２　知っていない

※ 経済的理由により就学困難と認められ、市内在住かつ市立・国公立小中学校に在籍する児童生徒の保護者のかたに、学用品費、給食費などの一部を援助する制度です（所得制限あり）。毎年４月には、全ての児童・生徒のご家庭に対し、制度のご案内と申請書を配布しています。

【全員の方にうかがいます】

問26　仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１　当日急に残業がはいってしまうことが多いこと
２　自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみてくれる人がいないこと
３　働くことについて配偶者・家族の理解が得られないこと
４　子育てしながら働くことについて職場の理解が得られないこと
５　子どものほかに身の回りの世話をしなければならない人がいること
６　子どもを預ける場所が見つからないこと
７　子どもと接する時間が少ないこと
８　日々の子どもの成長が見えづらいこと
９　子育てサークルなど、子どもを中心としたコミュニティ活動に参加しづらいこと
10　その他（　　）
11　仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことはひとつもない

問27　市の子育て環境や支援への満足度について、あてはまる番号１つに○をつけてください。

満足度が高い				満足度が低い
１	２	３	４	５

暮らしの状況などについてうかがいます。

問28　2023年（令和5年1月から令和5年12月）の世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。（１つに○）

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

・勤め先収入（定期的な収入、賞与等）
・事業収入（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）
・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）
・農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）
・資産収入（預貯金利子、家賃収入等）
・その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）

1　50 万円未満	9　400～450 万円未満	17 1500～2000 万円未満
2　50～100 万円未満	10 450～500 万円未満	18 2000 万円以上
3　100～150 万円未満	11 500～600 万円未満	
4　150～200 万円未満	12 600～700 万円未満	
5　200～250 万円未満	13 700～800 万円未満	
6　250～300 万円未満	14 800～900 万円未満	
7　300～350 万円未満	15 900～1000 万円未満	
8　350～400 万円未満	16 1000～1500 万円未満	

問29　あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。（１つに○）

1　よくあった	3　まれにあった
2　ときどきあった	4　まったくなかった

問30　あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。（１つに○）

1　よくあった	3　まれにあった
2　ときどきあった	4　まったくなかった

問31　あなたの世帯では、過去１年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。（あてはまるものすべてに○）

1　電気料金
2　ガス料金
3　水道料金
4　インターネットなどの通信料金
5　あてはまるものはない

問32　次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯に**ないもの**はどれですか。（あてはまるもの**すべてに**○。あてはまらない場合は15に○）

1　子どもの年齢に合った本	8　月に一度の友だちや家族との外食
2　子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	9　電話（固定電話・携帯電話を含む）
3　子どもが自宅で学習をすることができる場所	10　インターネットにつながるパソコン
4　テレビ	11　冷蔵庫
5　暖房器具	12　洗濯機
6　自家用車	13　急な出費のための貯金（５万円以上）
7　エアコン	14　その他（　　）
	15　あてはまるものはない

問33　過去１年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。（それぞれ１つに○）

	ある	ない		
		金銭的な理由で	時間の制約で	その他の理由で
ア　海水浴に行く	1	2	3	4
イ　博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
ウ　キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
エ　スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
オ　遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4

問34　あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。ア～コについて、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ１つに○）

	している	していない	経済的にできない
ア　毎月お小遣いを渡す	1	2	3
イ　毎年新しい（お古でない）洋服・靴を買う	1	2	3
ウ　習い事(音楽、スポーツ、英語等)に通わせる	1	2	3
エ　学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう、オンライン含む）	1	2	3
オ　お誕生日のお祝いをする	1	2	3
カ　１年に１回くらい家族旅行に行く	1	2	3
キ　クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
ク　修学旅行などお金がかかる学校の活動	1	2	3
ケ　パソコンかタブレットを与える	1	2	3
コ　スマートフォンを与える	1	2	3

最後に、子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

中学生世代の保護者

子ども・子育て支援 についてお声を聞かせてください

―武蔵野市子ども・子育て支援に関するアンケート調査―

【アンケート調査へご協力をお願いします】

この調査は、市内の中学生世代のお子さんのいる世帯を対象にした、子ども・子育てに関する意識やニーズ等を把握するための、**非常に大切な調査**です。

調査結果は、武蔵野市の子ども・子育てに関する計画である「第六次子どもプラン武蔵野」の検討に生かします。

お忙しいところ分量が多い調査で大変恐縮ですが、ご協力よろしくお願いします。

回答方法は、以下の２つのうちどちらか

■郵送で回答する場合

①この調査票に回答内容をご記入ください。

②同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください。切手は不要です。

1月22日（月）必着

■インターネットで回答する場合

スマートフォン等で二次元コードを読みとるか、URLから回答フォームにアクセスし、ご回答ください。

回答期限　1月26日（金）

https://www16.webcas.net/form/pub/kodomo/hogo03

【問い合わせ先】
武蔵野市　子ども子育て支援課　子ども政策係
電話　0422-60-1851

【回答にあたって】

1．アンケートは、封筒のあて名のお子さんの保護者の方が回答してください。
（無記名ですので、氏名・住所を記入する必要はありません）

2．お子さんについての問いは、封筒のあて名のお子さんについて回答してください。

3．特にことわりのある場合は、同居のご家族について回答してください。答えたくない問いはとばして、答えられる問いにだけ回答してください。

4．保護者の方がご自身で直接回答することが難しい場合は、家族や介護をする方などが、保護者の方の意向を尊重してご回答ください。

5．この調査は、市内の中学生世代のお子さんのいる世帯を対象に、子ども・子育てに関する意識やニーズ等を把握するもので、無作為に選ばせていただきました。

6．調査結果につきましては統計的に処理し、回答内容で個人が特定されるようなことは一切ありませんので、率直なご意見、お考えをお聞かせください。

あて名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます

問１　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。父や母は、事実婚を含んだ継父、継母を含みます。（１つに○）※この調査で「お子さん」とは、調査対象となるお子さんのことをいいます。以下同じ。

１　母親	３　祖父母
２　父親	４　その他（　　）

問２　あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

２０ □□ 年 □□ 月　生まれ

問３　お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の人数（お子さんを含む。）を教えてください。単身赴任(ふにん)中の方は含めないでください。

ご家族の人数　□□ 人

問４　お子さんと同居されているご家族について、教えてください。（続柄はお子さんからみた関係）。父や母は、事実婚を含んだ継父、継母を含みます。玄関は別でも隣接する２戸や２世帯住宅の場合は、同居とみなしてください。

１　父母同居	４　祖父母同居	７　その他
２　父同居（ひとり親家庭）	５　祖父同居	
３　母同居（ひとり親家庭）	６　祖母同居	

問５　お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。（１つに○）

１　結婚している（事実婚を含む。）　→問６へ
２　離婚
３　死別　→問６へ
４　未婚
５　いない、わからない

【問５で「２」を選んだ方に、うかがいます。】

▶問5-1　離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（１つに○）

１　取り決めをしており、養育費を受け取っている
２　特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
３　養育費の取り決めをしているが、受け取っていない（金額を下げられた、遅れている等を含む）
４　養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

あて名のお子さんと同居するご家族の就労状況についてうかがいます

【全員の方にうかがいます】

問６　お子さんと同居する世帯の保護者の就労状況について、あてはまるものを回答してください。同居する保護者が母親と父親以外の場合、主要な方２名までについてウ、エに回答してください。（ア～エそれぞれについて、１つに○）

	ア　母親	イ　父親	ウ その他１	エ その他２
正社員・正規職員・会社役員	1	1	1	1
嘱託職員・契約社員・派遣職員	2	2	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3	3	3
自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	4	4	4	4
働いていない（専業主婦／主夫を含む。）	5	5	5	5
いない、わからない	6	6	6	6

▼問６－２へ

【問６で「１」～「４」を選んだ方に、うかがいます。】

問6-1　普段の帰宅時間で、最も多い時間帯を選んでください。同居する保護者が母親と父親以外の場合、主要な方２名までについてウ、エに回答してください。（ア～エそれぞれについて、１つに○）

	ア　母親	イ　父親	ウ その他１	エ その他２
午後６時まで	1	1	1	1
午後６～８時まで	2	2	2	2
午後８～１０時まで	3	3	3	3
午後１０時以降（早朝帰宅も含む）	4	4	4	4
交代制勤務などで帰宅時間は決まっていない	5	5	5	5
在宅勤務	6	6	6	6

【問６で「５」または「６」を選んだ方に、うかがいます。】

問6-2　仕事をしていない理由を教えてください。同居する保護者が母親と父親以外の場合、主要な方２名までについてウ、エに回答してください。（ア～エそれぞれについて、１つに○）

	ア　母親	イ　父親	ウ その他１	エ その他２
仕事を探している	1	1	1	1
仕事は探していない（家事専業など）	2	2	2	2
仕事したいが、育児や看護、介護など家族の事情で難しい	3	3	3	3
仕事したいが、学びや体調不良など自分の事情で難しい	4	4	4	4
その他	5	5	5	5

【全員の方にうかがいます】

問７　2023年（令和5年1月から令和5年12月）の世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。（１つに○）

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

・勤め先収入（定期的な収入、賞与等）
・事業収入（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）
・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）
・農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）
・資産収入（預貯金利子、家賃収入等）
・その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）

1　50 万円未満	9　400～450 万円未満	17　1500～2000 万円未満
2　50～100 万円未満	10　450～500 万円未満	18　2000 万円以上
3　100～150 万円未満	11　500～600 万円未満	
4　150～200 万円未満	12　600～700 万円未満	
5　200～250 万円未満	13　700～800 万円未満	
6　250～300 万円未満	14　800～900 万円未満	
7　300～350 万円未満	15　900～1000 万円未満	
8　350～400 万円未満	16　1000～1500 万円未満	

問８　過去１年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。（それぞれ１つに○）

	ある	ない		
		金銭的な理由で	時間の制約で	その他の理由で
ア　海水浴に行く	1	2	3	4
イ　博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
ウ　キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
エ　スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
オ　遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4

問９　あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。ア～コについて、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ１つに○）

	している	していない	経済的にできない
ア　毎月お小遣いを渡す	1	2	3
イ　毎年新しい（お古でない）洋服・靴を買う	1	2	3
ウ　習い事(音楽、スポーツ、英語等)に通わせる	1	2	3
エ　学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう、オンライン含む）	1	2	3
オ　お誕生日のお祝いをする	1	2	3
カ　１年に１回くらい家族旅行に行く	1	2	3
キ　クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
ク　修学旅行などお金がかかる学校の活動	1	2	3
ケ　パソコンかタブレットを与える	1	2	3
コ　スマートフォンを与える	1	2	3

問10　次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯に**ないもの**はどれですか。（あてはまるもの**すべてに**○。あてはまるものがない場合は15に○）

１　お子さんの年齢に合った本	８　月に一度の友だちや家族との外食
２　お子さん用のスポーツ用品・おもちゃ	９　電話（固定電話・携帯電話を含む）
３　お子さんが自宅で学習をすることができる場所	10　インターネットにつながるパソコン
	11　冷蔵庫
４　テレビ	12　洗濯機
５　暖房器具	13　急な出費のための貯金（５万円以上）
６　自家用車	
７　エアコン	14　その他（　　）
	15　あてはまるものはない

問11　あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。（１つに○）

１　よくあった	３　まれにあった
２　ときどきあった	４　まったくなかった

問12　あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。（１つに○）

１　よくあった	３　まれにあった
２　ときどきあった	４　まったくなかった

問13　あなたの世帯では、過去１年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。（あてはまるものすべてに○）

１	電気料金	４	インターネットなどの通信料金
２	ガス料金	５	あてはまるものはない
３	水道料金		

問14　あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（１つに○）

大変ゆとりがある	ゆとりがある	ふつう	苦しい	大変苦しい
１	２	３	４	５

あなたとお子さんとのかかわりについてうかがいます

問15　お子さんとの会話や遊びなどを通したコミュニケーションは、できていると思いますか。（１つに○）

１	十分できている
２	まあまあできている
３	あまりできていない
４	できていない

【問 15 で「３」または「４」を選んだ方に、うかがいます。】

問15-1　お子さんとの遊びや会話を通したコミュニケーションが「あまりできていない」「できていない」と思った理由を教えてください。（あてはまるもの**すべてに**○）

１	仕事等が忙しくて時間がないから
２	お子さんが忙しくて時間がないから
３	何を話してよいのかわからないから
４	お子さんが話したがらないから
５	なるべく干渉しないようにしているから
６	話をしなくてもお子さんのことはわかるから
７	その他（　　）

【全員の方にうかがいます】

問16　あなたは、次のようなことをどの程度していますか。（ア、イそれぞれについて、１つに○）※新型コロナウイルス感染症拡大後、学校行事などが休止している場合は、それ以前の状況をお答えください。

	よくしている	ときどきしている	あまりしていない	まったくしていない
ア　授業参観や運動会などの学校行事への参加	１	２	３	４
イ　ＰＴＡ活動や保護者会、その他子どもに関わる地域活動等のボランティアなどへの参加	１	２	３	４

問17　お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。（１つに○）

１	中学まで	３	短大・高専・専門学校まで
２	高校まで	４	大学またはそれ以上
		５	まだわからない　→　<u>問 18</u> へ

【問 17 で「1」～「4」を選んだ方に、うかがいます。】

問17-1　その理由は何ですか。（１～５については、あてはまるものすべてに○）

１	お子さんがそう希望しているから	４	家庭の経済的な状況から考えて
２	一般的な進路だと思うから	５	その他
３	お子さんの学力から考えて	６	特に理由はない

問18　あなたのお子さんの日常生活において、以下について心配していますか。（ア～ソ、それぞれ1つに○）心配することが無い場合は、タに○をつけてください。

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない
ア　いじめ	1	2	3	4
イ　登校しぶりや不登校	1	2	3	4
ウ　勉強をしないこと	1	2	3	4
エ　部活動に関すること	1	2	3	4
オ　友達関係に関すること	1	2	3	4
カ　異性との交遊	1	2	3	4
キ　子どもの性に関すること	1	2	3	4
ク　夜遊びすること	1	2	3	4
ケ　お金の使いすぎ	1	2	3	4
コ　言葉遣いが悪いこと	1	2	3	4
サ　直接体験が少ないこと（自然体験やものづくりなど）	1	2	3	4
シ　テレビゲームのやりすぎ	1	2	3	4
ス　携帯電話やスマートフォンのやりすぎ	1	2	3	4
セ　学校や先生に不信感をもっていること	1	2	3	4
ソ　お子さんの成長や発達に関すること	1	2	3	4
タ　特にない	1	—	—	—

【問 18 で「ア」～「ソ」を選んだ方に、うかがいます。】

問18-1　あなたがお子さんのことについて、悩んでいたりする時、誰に相談できますか。（あてはまるものすべてに○）

1　家族	8　市役所
2　学校の先生	9　インターネットなどの相談サイト
3　カウンセラーなどの専門家	10　SNS でつながった人
4　知人・友人	11　相談できる人はいない
5　近所の人	12　相談したいことはない
6　職場の人	13　その他
7　民生委員・児童委員	（　　）

ヤングケアラーについてうかがいます

【全員の方にうかがいます】

問19　ヤングケアラーのことを知っていますか？

1　内容を知っている　　2　名前だけ知っている　　3　知らない

問19-1　「ヤングケアラー」と思われる子どもがいる場合、どのような仕組みや取組があると相談しやすい環境づくりにつながると思いますか。（あてはまるもの**すべてに**○。あてはまるものがない場合は10に○）

1 「ヤングケアラー」専用の相談窓口があること
2　学校に相談窓口があること
3　自治体の役所等の行政機関に相談窓口があること
4　【2.3.以外】の専門機関に相談窓口があること
5　対面での相談が可能であること
6　電話・メール・SNS での相談が可能であること
7　相談する際の手順や判断基準がわかりやすいこと
8　相談がどのような支援につながるかがわかりやすいこと
9　その他（　　）
10　特にあてはまるものはない

※「ヤングケアラー」とは…本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを言います。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

武蔵野市等の施策についてうかがいます

問20　武蔵野市では、令和５年４月に「武蔵野市子どもの権利条例」が施行されました。あなたは、「子どもの権利」を知っていますか？（１つに○）

１　内容を知っている	２　名前だけ知っている	３　まったく知らない

※「子どもの権利」とは …子どもが安心して生活できること、自信をもって生きていくこと、自由に意見を言ったり活動したりすることができることなど、自分らしく元気に生きるうえで大切なもののことです。

問21　あなたのご家庭では、以下の相談機関をこれまでに利用したことがありますか。（ア～エそれぞれについて、１～３のうち１つに○）また、「３利用したことがない」場合、その理由は何ですか。（ア～エそれぞれについて、①～⑤のうち1つに○）

	現在、利用している	以前、利用した事がある	利用したことはない	問21-1 必要ないから	利用したいが、支援の対象外だと思うから	利用したいが、今までこの相談機関を知らなかったから	利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由
ア　子ども家庭支援センター（18 歳未満のお子さんの子育てに関するご相談やお子さん自身からのご相談に応じます。）	1	2	3	①	②	③	④	⑤
イ　教育支援センター（子育てに関すること、こころや身体の発達のこと、性格行動に関すること、学校生活に関すること等、幼児から思春期の子どものさまざまな相談に応じます。）	1	2	3	①	②	③	④	⑤
ウ　福祉総合相談窓口（生活福祉課）（福祉に関する困りごとやひきこもりなどの生活の不安を福祉相談コーディネーターが伺い、解決に向けて支援します。）	1	2	3	①	②	③	④	⑤
エ　児童発達支援センター みどりのこども館・相談部ハビット（心身の発達が気になる子どもと保護者への療育相談と支援を行います。）	1	2	3	①	②	③	④	⑤

問21-2　問21のほかに、お子さんに関することで相談したことのある機関がありましたら、お書きください。（武蔵野市の機関でなくても可）

問22　お子さんにとって、必要と思われる支援はどのようなものですか。
（○は３つまで）

１　子どもが自身の進路や生活などについて、何でも相談できるところ
２　自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会を提供してくれるところ
３　地域で過ごせる居場所
４　読み書き計算などの基礎的な学習への支援をしてくれるところ（無料または安い価格で）
５　家族以外の人たちと集まって食事ができるところ（無料または安い価格で）
６　どれも必要ではない
７　その他（　　）

問23　あなたにとって、必要と思われる支援はどのようなものですか。
（○は３つまで）

１　民生委員・児童委員など地域の人からの支援
２　離婚のことや養育費のことなど専門的な支援
３　病気や障害のことなど専門的な支援
４　就職のための支援
５　住宅を探すなどの支援
６　病気や出産、事故に遭ったときなどに一時的に子どもを預けられる支援
７　子どもの就学にかかる費用が援助される支援
８　一時的に必要となる資金が借りられる支援
９　どれも必要ではない
10　その他（　　）

○最後に、日頃お感じになっていることや市の施策へのご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。